

## 令和4年度後期「子どもの提案」に寄せられた意見

※明らかな誤字などを除き、寄せられた意見を掲載しています。

見沼田んぼにある『日本一の桜回廊』をもっと充実させるためには？（754件）

提案内容
街灯を設置してください。たくさん的高校生が下校するときに通るので、防犯対策になると思います。また、春は桜がとてもきれいなので、街灯を設置することで夜桜を楽しめると思います。 トイレを設置してください。そうすることで子どもや高齢者も安心して散歩することができ、多くの人が桜を楽しむことができ、もっと、私たちのふるさとである見沼を好きになると思います。
桜一つ一つに名前をつけてあげて、木に看板など貼り付けてみたらどうか。名前はさいたま市の子もたちがつける。スタンプカードのようなものを作成して、カードにある名前の木の前にスタンプ台を設置してスタンプがたまったら、桜のキーホルダーなどの景品を渡す。
道路を平らにして、でこぼこをなくして、桜の見れる1週間くらいは歩行者専用の道にすると事故とかが少なくなると思う。あとは、屋台はできるだけごみの出ないようにする。
多くの人が行き来する大宮駅にポスターを貼って知ってもらおう。
イベントを開催すれば良いと思います。桜が咲く時期には「桜まつり」などと名前をつけてたくさん屋台をだしたり、さいたま市出身の著名人をよんだりして小さな子どもからご老人まで楽しめるお祭りが良いと思います。また夏の葉桜や秋から冬にかけての桜の落ち葉なども、PRしていけば1年中の桜が楽しめると思います。このようなお祭りをとおして桜がきれいなことに気付いた人々がお祭りがなくても訪ねてくれると思います。そして、屋台では桜をつかったものや桜にちなんだものを販売したり、さいたま市に伝わる伝統な遊びを体験できるコーナーをつくったりすれば良いと思います。また、このお祭りで得たお金で桜の整備をすれば良いと思います。
市で花見をできるピクニックスペースを作ることです。すでにある場合は申し訳ありません。近年では回廊の下を通ることはあっても、それは”通る”だけであり、じっくりと桜を見る機会はそう多くありません。なので、じっくりと景色を楽しめる花見ができるスペースがあると、行ってみたいくなります。次に、桜回廊のHP、さいたま市のTwitterなどにもっと桜の写真をUPすることです。何度もUPすることで、親しみが生まれると思います。
<ul style="list-style-type: none"><li>桜回廊の横に公園をもっと多くつくり、お弁当を食べるスペースやトイレを設ける。</li><li>クラウドファンディングで桜の維持費をつくる。</li><li>桜回廊のホームページをつくり、動画をのせたりなどして認知度を高める。</li><li>桜回廊の入口近くに駐車場をつくり、車が入れないようにする。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>草や花を植え、車道と歩道が見える形で分離する。</li><li>見沼田んぼで農作業などの体験会を開く。</li></ul>
市や町のツイッターなどで、桜の見頃予定をはりつけ、アピールする。HPの地図をもう少し分かりやすくする。（写真のはりつけ）
桜回廊の存在をSNSで取り上げるなどのことをする。桜回廊で一年に一度花見の時期に大きなお祭りを開催すると有名になると思う。旅行ガイドの本に桜回廊を追加しておく。近くにだんごのお店を開いて、桜を見ながら食べられるようにする。道路にガードレールを設置する。
大宮駅の階段くらいまで桜の木をつなげて、出たとたんに「ザ・桜！」みたいな感じにする。
知名度について、若者に知ってもらうには、SNSでアピールするのがいいと思う。ただアピールするのではなく、若者に人気のある人物にSNSで宣伝してもらうことで知名度が上がり、観光客も増えると思う。また、ホームページのデザインを一新するのもいいと思う。
桜の季節になったら、大宮駅などの人が集まるところにポスターなどを貼る。小学校などの校外学習の行き先にして、地元の人に知ってもらう。イベント（花見等）を開催して、他地域の人にも知ってもらう。
<ul style="list-style-type: none"><li>道路を歩行者専用にして、近くに駐車場をつくる。</li><li>「日本一の桜回廊」に「ここが映えスポットです」といった案内をいくつかの場所に設置し、映えスポットをめぐるスタンプラリーなどをつくる。</li><li>「日本一の桜回廊」をマスコミのみに頼らず、さいたま市から積極的に発言する（花見の季節にSNSやCMを活用）。</li></ul>

提案内容

まず、桜回廊の道が場所によってはコンクリートですが、一部地域では砂利になっているので自転車で通っていくのにも難しいので税金等を使用して道を整備するべきであると思います。さらに、ずっと毎年回廊を通っていてもベンチの数が少なく人が少しいるだけでうまってしまうのもっとベンチや小さい広場のような部分を多くしていくべきだと思います。そして広めるためにはSNSを使用した方がいいが、横にある用水路の影響で低めの高さの桜であっても人の身長よりも高くなり全然写真がとれないがためにSNS等に出すことができないので多少用水路までの幅があるのでフェンスを少し用水路側に移すなどして写真を撮りやすくするべきだと思います。高齢者も多いこともベンチを増やす理由になっています。

21.0975kmにして往復してマラソンする。

- 春になったら、花見ができるスペースを設置する。
- 若者は今だとSNSはよく見ているから、SNSで情報を発信して若者に知ってもらう。

まずは見沼田んぼの桜回廊が日本で1番長いということを知ってもらうことがいいと思う。日本で1番ということを知れば興味をもって、そこに訪れる人が増えるはずだ。そのためにはポスターなどの地域の回覧板などで伝えるといいと思う。また、若い人にも桜回廊の魅力を知ってもらうためにはインスタやツイッターといったSNSで桜の様子や情報を発信することも効果的だと思う。

大宮駅などで、PRする。

見沼田んぼにある「日本一の桜回廊」を知ってもらうためにインターネットで宣伝する。

まずはみんなに知ってもらうために、スマホやチラシなどで『日本一の桜回廊』のアピールをしてみる。みんなに知ってもらえたら、花見スペースを作ってみる。後は、大宮から20分ということで、遠いと感じる人もいると思うので、自転車などをレンタルできるようにするか、バスなどで気軽に行けるようにして、交通の便を良くしてみる。

～知名度と維持・管理に関して～

- 春など桜がきれいに咲いている季節に、回廊を掃除する（ボランティア）企画を設けてやったら団子をもらえる。
- 小・中学生の遠足にする。

～資金について～

- 回廊に接している区で協力する！
- 近くの家の人の土地として売る。

- 桜の下にベンチを置く、桜回廊の道を整備するため、税金のむだ使いをしない。

- 桜の下でお祭りを開催する。開催することで、子どもたちや大人が遊びに来て「日本一の桜回廊」を知ってもらえると思いました。
- 見沼田んぼにしかない観光名所を作る。作ることで、どんなものか気になって見に来る人が増えもっと知ってもらえると思いました。

- 遊歩道を整備したら良いと思う。付近に商業施設などを誘致したらいいと思う。国から予算をとる。

- 桜回廊をつなげる。
- 桜一つ一つの大きさを今よりへだてる。
- 歩道と車道の区別をつける。
- ベンチの設置
- 季節によって田んぼでイベントなどを開いて人が来るようにする。

問題を解決するために、花見スペースをつくったり、車道と歩道を整備していくことが大切だと思う。また、大宮駅に桜回廊のポスターをはり、知名度を上げ、そこで得たお金でトイレや道の整備・花見スペースの管理やハイキングコースを作り、案内をする人をやとう、などのことをしてみるとよいと思う。

- カフェを設置する。
- イベントを開催する（夏祭り、お花見、年越しイベントなど）。
- 遊具を設置し、子どもをおびきよせる。
- 写真スポットを設置する。
- マラソンできる道をつくる
- それっぽいを音楽を流す（ピアノとか）。
- アニメとコラボする（聖地にもしてもらう）。

桜回廊をマラソンコースにする。

往復のマラソン大会をひらく（春など）。

桜並木を往復するマラソンを春に開催する。桜の管理をするボランティア団体を希望者だけでつくる。

桜回廊が盛り上がるのは桜の季節だけだと思うので、季節ごとに並木道でキャンペーンをしたらいいと思う。（おまつり、フリーマーケット、イルミネーション等）また、キャンペーンで子ども向けの体験企画などをすれば親子世代・若者にも桜回廊を知ってもらうチャンスが増えると思う。有料のコンテンツも行なえば、桜の管理費・人件費に充てることのできるのではないか。また、せっかくきれいな並木道が通っているんだからサイクリングコースやランニングコースをととのえればもっとにぎわうのではないかなと思った。

提案内容

- 市の持つ金のうち、桜に関しての出費割合をふやす。
- 国に桜を管理させる。

- ガードレールを設置する。
- さいたま市のホームページで桜回廊を宣伝するなど。積極的なPRをする。

- 近くに電車を通らせることで交通アクセスを良くする。
- 旅行ツアーにこの桜並木を通るように頼む。

- (首都圏の) 小・中学校の授業で「自分達の街の名所」などといった単元で取り上げる。
- 近くにある小・中学校の部活動などで、桜や川の清掃活動を行う。
- 近くに看板をつくり、運転者や歩行者が気になって来るようにする。
- 歩行者専用・車両専用の通路を規定する。

自由に建物を建てることのできないのは、広いスペースを確保し、お金と許可を貰い、なんとかして、トイレ休憩所、フリーWi-Fi設置などをしたほうが良いと思います。約2,000本ある桜の木のいじが困難なことについては、ネットで正社員やボランティアをとった方がよいと思います。散策する道が歩道分離させてないのは、小さい子連れの若い世代が来にくくなるので、白線などを設けて解決したほうがよいと思います。若物の認知度が低いことについては、ツイッターで状況の報告(イベントなど)、TikTokで課題の提示、インスタグラムでキレイな写真を載せるなどして若い世代をおびきよせればよいと思います。がんばってください!!!

桜回廊をまわることのできる観光バスを出し、バス停周辺に、地域の特産品をいかした、飲食店やおみやげを買う場所をいくつかたてる。上記の建物でコンサートなどのイベントをやったりする。これらを宣伝として、SNSで告知や、周辺で使えるデジタルクーポンを配布する。

- ここにランニング、サイクルコースをつくって桜を見ながら走ったり、サイクリングしたりできるようにする。
- 花見ができるカフェやいいの場を作れるように法整備する。
- 桜の数を少し減らす(申し訳ないが)。
- まつりなどをひらく。
- さいたま市のムダな経費をなくして、桜回廊の管理に回す。

毎年1回桜回廊の約20kmのコースでマラソン大会を行ったり、春には花見を行うというように桜を生かしたイベントをいくつか行うことで地域の人々が来たり、認知してもらう機会を増やすべきだと思う。また、SNSなどで桜回廊のよさを伝える投稿をすることで若者からの認知度を上げる。

SNSやブログなどを使い、見沼田んぼの日本一長い桜回廊として、見沼田んぼのすばらしさを世の中に発信すると同時に、各季節ごとにお祭りをを行い、人を集める。国外の人も集める。春には「桜見」、夏は「花火」、秋は「紅葉」、冬は「イルミネーション」を行う。桜回廊の桜を全て伐採し、維持費の削減さらにその後土地を利用し、店などをたてる。

- ペーパー広告を配って宣伝する。(SDGs関連のペーパー)
- 田んぼのあぜ道にベンチを設置して桜を見ながら休憩できるスペースを増やす。
- 団体や企業などに市が「この日本一の桜回廊プロジェクトはSDGsにも取り組んでいます」と言って、保全の援助をしてもらう。

SNSに拡散させて、若者の知名度を上げる。ベンチなどの休憩スペースを作る。また、生きものや桜を観察するイベントを開いて、より多くの人や県外の人知ってもらう。

若者の認知度が低いのでSNSでの拡散を行い、より多くの人にこの桜回廊を知ってもらい、旅行先に少しでも多くの人に選んでもらえるようにする。また、周辺の自然環境をこわさない程度に公衆トイレや宿を作ると旅行先として選びやすくなる。また、見沼田んぼ桜回廊についての博物館等があるととても充実すると思う。

歩車分離をし、有名なYoutuberに宣伝してもらう。

人々が桜の木の下で休憩ができるスペースを確保する。(レジャーシートをあらかじめひくなどして)ゴミ箱をいろいろなところに置いておき、ポイ捨てをしないようにする。桜回廊で小ライブなどのイベントを実施する。入場制限を設けて新型コロナウイルスの対策をする。

1年に何回か、そこで大きなイベントをやることで、SNSに発信されていき、知名度が高くなると思う。イベントについては、春は「花見」、夏は「花火」、秋は「ハロウィン」、冬は「イルミネーション」などと、1年中イベントを開催することで観光客を呼び寄せる。すると、SNSでの発信を盛んになり有名なものへとなると思います。また、学校などに貸し出しを許可することにより、学校が開くイベントなどもすることで学生の中でも有名になると思います。

- 大宮を筆頭とするさいたま市の駅に目立つように看板をつくる。
- SNSで桜並木を紹介する。
- なにも日本一にならなくてもよく、そのような問題があるなら、並木の距離を半分にすればよい。季節ごとにイベントを行う。
- トイレは簡単な物(仮設トイレみたいな物)をつくり、排泄物は田んぼや桜の肥料とする。

提案内容

- 知名度を上げるために、桜回廊の画像や動画をネットに上げる。
- 桜の維持活動のボランティアを募集し、桜回廊への関心を示してもらう。
- 桜回廊の一部をこわし、桜の維持費を減らし浮いた金で桜回廊に必要な施設をつくる。
- 桜回廊を維持する金を集めるために募金活動を行う。
- 桜回廊を維持する金を税金でまかなう。

「若者の認知度が低い」

今、僕が休日に行きたいかと言われたら「行きたくない」と答えます。しかし、公園や遊具などの施設を増やせば、自然に子連れの方が多くなり、人も集まると思います。認知度を上げるにはただのポスターでは見る人も少ないので面白く動画を作り、それらをSNSに上げる。

- (できるなら)桜2,000本のうち、1つとばしに999本を間引く(刈る)。掃除がラクになる。切り株を休憩スペースに
- 歩道にレンガを敷くなどして、歩車分離する。(または、歩行者限定にするなど)
- 春になったらもちろん、夏から冬にかけても、その時その時の景色を楽しめるように色々な植物を植えたり、イルミネーションを飾ったりして、積極的に宣伝していく。
- (道の幅が広くできるならば)お花見スポットとして、たくさんの観光客に来てもらえるように宣伝する。(これもまた宣伝)

まず最初に、私の意見はSNSを用いたものが殆どになりますが、ご了承ください。

- SNSアカウントをまず開設する。(例)インスタ、TikTok、Twitter…(開設済みでしたらすみません)
- SNSを用いて、フォトコンテストを開催したり、映えスポットや映える写真の撮り方を投稿すれば、ある程度は認知度が上がると思います。

若者の認知度が低いという課題は、SNSなどで桜回廊について発信したりすることで解決できると思いました。

トイレは周囲の公園のトイレの清そうを地域の人やボランティアの人でやったり、何カ所か見沼田んぼの桜回廊付近に大きめのトイレがたくさんある休憩所があったりするといいと思う。桜を見ることが出来る散歩道を整備したり、桜散策コースなどをつくったりするとよりよくなると思う。

桜を厳選する。ガイドさんをつける。来てくれた人たちになにかしらの券や物を無料でプレゼントをする。歩道をつくる。ツアーなどを開いて積極的に宣伝する。もう一度一から桜回廊をつくり、今度は道が確保できるように桜を植える。近くに宿をつくる。東京まで桜回廊を進出させ、管理を他の団体と共同で行う。

歩道をつくったり、つくった歩道に少しベンチを置いたりすると歩行者も車も安全に散策できると思います。途中で駐車できるスペースを作って車の人も止まって桜を見れるようにすると、より楽しめると思います。また、4kmおきぐらいにトイレを設置すると思います。桜の管理を体験するイベントを学校と一緒にやれば、管理の負担も軽くなり、若者への知名度も上がると思います。

- 桜回廊を紹介するポスターをつくり、新都心にあるコクーンに、広告をはり若者の関心をよぶ…①桜回廊中に(屋根つき)ベンチをつくり…②休憩所にする。→そこに屋台などをつくればなおよし!!
- 車道と歩道を分けて、車でもとおれるようにする!!

若者にこの問題をよりたくさんしてもらうために大宮など若い人が集まる場所でのチラシ配布をする。地域の小学校などで募金活動をする。金を集めるためにゆるキャラとかのグッズ販売もする。

そこをテーマにした本やアニメをつくり、SNSで拡散する、春の生物観察会などというようなイベントをつくる、20kmマラソンをつくるニートをやとう

来た人限定で使える、飲食クーポンをくばる。大手放送局に直訴して、このニュースをとりあげてもらう。

ゴミ箱を増やす。トイレを増やす。屋台などを定期的にならべる。その場所の特産品を作る。ランニングのコースにししたりする。イベントを定期的で開催する。

大宮やさいたま新都心の駅に看板をたてる。周辺に飲食店を増やす。年に1回祭りを開催してみる。SNSに投稿して、広める。イルミネーションを取り付けて、夜でも楽しめるようにする。県に働きかけて資金を援助してもらい、車と歩行者の道路を話したりする。ボランティアを募集して月に一回桜の管理をする。募金をする。

埼玉県庁に許可を取り、人気チューバーとコラボしてもらう。埼玉県では、『いまたま』などのテレビ番組で紹介してもらう。桜回廊の入口の所に三色団子など手に持って食べれる、ちょっとした和菓子のお店をおき、そこが有名になることで、桜回廊によってくれる人が増える。

SNSなどを使っていい所を発信したり、SNS映えるスポットを使う。地域の人などに呼びかける。近くの飲食店と協力し、桜にちなんだ料理を使うなどする。埼玉穴場名所巡り!などのパンフレットや日帰りのツアーのなどを作り楽しめるようにする。サイクリングコースなどを作り、自転車レンタルできるようにする、春のお花見シーズンのみ自動車を通行できないようにする。桜を使ったものを売る。

提案内容

SNSで桜回廊を広める。小さい子どもが遊べる大きめの土地を近くに用意して、公園みたいにする。夏にお祭りを開催する。葉が落ちたらイルミネーションでかざって若年層を集める。

トイレやコンビニをつくることで、花見などをする時にもっと持ち物に困らなくなったりで、便利になると思います。ベンチなどもたくさん作ると地面に座ったりするときにレジャーシートがなくても問題なくなると思います。また、今の中高生はインターネットを利用している人がとても多いため、LINEやInstagramの広告などに載せれば、見てくれる人が増え、実際に足を運んでくれる人もいると思います。大宮駅やさいたま新都心駅などという人がたくさん通る大きな駅でも、目立つようにはり紙をはったりすると、多くの人の目にできるはずで。

長さが「日本一」というところを生かして、PRしてみる。マラソン大会の開催地にする。切った桜を使ってベンチなどの休憩場所を作ってみる。

周りに駅をたくさん設置して、人が来るようにすると良くなると思う。ここだけ桜を採れるようにする。散歩コースを作る。有名な人にプロダクション料をはらう。なんかのアニメの聖地にする。映えスポットを作る。

毎年、桜回廊でお祭りを開催し、桜回廊のことをPRすることで、知名度を上げる。また、桜回廊をモチーフにした商品をつくる。小学校や中学校などで、桜回廊をそうじし、まずは地元の人に桜回廊のことを知ってもらうことが大切だと思う。

YoutubeやTwitterなどで発信する。

いろいろなテレビやSNSで紹介し、認知度をあげる。その後桜にまつわる商品を販売し、その収入で休憩スペースや、周辺のゴミ拾い活動などを行う。

桜を少しなくしてトイレを作ればいいと思います。桜に関わるイベントをしたらいいと思います。桜回廊でマラソン大会をして認知度を上げたりしたらいいと思います。

車の屋台を並べ、桜見しながら食べ歩きできるスポットとして、人を集める。そしてゴミ箱も設置する。SNSで拡散する。

Youtube、ツイッターなどのSNSで周知をはかる。また近くに駅を作りアクセスをよくする。またサイクリングロード等を設備し、歩車分離しともにかんこうスポットとしてのアクセスをする。

Youtubeやtwitterなどで広告を流す。

花が咲いている時にお祭りをひらく。近くにお花見ができる場所をとる。マラソン大会などひらく。近くに桜の博物館などをつくる

- ・桜が満開のとき祭りを開き、人が多く集まるようにする。
- ・生きものを楽しめるように野鳥を見れる施設や、虫や生き物を見にいく企画をたてる。
- ・桜をライトアップさせ、夜でも楽しめるスポットにする。
- ・散策する道に分かれ道を作り、いつでも休めるようにする。
- ・散策する道に駅伝のような企画を立てる。
- ・道のところどころにベンチや、少し遊べるスペースを増設する。
- ・子どもが楽しく回れるようにスタンプラリーと合わせて、いいスポットを強調させる。

充実させるにはもっと人を集めて盛り上げられるようにするためもっと盛り上がるような有名な物や行事が無い限り若者は来ることはきっとないだろう。ただ資金は限られているため祭りなど大きな行事はできないと思う。なのでライトアップやデートスポットとしての場所を作ることが若者を呼び出すことができると思う。その他の対策としてはもちを売ったり、花びらの体験などをして、気軽に来れる場所にしたらいいと思う。

- ・サイクリングコースを作って、自転車の貸し出しをする。
- ・年に数回マラソン大会をする。
- ・市内のいろんなところにポスターをはりまくる。
- ・ツイッターやインスタ、公式LINE、Youtubeを開設する。
- ・ピクニックのイベントをする。
- ・テレ玉で放送してもらう。
- ・イルミネーションをする。
- ・芸能人と交流できるイベントをする。
- ・地域の小学校で日本一の桜回廊について調べるといって授業をやってもらいスライドを作ったりして、みんなの前で発表してもらう。

TikTokやYoutube、Twitter、インスタなどに広告を載せ、若者を中心に認知度を上げていけば良いと思う。桜回廊に行くまで無料バスを走らせ、電動自転車や、電動スクーターなどの貸出しを行う。

見沼区の桜PR動画をSNSなどを使って若い人に知ってもらう。最寄り駅をもっと分かりやすくする。秋の紅葉も取り入れる。(一年中楽しめるようにする。)

桜の下でごはんが食べたいという人もいると思うので、屋台をだして、フェスティバルを行う。20kmの距離で駅伝、ドローン、ラジコンのレースをひらく。夜まっくらにして、おばけやしきをひらく。

提案内容

- 大人だけでなく子どもも楽しめるために夜間にライトアップする。
- 家族や友達ときて楽しく過ごせるように団らんの場所を作る。
- 他の市町村や企業と連携して桜並木の存在を知らせる。
- SNSなどで桜の咲き状況などを報告し、住民や県外の人に来てもらう。

- クラウドファンディングを行う。
- ボランティアを集める。
- ツイッターをやる。

トイレを増やす。もっと付近に駅をつくる。春だけでなく、イチョウなども植えて、秋とかも楽しめるようにする。Twitter を始める。冬の夜にイルミネーションをやる。周囲を掃除する。

- 四季を楽しめるように、桜以外の木も植える。
- 歩行者道と車道を分ける。
- 田んぼに落ちないよう柵をつける。夜のライトアップをする。

多くの人に認知してもらい、観光客を増やす。(埼玉県内だけでなく、県外まで認知してもらおう) そのために、メディア等で取り上げてもらい、PRする。(地上テレビ等) 観光客に桜以外にも楽しんでもらうために、桜回廊付近に商業施設を設ける。(食べ歩きできる食べ物を販売する飲食店、桜の花びら等を使った土産屋等) ライトアップをする。冬は花びらが落ちて、さびしいため、LEDを装飾して冬も観光客が来るようにする。夏は祭りを開催して近所や埼玉県内などから人を集める。(屋台を出す)

桜回廊を認知してもらえるように春になったら宣伝ポスターなどを作って広める。例えば見出しなどに「日本一!!桜回廊」と大きく書いて人が見ようなところに貼ったり、配ったりする。

公式サイトをつくるといいかもしれない。キャラクターを作ってPRしてもいいかも知れない。

- 税金で国から支援する。
- イベントを開催する。
- テレビで紹介してもらう。
- スタンプラリーつくってトイレや休憩スペースつくる。
- 人たくさん入れる。
- 公式サイトやキャラクターをつくる。
- SNSで拡散!(ツイッターとかインスタグラムで)

桜回廊を見に来た小さい子供達を楽しめるように、回廊内にミッション(スタンプラリー、クイズなど)を設ける。

桜回廊のマスコットキャラをつくって、インターネットとかで広めていく。

桜がきれいな季節になったらお花見をする場所をポスターで呼びかける。20kmもあるから、多くの人訪ねることができ、その際、ゴミなどが落ちたままになることもあるからゴミが散らからないように呼びかけたり、自主的にボランティアに参加すれば良いと思う。そして、お花見ができなかったら地域の人などを呼びみんなで桜をみながら歩くイベントとかをすれば良いと思う。

家族などで参加できるイベントを作れば良いと思う。そうすれば人が集まって少しは知名度が上がると思う。長さが日本一なら、そこで子ども達のマラソン大会みたいな感じのやつを開けば良いと思う。あとはお祭りとか。そうすると、トイレやお店が必要になるのでトイレやお店をじゃまにならない程度でつくる。

桜並木の近くに屋台を出す。新聞やチラシに掲載する。ツイッターやインスタグラムなどのインターネットに情報を載せ、アピールする。

- SNSを活用して、桜回廊のおすすめスポットなどを伝えるといいと思う。
- 月に1回ぐらいのペースでイベントをやり、桜の咲く季節でなくても、市民の交流場として活用したらいいと思う。
  - 散歩する道の歩車分離を、市民が自由に植えられる花だんにし、(花は各自で管理)どんな季節でも花が咲いているようにする。

- 知名度をあげるために、TVで放送したりして魅力を人々に伝える。
- 周りの環境を整える(…ごみが落ちていないなど…)。
- SNSで情報を発信する(定期的に)。
- バリアフリーを充実させる。

ゴミ箱を多く設置する。さいたま市の7アカウントで、SNSで発信する(とてもきれいな写真をとる)(エモい写真をとる)(映える動画をとる)キャラクターをつくる。桜の花びらをつかったアクセサリーやキーホルダー、シールをつくる。市立の学校で、遠足に行く。花火大会を開催する。お祭りやる。

- 私は桜並木の管理をボランティアやその近くに住んでいる人に協力してもらいたいと思います。そのことで管理しやすくなるかもしれないし、たくさんの人に見沼田んぼの桜回廊について知ってもらえるかもしれないからです。また、その活動に参加した人は春に桜並木の桜を見て少し誇しく思うからです。
- 私はインターネットやSNSにこの桜並木についてもっと載せたほうがいいと思います。春は桜、冬はイルミネーションなどをして若者が「写真をとりたいたい」と思うような工夫をしたらいいと思います。

提案内容

- ・祭りを開く。
- ・参加賞をくばる。
- ・チラシくばる。
- ・ツイッター、インスタグラムにのせる。

若者の認知度をもっと高くするために、ポスターをはる。ポスターはさいたま県に住んでいる人達が（代表の方）協力して作る。いろんな県の人たちにアピールするのもポスターなら簡単な気がします。「日本一の桜回廊」ならではのイベントを作ってみんなに参加してもらおう。みんなにこの桜並木を知ってもらいたい機会になると思います。

- ・SNSなどで見沼田んぼについて発信し、理解をしてもらおう。
- ・デートなどで休憩スペースを作る。
- ・映えスポットや写真撮影スポットをつくる。
- ・周辺地域の特産物を売る。

ここの桜の花びらを使ったものを売ったり、TwitterなどのSNSで拡散させる。

- ・ケバイルミネーションをして、インスタにのせたり、ニュースでその映像を流してもらおう。
- ・長い桜道の何がいいかSNSでPRする。
- ・その桜をかくコンテストを賞金つきで開催する。そうすれば幼稚園から大人までみんな桜を見にくる。

①桜の時期には車を規制する、レジャーシートをよういして休憩できるようにする。→貸し出ししたり、置いたりする。  
②道のりやトイレのある場所を示した地図みたいなのを、入り口付近に置いて、来た人に周知させるのがいいと思う。日本一になるには管理はしかたがないと思う。動画などを配信したり、この用紙を子どもたちを書かせる。桜をイメージしたキャラクターをつくったりすればいいと思う。

歩道と車道を分けて、ところどころにベンチを設置したらいいと思う。

それぞれの区がSNSを活用して、それぞれの区から見える桜たちの様子をネットにアップする。若者たちはSNSを使うことが多いから、PRができる。

SNSを使って広める。地面に落ちちゃった桜などを使って何か作って売り出す。電車の中やホームやいろんなところにポスターとかではり出す。道に線をひいてこっちが車とかにして分ける。

SNSでの宣伝を目指しそのためには、映えを重視した飲食物、ちょっとした彫刻などを置く所から始めると次第に若者が集まってくると思います。

「日本一の桜回廊」をもっと充実させるにはまず、トイレや休憩スペースをつくるのが良いと思います。また、景色をじゃましないようにセブンの外観を茶色にしたりということもあるので、公衆トイレなども桜の絵をかいいたりすれば良いと思います。また、若者の認知度が低いことへの改善方法として、桜回廊を全部通れば、埼玉県の名物などがほとんど全部食べられるというようにすればよいと思います。各店で間かくをあけて、食べ歩きできるようにすれば良いと思います。

外国のテレビでCMをながして外国人にもそのすごさをつたえるともっと良くなると思う。

スタンプラリーをつくって景品をつければ長い間お客さんに見てくれると思う。ある期間の一定の時間だけ車を通さないように閉鎖したりすれば家族連れも来やすいと思う。

桜をより綺麗に見せるために…夜に桜のイルミネーションをつけて有料で鑑賞できるようにする。それで稼いだお金を使って掃除する人をやとったり道路を整備したりする。→そうすれば朝昼夜、どの時間帯でも桜を楽しく快適に見ることができる！

車が多く通る時間は歩行者は一列で右側通行するようにし、それ以外の時間は、車を近くの駐車場にとめてもらい、歩行者だけが通れるようにする。その駐車場にトイレや軽食売り場、休憩場所をつくる。花の管理を手伝ってくれた人に埼玉県のお店でつかえるクーポンや駐車代無料券、軽食売り場の割引券をわたす。

その桜の一部で桜もちをつくる。

桜の木の手入れが困難→クラウドファンディングなどで募金をする近くにお土産屋さんを作って、その売り上げの一部を桜の費用にあてる トイレ→簡易的なものを水などは電線のようにひっぱってくるたても 知名度→人気のユーチューバーにたのんで桜の中を歩く動画を作ってみる 歩車分離→昼間に工事をしてしまうと閉ざしてしまうので、夜間にやる

「日本一の桜回廊」をもっと充実させるための案は二つあります。一つ目は車で桜回廊を見ることのできる道をつくると思います。もちろんスピードはおそく、制限もかけます。二つ目は「桜回廊ガイド」という物をつくると思います。世の中には運動不足とを感じる人もいますので、桜回廊を走って見るコースや、歩いて見るコースどちらもつくればよい。

20kmもあるので、車だけで回るゾーンを設ければいいと思う。逆に少し長い20kmの歩くゾーンも別に作り、運動になる上に桜を見ることが出来る。また、マラソンの感じで途中に屋たいかなんかを置いて、桜もちなどを売ればいいと思う。あと、桜の量も多いので費用はかかるが、ライトなどをつけて夜桜にすれば、また違った楽しみもできると思いました。

歩道と車道を分ける線をひく。その線を桜の模様にする。入り口や出口に桜にちなんだカフェなどのお店をたてる。夜にライトアップやイルミネーションをする。ベンチや休憩場を増やす。所々は桜に関する豆知識を書いた物を置いてクイズ形式にする。パンフレットを置く。SNSで情報を流す。キャラクターやマークをつかっておみやげをつくる。

提案内容

さいたま新都心駅などの駅構内に、「日本一の桜回廊」の掲示板を貼るべきだと思います。また、大宮区や浦和区、北区などの散歩コースとしてパンフレットを作成すると認知度が上がると思います。また、散策する道についてはランニングコースとウォーキングコースを設けるべきだと思います。

- ・休憩所を設置し、こまめに休めるようにする。
- ・桜の世話をするボランティアを集め、桜の美しさを保てるようにする。

埼玉以外の都道府県などにこのことを宣伝しCMなどに広告を出すこと。

ユーチューブやツイッターなどに桜回廊についての魅力をあげる。回廊に屋台などを出す。近くにチラシ配りをする。

もっと宣伝する。テレビ局をつかう。

一部の木に、さくらの花の形や、ハート、動物の形などの若者が好みそうな色や形の絵馬をかけられるようにする。着物レンタル。夜にライトアップさせる。(イルミネーション) 見沼周辺のバスツアー

ウォーキングやマラソンなど距離をいかしたイベントをする。←多くの人に参加してもらうために、カジュアルに。休憩するスペースや地域の名物が食べられるスペースをつくったり。その場所でしかないオリジナルな物をつくる。(マスコットやおみやげ物とか)

売店ゾーンを幾つか設置しそこで食べ物やお土産を売り、トイレもそこに設置する。専用の食べ物を食べる場所を設置することでポイ捨てなどを防止する。お土産が買えるなら若者も集まってくれるかもしれないし、人の集まる場所でトイレ建れば利用率も高くなるから。

桜の本数を減らして維持をラクにする。

- ・SNSなどに投こうしてもらうために、映えスポットなどをつくったりすれば、若者が来てくれればいいと思う
- ・お年寄りを対象として「歩こう運動(?)」のようなイベントを開催する。

ガイドブックにのせたり、ベンチをコースに置いたり、マラソンのコース内に入れる。

車を通行させない。

- ・ベンチなど休憩できるところを増やす。
- ・歩行者だけが通れるようにする。
- ・SNSを使って情報発信をする。

トイレや休憩スペースを増やすため、一部の木をなくす。

車の通行を禁止にする。

歩行者のみを通れるようにして車を通れないようにしたらどうでしょうか。トイレなど施設を建てられないのであれば建てるように交渉するべき。写真スポットを作る。色々なところのマスコットキャラクターを集合させる(着ぐるみと一緒に写真も撮れる!! みたいな...) 人手が足りないならやとうべし。市の予算も使うべし。日本一の桜回廊限定のおかしなどをつくって、そこに行った時のみ買えるようにする。

有名なアニメ(外国人にも人気のやつ トイレは最小限に)のイベントをそこで開催したりコスプレ大会などのおもしろいことで若者を呼び(ゴミ箱を多めにおく ポイ捨てがあるから)

インスタグラムやツイッターに、映えスポットとして紹介する。建物ではなく、ベンチを置く。また、のどが渇いてもいいように、自販機を置く。(桜の形をモチーフにする、等) 自転車と歩行者の道をわける。芝生を植えて、散歩しやすくする。

たとえば桜のキャラクター(?)をつかって、スタンプラリーをおこなう。スタンプラリーの景品をつくったりする。SNSに情報発信する。(テレビ)

安全性について、桜の木の右側と左側で車道と歩道を分ける。または、緑の線やブロックで分ける。街灯(自然を守るためにところどころ)を立てて夜でも安全な状態にする。快適さについて、道の途中にベンチなどを置いても良いと思う。トイレについては、どのくらい公園があるのかは分からないが、『〇〇km先(またはm)にトイレがあります』といった看板を立てる。もしくは入り口のところで全体マップを置き、トイレ・休憩できる場所を距離と共に書いておく。

桜の管理は一定の期間に一度、県内の若い人を中心に手伝ってもらえば、管理も広報もできる農業用の車だけ通れるようにして交通量を減らし、単に見に来ただけの人は自転車か歩きで道を通ってもらう。道と桜の間の小山みたいなところに人が何かをしていて座れるようにすれば、新しく休憩所を作らなくてよいし、そんなに華美にはできないが花見ができる。ポイ捨てとかもあるだろうから、見に来た人に拾ってもらい、お礼にお菓子でも渡せば子連れが増えるので認知度が上がる。

まず、事故が起きると「日本一の桜回廊」が悪い意味で有名になってしまうから、サイクリングロード、歩道、車道をわけるのが良いと思います。なかなかそこまで設備できる土地や費用がない場合でも、せめて歩道と車道は分けた方が良いと思います。また、田んぼにおちないように車道にはところどころガードレールをつくった方が良いと思います。また、たくさんの人に知ってもらえるように、見沼田んぼ「日本一の桜回廊」のホームページをつくったり、埼玉県の公式ツイッターやインスタグラムなどで「日本一の桜回廊」の写真をアップしたりするのいいと思います。また、クラウドファンディングなどで「日本一の桜回廊を守ろう」プロジェクトをすれば環境保護につながると思います。



提案内容

- ・さいたま市を走るバスに見沼田んぼの『日本一の桜回廊』と書いて絵や写真などはる！それによってバスを見た人がこんなにきれいなところがあるんだ！ってみたいと思ってもらえるようになる。
- ・紙しばいとか小さなイベントを定期的に開催する（大きいとゴミを捨てられてしまい汚れてしまうから）
- ・学校などでイラストを描きに來たりしてもらう！
- ・小さい観光案内施設みたいなものを作る。

若者の認知度が低いことに関しては、写真映えるスポットを作ってSNSで写真映えスポット・絶景スポットとして話題になることができれば、認知度が高くなると思う。安全面では、歩車分離されていない道に、サクラにちなんだガードレールなどを作れば良いと思う。たとえば、サクラの木だったり、サクラのもようだったりすると思う。一時期マンホールが話題になってたりもしたが、日本一の桜回廊限定のマンホールをつくり、人をあつめれば、上にも書いた、若者の認知度に関しても改善できると思う。

見沼田んぼにある桜回廊の散策する道を一定の期間、交通規制をかけ、車が通れないようにする。桜回廊に人が集まりそうな4月だけでも、桜回廊周辺に簡単に設置できるトイレや休憩スペースをつくる。また、交通規制をかけている間は、路上などに店を出す。上記の事を実現できる場合は、チラシやSNSのインターネット等で「桜の下を散策できる日本一の桜回廊」を宣伝する。

SNSを使うといいと思います。春の桜が満開な時期の写真や自然豊かな写真をオススメポイントと一緒にSNSにとうこうすれば、若者の目に止まりやすく認知度もあがると思います。散策スペースは近場に、駐車場を作り、歩く専用でみるというルールを作ったり車の制限速度を普通の一般歩道より遅めに設定すると少しは安全に桜や豊かな自然を見ることができると思います。時間で、車・人の優先を変えるなど事故にならないように安全に見ることができるよう、何かしらのルールを作ると良いと思います。

若者の認知度を上げるために若者が来やすいようなイベントをつくったり、映えスポットをつくったりしたらいいと思います。桜の管理をするために、植樹や枯れた花拾い、雑草むしり、などのイベントにすれば、桜の維持管理にかかる費用などが少しはおさえられると思います。桜回廊に日本風の軽食などを販売する屋台を設置すると良いと思います。

- ・周辺の場所の緑を増やし、自然豊かにさせる。
- ・駅などの公共施設に、見沼田んぼの広告をする。チラシをはる。→認知度up・携わる人員を増やし、桜の設備を効率的にさせる。
- ・緑色（周囲の景観）

- ・標識などで、どこにトイレがあるかなど示す。
- ・スタンプラリーなどを作り、子どもでも楽しく、行けるようにする。
- ・サイクリングロードを作る。
- ・車を時間帯により交通規制する。
- ・チラシやパンフレットなどを、乗降数の多い駅に設置する。
- ・子どもや、小学校の団体向けに、田んぼを生かしたコメの作り方を広め、それとともに、桜回廊を知ってもらう。
- ・子どもたちなどに、桜を知ってもらうとともに、ボランティア活動をしてもらう。

若者の認知を上げるために半年か1年に1回のペースでイベントを行ったらどうか→また2,000本以上の桜が植えてあり、維持管理が大変だと思うのでこのようなイベントで桜の維持管理を街や他の県の人に知ってもらったらいいと思う。

- ・道路に歩道を整備する。また、自販機やベンチなどを設置する。
- ・車の立入を規制する。
- ・自治体などでお花見の企画をする。
- ・その桜にちなんだおかしなどを売り出す。
- ・サイクリングコースと車道を分ける。

ポイ捨てなどを条例で禁止する。周りに住んでいる人に街路樹などを手入れする。ゴミをひろって捨てることをそっせんしてできるようにゴミ集め大会などをまよおしたらどうだろうか。

公衆トイレや休憩スペースを設置し、花見などのときに屋台などを置けば自然と人は集まり、若者の認知度が上がり、屋台で得た金で桜の維持もできる。

公式のツイッターやT i k T o kやインスタを作って花が咲くときの情報や見沼田んぼの映える写真のとり方などを拡散していけば若者への認知度が上がるし、そこでボランティアなどを募ったら桜の管理などももっとできると思います。

その地域だけ（桜回廊）の桜もちを春に売り出したり、何か他の地域にはない魅力的なイベントをしたりすると、もっと多くの人達に知ってもらってにぎやかになると思う。あと、桜もちに関して、味はもちろんのこと、見た目からSNSなどでバズりそうな見た目の方がいいと思う。（例えば、桜回廊のキャラクターを独自に製作して、そのキャラの桜もちをつくったりする。）

桜回廊でイベントを行う。SNSなどで桜回廊の良さ、季節の変化などを発信する。ボランティア活動を行う。遊歩道を作る。桜回廊の近くに大きな広場を作って屋台を出したり、子どもんぼ遊び場を作ったりして、子連れでも気軽に来れる場所にする。田んぼの体験イベントを行う。

『日本一の桜回廊』を色々な人に広めるために、広告やポスター、チラシなどをつくって配ったり、貼ったりする。車道と歩道を分けるための柵などをつける。ちょっとしたベンチなどを道沿いにつくる。

まず、道路の整備などを行う。（歩行者専用道路を確保して、柵を立てる。トイレのある位置を所々に標識で表す。）日本一の桜回廊についての記事を、さいたま市のホームページに掲載させて、閲覧者が分かりやすいように、伝えたことを簡単にまとめる。

提案内容

日本一の桜回廊沿いに屋台を作る。桜回廊の近くに駅を作る。景観を壊さないようにするため、トイレを地下につくり、桜回廊沿いにベンチなどを設置する。テレビなどで日本一の桜回廊を取り上げてもらう。桜回廊を埼玉県に管理してもらう。

公園の中でイベントをしたりする。そして、公園の中にトイレをつくったりイベントともつながるけれどもおまつりをやってみたりSNSで魅力を発信し、全国からの観光者をひやす。とにかくイベントを増やす（子どもから大人まで体験できる講座）など、季節によって植物を植えてみたりする道にライトをつけて夜安全できれいにする。

公式SNSの開設をしたらいいと思います。そうしたら桜の開花情報を知らせたり、映え写真の投稿をしたら人が増えやすくなると思います。また20km桜の木のみだけでなく各所にちょっとした桜に関する説明だったり置いておくのもいいと思います。そうしたら歩いている時も退屈しないだろうし、何より勉強しながら歩けるのがいいと思います。

桜の本数を減らしたり、子どもたちが桜を通じて、桜を利用し、いろいろな体験ができる施設をつくり、それを親に知ってもらい、たくさんの人たちに来てもらう。ランニングなどができるような歩道をつくる。ベンチをつくり、お年寄りの方たちが休憩できるようなところをつくる。

記憶に残るような面白い広告を作り、アップする、トイレの場所は、桜回廊の地図を配り、どこに公園があるのかを把握してもらう。また、レンタル自転車を何台か置き、固まった時でもすぐ使えるようにする。

このことを知らない人のために、インターネット上にのせたり、パンフレットを配ったりすればよいと思う。歩道と車道も整備したり、地面に車や歩道を分ける線や地面に車、歩道とかがいたりすればよいと思う。

車の通行を禁止にしましょう。→生物達がガソリンなどで環境が変わってしまい、死んでしまうかもしれないから。→こういう通りはお花見だったり、桜を観察したりするものだと思うから。桜の維持について。→市民などにもボランティアなどと一緒に働いてもらい、市民にドリンクや水などもあげて、維持する。

道の幅を広げる。宣伝をして、車と歩く人の道を分ける。トイレや休憩をあらかじめ忠告する。

見沼田んぼの桜回廊を知ってもらうために市役所などで宣伝を行ったり見沼田んぼの桜回廊のマスコットキャラを作ったりしてみたら良いと思う。約2,000本の桜を維持するためには、国や県から維持するためのお金をもらい業者を雇ったり、桜に関するイベントを行ったりして若者や色々な世代の人に見沼田んぼの桜回廊の良さを知ってもらう取り組みをしたら良いと思う。

桜回廊へバスや自転車などで速くつける様なルートをホームページなどにつくってのせるなどしてみてもいいでしょう。ぼく自身遠いと行く気が失せてしまいがちなのでそのことをふまえ、提案しました。

定期的に祭りなどを開催して多くの人に知ってもらうようにテレビやインターネットで宣伝する。道路や歩行者と車用に分けて、安心してゆっくり楽しめるようにする。桜の咲かない時季でも多くの人が興味を引くようなことをする。

車道と歩道を分けるために線をひく。せまかったら道を広くする。また、見沼田んぼのあたりを撮影し、ユーチューブや、ツイッターなどに動画をあげることによって認知度をアップさせる。桜の維持管理は募金などをして、水や肥料などに使い、ボランティアとして手伝ってもらう。休憩スペースは桜回廊の周りに少しずつ設置する。

たくさんの方に、日本一の桜回廊を知ってもらうために、春、桜が満開の時に桜回廊でジョギングやマラソンなどのイベントを行うのはどうか。そのためにも、もう少しトイレを増やした方が良く思うので、所々にトイレを設置する。

- ・「日本一の桜回廊」通りのマラソン大会を開催したりする。
- ・webとかで写真をアップする。
- ・「日本一の桜回廊」のツアーを行う。
- ・細かいことまでwebにのせて、みんなの興味をそそぐ。
- ・トイレやベンチを増やす。
- ・「日本一の桜回廊」の魅力とすばらしさをYouTubeやWebなどで知らせる。
- ・ツアーをひらいて、バスでツアーができるようにする。（道路を整備して危なくないようにする）

- ・ガードレールなどで歩車分離し、桜回廊を安全に楽しめるようにする。
- ・お祭りなどしてTVなどで放送してもらう。
- ・トイレやベンチをとこどこに設置する。
- ・桜の維持費などは募金やお祭りなどの利益でまかなう。
- ・チラシなどを配って認知度を高める。
- ・花火大会をする。（TV放送）
- ・バスツアーなどをひらく。

ベンチを設置して、休憩場所を設けたり、人力車（車）などを導入して動かななくても桜回廊を散策できるようにしたりすれば休憩スペースを広くとらなくても大丈夫だと思います。桜の維持管理における人手の確保や認知度を上げるためには桜回廊の魅力をポスターなどにして町中に掲示して興味を持ってもらえるようにすればいいと思います。

歩行者と車で道を区分する。見沼田んぼで育った作物を積極的に使用し、桜回廊を知ってもらう。定期的に桜を植えたり維持を手伝ってもらえるようにお知らせする。

知名度があがっているのなら、テレビやSNSで大々的に宣伝すれば知名度は上がると思う。あとは車道と歩道を分離すれば安全性も上がると思う。

提案内容

CMやちらしに桜回廊の記事を載せること。トイレや休憩場所を新規に設置する。場所が否か。桜の世話をする人をボランティアで募集する。何かの桜回廊に関する祭りや、イベントを企画しておく。

もう少し、宣伝をしたり、ホームページを作るべきだと思う。宣伝をして、有名な人が来れば、まわりに拡散されたりして、知名度が上がると思う。

小学校などで行なわれる校外学習にたまたまそこを通るようにルートを設定して、そこを通っている間に「窓の外をご覧ください。ここはどこか知っていますか？」と聞いて、30秒間時間をとって、「答えを知っている人、手を上げて答えてねー。」と言って、3人だけを指名して、それぞれ言われた後に正解を行った人には「せーかーい！」と言って、まちがった人には「ちがーう」という。そして、その説明をする。

色々なところとコラボする。アニメやYouTubeなどとコラボすることにより、子どもから大人までも見ているものもあるので、多くの人に伝わりやすくなる。特に、桜にまつわるキャラなどコラボできると、より、桜回廊が伝わりやすくなる。他にも、ゲームなどとコラボしても良い。近年ではeスポーツも注目されているのでこれも広がりやすいものではと考える。さらに「そこに行ったらこうゆうものがもらえる！」といったようなコラボグッズがあるとよい。ここから私個人の考えだがV t u b e r とコラボすればよいと考える。

何かとコラボをする。人手も増えるし、知名度も上がる。自由に建物を作れるようにする。

その近くに地域の団体が意見を出したらよいと思います。いったことがないので状況がわからないのでなにもいけません。すみません。

道を整備して車を通れるようにし埼玉の観光スポットとして紹介する。

アニメとコラボさせる。子どもから大人まで見ることができる年齢層の広いアニメであればコラボすれば、その子供が学校に広めさらにと広がっていく可能性があるから。また花さかじいさんには桜をさかせることができ、人の心にその桜のきれいさを、目を通して実感させたフレーズがあり、いいと思った。そのキャラクターも優しくそうな表情なので子供からも好かれやすいと思う。見た目もよく、幅広い年齢で、なおかつ、人の心を桜で動かすことができるキャラクターなのでよいと思った。

アニメキャラや若者などに有名なキャラクターとコラボしたり、それをイメージした桜回廊にすると、知名度があがる。またさくらにまつわるキャラクターとコラボさせていただければ、もっとコラボ感が増し、“桜”そのものに興味を示しやすくなるのではないかと。若者には「推し」という概念があり、特定のキャラクターを信仰している文化が根づいている。そんな「推し」が何かとコラボしたら…どうだろう。普段は外出することのない大人などもそれをきっかけに訪れてくれる可能性がある。ここからはあくまで私個人の考えることだが、今、多くの世代に人気があるのは「V t u b e r」である。

- トイレを設置する。
- 駐車場をつくる。
- アニメやゲームとコラボして観光客を増やす。
- 車道と歩道を分ける。
- 桜を何本かきって管理しやすくする。
- 歩きやすくなるようにする。

桜回廊でイベント等を行なって知名度をあげる。桜回廊周辺の地域を発展させる。桜回廊の地域を発展させる。桜回廊の来訪者を増やす。おもてなしの仕組みを整える。その土地でとれた農作物の直売を行う。来訪者の憩いの場所となる公園や緑地、桜の拠点を作る。自然農村文化とふれあいの場となる体験農園。河川の低地である事を生かし多様な湿地の動物が生息生育している所をアピールする。広告をだす。住民に宣伝してもらう。

ゲームとコラボする。理由 影響力があるから 最近だと札幌でフェスがあってたくさん人が来た(らしい) 来た人がTwitterでTweetすれば話題になる→若者の間で認知されはじめる。→人が増えるとゲーム内という拠点?のようなものが増える。→そこにアイテムを使うと周囲に桜の花びらのような物が散って趣がある。→人がたくさん来るようになる。

もっと他の人に知ってもらうためには、少なくとも年に1回はお祭りのようなイベントを開いたり、写真大会のようなものを行い、積極的に来てもらえるようにした方がいいと思います。また、宣伝方法をサイトだけでなく、テレビやニュースなどの動画サイト、電車のCMに流すのがいいと思います。

ホームページを作ったりもっと紹介映像を増やすといいと思います。

僕はまず、電車やテレビで広告を出し、知名度を上げる必要があると思います。それにより魅力を紹介して観光客を増やし、県のお金や募金などで道路の整備などを行えばいいと思います。桜は春夏秋冬いつでも楽しめるため、季節ごとにお祭などを主要駅に近い場所でひらき、知ってもらい楽しんでもらえればその後も沢山の人が来るようになると思います。今はインターネットが普及しているので、インターネットで色々な人に発信してもらったり、自分達でも発信すれば知ってもらえると思います。次に、僕は地元の食材などを他の地域などで販売する時に桜回廊の近くの農園で作られている、などという事を書くだけで、農園のことも桜回廊のことも知ってもらえると思います。このようにして桜だけでなく周りと一緒にって埼玉の桜回廊を紹介していけばよいと思いました。

提案内容

- たくさんの人が通れるように道を広くする。
- トイレなどを所々に設置する。
- 桜をもっとたくさん生やしてピンクの道にする。
- 車の人が止められるように駐車場を増やす。
- 坂道をなくして平らな道にする。
- ランニングコースやサイクリングコースにする。
- 看板を作ってコース全体を見やすくする。
- 春に桜を見る回ができるように、公園などを作る。

- ポスターなどをつかって宣伝する。
- 魅力を伝えられるようにがんばる。
- コラボ商品をつくる。
- 歩行者と車の道を分ける。
- 管理をちゃんとする。
- トイレ、公園、コンビニの設置。

桜回廊を見にくる人たちの安全を守るため歩行者と車、バイクなどの通る道を分ける。道にガードレールや白線を引き、歩行者と車がぶつかって事故を起こさないようにする。2つ目は知名度を上げるため、ネットで話題になるようなことをする。桜が満開な春に人は一番くるので夜にイルミネーションをしたり近くの公園などで桜に関するイベントを開催することで、ただ桜を見るだけの場所ではなく、きれいな場所、おもしろい場所という印象を桜回廊に与えて、若者をたくさん呼び込むことが大切だと思う。最後に、自転車などを無料で貸し出し、桜回廊を見ることにできるだけ飽きさせないようにする。

屋台やトイレなどの市民たちが安全に楽しめるようになる施設を置いた方がいい。車と歩行者通る道を分けたいと思う。もっとたくさんの人が来るように宣伝をする。いろいろなアニメのキャラクターとコラボ。

道中にコンビニエンスストアを設置する。県のイベント時に桜回廊を使う。道路を整備して、花見スポットにする。歩行者専用道路を造り、ゲームとコラボする。

トイレやその他の公共施設を増やし、足などに障害ある人の為に、車が走れる車道を引いた方がいいと思う。また、ゴミ箱やベンチなどを設置したほうがいいと思う。そうすることによってより便利になり訪れる人が増えると思う。

まず、桜回廊のまわりの環境を整える事が大事だと思います。トイレの設置や道の整備を行うことで気軽に来れるようになると思います。そしてツイッターやインスタグラムなど、ネット社会になりつつある今、それらを利用し、発信していくことで、人の目にとまりやすくなるのではないかと思います。桜回廊の周辺でイベントを行うことも、人を集めるきっかけとなり、良いのではないかと思います。桜が満開になる春にむけて、色々な整備を行っていくのが大切だと考えました。

- ①桜回廊のまわりの環境（公共施設）などを整える。桜回廊だけを見に来る人はあまり多くないので、周囲の整備も整えて来客数を増やす。
- ②インスタグラムやツイッターで近況を発信する。インターネットで発信することによって、人の目にとまりやすくなる。
- ③桜回廊の周辺でイベントを開催する。イベントを見に来た人に桜回廊の存在を知ってもらう。
- ④桜が満開になる春に向けて色々な整備を行っていく。外国からの観光客が増えるような整備をつくる。

道路の拡張や、時間帯での交通制限を用いてお花見などのスペースや時間をもうける。また、桜回廊の周辺などで、今はコロナウイルスの影響で無理だが、食べ歩くことが可能なファーストフード店などを設置したらどうか。埼玉に住んでいても桜回廊を知らない人が多く認知度が低いので、桜が満開になる頃にバスや電車での広告をする。また、桜には虫などの幼虫がけっこういることがある。なので週に一度清掃作業などもしたら良いと思う。ゴミを捨てるためのゴミ箱の設置や、トイレの設置（簡易）も良いと思います。

- SNSで「日本一の桜回廊」を発信した人になにかしらのプレゼントをする（ギフトやお食事券など…）
- 多くの人が利用する駅にポスターを貼るともっと知名度があがると思う。
- 「日本一の桜回廊」を回るツアーなどを用意する。
- 日本一の桜回廊でしか買えない地域ならではの特産品をつくる。

交通整備をし、観光客や、通行人が快く桜を楽しめるようにする。桜だけではなく、他の花も植える。（色や高さも考える）なにかのイベントを開催する。→マラソンなど 長さが長いので、すべてピンクではなく間をとってイメージを何mかごとに変えてみたりする。きれいさも大事なので、範囲を決めて、毎月行う。通行人と車が通る場所を必ず守る。イルミネーション！！

- 交通整備をして、もっと車を通りやすくしたり、自転車や人が安全に通れるようにする。
- どこかに土地を借りて自転車などを貸し出して、日本一の桜回廊を借りた自転車ではしれるようにする。
- 春になったら電車などで広告する。
- 学校などの表示で来てもらう。
- キャラクターなどを作って日本一の桜回廊を歩いて回る。
- 地下にお店を設置して休めるようにする。

提案内容

- 桜を使ったスイーツなどを考案して道の途中に屋台を設置、そこで販売する。
- 歩車分離する。
- 花見スペースを設ける。
- PR動画を作る。
- 田んぼつぶして施設をつくる。
- 神社をつくる。田んぼで作った米をあずき（桜の味）にして売るとか。
- とりあえずご飯つくる。

私は、外国人観光客のために、英語のガイドブックや英語が話せるガイドさんを用意するべきだと思います。なぜなら、「日本一の桜回廊」といわれるぐらいなら、外国人観光客にツアーとしておススメしたいと思います。また、近年色々な国から旅行者が訪れているため、英語だけでなく中国語や韓国語など他の国の言語をしゃべることができればもっと充実したツアーになると思います。この提案の狙いは、多くの外国人観光客にT w i t t e rなどのSNSを使って発信することによりこの「日本一の桜回廊」が日本いや全国に広まると思います。なので、外国人ツアーを提案します！

まず、「若者の認知度をあげたい！」ということですが、もっと、「日本一」の部分強調したり、なにかイベントを開いたりするのはどうですか？次にトイレや休憩スペースがないという課題ですが建物をつくらなくてすむレジャーシートがひける、「車や自転車が入れない安全な空間」を何mおきにつくればよいのではないのでしょうか？そして、約2,000本ある桜の維持ですが、力がそこまで必要ないのならば、地域の老若男女の人に協力を呼びかけたり、学校の生徒たちに桜を維持するイベントを開いて手伝ってもらったりするのもいいかもしれません。なんにせよ、お金がかかりそうですね…私も「日本一の桜回廊」魅力的だと思うので壊れないようがんばってください！！

見沼たんぼの「日本一の桜回廊」をもっと充実させるためには、まず桜回廊の認知度を高くすると良いと思います。市報や市のホームページなどで、桜回廊を紹介して実際に足を運んでもらえるようにし、そのためには歩車分離をして散策しやすいようにしたらよいと思います。また、道の周りにレジャーシートを敷けるようにすれば、より足を運びやすくなると思います。そして桜回廊の認知度を高めれば、2,000本の桜の木の維持管理に必要な人、お金なども募りやすくなるのではないかと思います。

T i k T o kで、桜回廊の良さが伝わる動画を投稿して、みんなにリンクコピーしてもらえば、有名になると思います。桜回廊沿いに埼玉の特産物などを売るお店を作ったら、楽しい桜回廊になると思います。他にも、さいたま市のみどりの竜のキャラクターを桜回廊を進んだらいろんなところにいけるようにしたら、面白そう。桜にイルミネーションをつけて、夜もきれいな桜回廊になったらもっと人気になると思います。

散歩道にトイレがあると便利なので、何か所かにきれいなトイレを設置すると良いとおもいます。そして、これからの未来を背負っている子供達や外国人のために、自然というものを知ってもらえるよう、「桜回廊ウォーク」という感じで日本一の桜回廊のガイドをするのはどうでしょうか。実際、私も他のガイドウォークに参加したことがあり、今までは関心のなかったことが関心をもつようになり、色々なことを学びました。なので、桜回廊のガイドウォークをしてみてもいいかな、と思いました。子育て応援ということで桜回廊の途中途中にちょっとした遊具を設置すると子どもも楽しんでお出かけできると思います。あとは、お祭りをやって桜の下に沢山の屋台を建てればさらに楽しくなります。

- 桜回廊の中にお店（屋台など）があれば良いと思う。
- 車と歩行者の道を分ける。
- 親子連れが来れるように近くに公園をつくる。
- 車がいっぱい通るように、大きい道路につながるようにしたり、脇道をいっぱい作る。
- 広告をいっぱい出す。
- 桜回廊を県外につなげる。
- 地元の食品ショップをおく。
- 近所の田んぼで田んぼアートをする。
- ごはんつくる。

- 歩行者道の設置、車と一緒にだと危険なため
- 花を見る道の途中に公衆トイレ、コンビニを設置・芝生の会場を作る。若者の知名度を上げるため
- ホームページの検索ワードをふやす。遊び場になる・桜回廊のおみやげ屋を作る。観光地として栄える・休憩する場をつくる。

「自由に建物をつくれぬ」とありますが、どういう理由でつけれぬのかわかりませんが、まず建物がつくれる環境をつくらぬと何にもできないので、それを第一にするべきだと思います。休憩スペースは何mかおきにベンチを置くだけでも違うと思うし、何か所か出店を出していいところをつくると思います。桜の管理はボランティアをつのったり、近くの学校に社会貢献の授業みたいなかんじで水やりとかをお願いしたりすると少しはよくなると思います。認知度は冬の桜回廊をイルミネーションしてみたり（大変だと思いますが）して若者を集めて、冬の桜回廊の様子のポスターをはっておくことで「春もきれいそう。行ってみよ！」ってなるようになると思います。（イルミネーションをテレビで流してもらったり）

若者の認知度を高めるために小学校や中学校で見沼たんぼのことを調べる授業をする 車を止められるスペースをつくる 桜回廊でイベントをやったり、地域の人や観光の人がいっぱい来てもらえるようにする 休憩できる場所をいろんなところにつくる

- 桜回廊の途中にきれいなトイレを建てる。
- 休憩所をつくり、その中でドリンクやスイーツを売る。
- 写真スポットをつくる。

提案内容

浦和や大宮など使う人が多い駅でポスターををはったり、チラシを配る。また、桜回廊でスタンプラリーを行い、桜回廊の所々にスタンプをおいて全部スタンプが集まったら景品がもらえるようにすればいいと思う。(スタンプラリーのチラシなども配る) ←「桜が咲いている間の期間」など期間を設ける。そして20km歩くのは大変なので多くの人が自転車などで行けるように近くに駐車場を設置する。などすればいいと思う。

- 散策する道が畑と段差になっていて、少し危ないので小さいさくや歩車と車をわける線をひいて、写真をとるときも安心してできるようにする。
- どの道から行けば桜を沿って車で通れるのかわからなく、よく通れずすぎてしまうことが多いので、「ここから通れる」ということがわかりやすい看板などをつくる。
- 座れる場所がないのでベンチなどをつくって休憩しながら桜を見れるといいなと思いました。車がとめてあるとじゃまなので。

- 桜回廊のなかでもきれいに桜を見れる所の近くにテント場などの開けた場所を作って花見や休憩ができるようにすれば人が多く来れると思った。
- さくや柱に「日本一の桜回廊」という感じでポスターやチラシを貼ってそのチラシをSNSに流して若者の目に止まれば老若男女の様々な人が来てくれると思った。
- 「桜を管理する会」などを作って自分から「やりたい!」と思っているボランティアの募集などをしてその会のツイッターやインスタなどを作れば世界にまで広がる有名なところになると思った。
- 歩くコースで運動もできるという感じで見せる。

若者の認知度を上げるために、ポスターを町にはったりSNSなどで写真をあげるなどの取り組みをした方がいいと思います。また、2,000本ある桜の管理が厳しいならば、桜を見る人といっしょにきれいにしたり、ボランティアを募集すればいいと思いました。そして、沢山のの人に知ってもらって桜に関することに使うお金を募金のようなかたちで集めればいいと思います。

多くの人に来て大丈夫なよう、歩道と車道は分離しておくことや春の桜が見頃になる時期には車両は通れなくする、また、休憩場所を確保することで、より安全に快適に過ごすことができると思う。また、若者への認知度が低いことについては、桜の写真などをSNSにアップしたり、多くの人利用する駅の見やすいところにポスターをはることににより、より知ることができると思う。

- ベンチを増やしたり、景色を見るのにじゃまにならない位置に自動販売機を置いたらもっとよくなると思います。
- レジャーシートをひけばお花見ができるような場所をつくってみたらどうですか。

見沼田んぼにある「日本一の桜回廊」をもっと充実させるための提案として、「見沼田んぼの桜回廊」の特設サイトなどを作ればよいと思う。今の時代、ネット化が進む中で、ポスターなどを作成し、掲載しても、あまり目に付かない人も多いと思う。その中で、SNSを通じることによって桜回廊のことを知ってもらえるきっかけになるのではないかと考える。また、その特設サイトに桜回廊の歴史、魅力、豆知識などを載せることによって、若い人であってもそのサイトを目にした人が興味をもち、来てくれる人が多くなるのではないかと考える。さらに、道路整備をすることによってさらに桜回廊の見やすさが増すのではないかと考える。

マラソン大会を行ったり、SNSに投稿したりする。

さいたま市内で、見沼田んぼにトイレや休憩場所しっかりとした道を作るために募金活動を行えばよいと思う。また、その募金活動が広く知られることで、若者の認知度が高くなり、沢山の人が来てくれるようになると思う。

もっと都会近くにまで延長すればいいと思う。イベントを実施する。来てくれた人にプレゼントをあげる。有名人を呼ぶ。

ベンチいっぱい置いた方がいいと思います。

みんなで掃除をする。

桜回廊の近くに店を開いたり、インターネットを通じて宣伝をしたりして、多くの人を集める。お祭りなどをして子どもから大人まで集める。約2,000本の木の管理を地域の人がみんなでやり、子どもの会などで手伝いをする。来てくれた人にも桜を育てる体験をしてもらう。

若者の関心がない事について、Youtubeで宣伝するのはどうでしょうか? Youtubeはいろいろな世代の人が見ており、若い人もたくさんいるので効果はあると思います。桜の経営管理について、これはバイトで人をふやし、管理すればよいのではと思います。実際に、森林を守るため(環境保護)ナメクジをとるというバイトをテレビで観たことがあります。都市部に近い所に位置しているため、人も集まりやすいと思います!

見沼田んぼの遊歩道に屋台をたてる。釣り堀りを作って釣りを楽しんだり、釣った魚を食べる。川で遊ぶ子どもが多いので安全にあそべるように川の生態系調査、安全な水場をつくる。

イベントや祭りを開いてこの桜回廊の存在をもっと多くの人に知ってもらうことが大事だと思う。

歩道と車道を分け、お祭などをして得る収入で掃除をし、HPを作ってもっとPRする。

イベントを行い、客の興味をひかせる。駅からのシャトルバスを出す。道を整備して、人が安全に桜をみれるようにする。桜を見るため貸し出し用自転車を用いる。

衛生的で景観の邪魔にならないようなデザインのトイレを設置。自動販売機やベンチなどの設置。認知度を上げるために、広告やポスターなどを充実させる。道は安全のために歩車分離する。桜回廊の行事を企画する。

提案内容

20kmもある桜回廊の美しさを安全に楽しむためには、通行用にコーンをおき、逆流による衝突を防ぎ、SNSに見沼の桜を投稿する事で若者の理解力を深め、維持管理の後継者を増やすきっかけになると思う。

さいたま市に住んでいる人達が毎週や、毎日、毎月などこの家はいつからいつまでそうじをするなど期間を決めてどこの家がいつすると決める。さいたま市の役所の人達が「日本一の桜回廊」のためのお金を毎年100万円など決めトイレなどをつくる。公立小学校で毎年、毎学年見沼田んぼにある「日本一の桜回廊」についてや、その問題などをまとめたパンフレットのものを埼玉県の役所やさいたま市役所が協力して、おかしかった場合に、さいたま市の役所に行くなどをする。「日本一の桜回廊」をCMなどにとり入れてもらい、若者などに知ってもらいきっかけなどをつくると思います。

SNSに紹介動画をアップする。

ベンチを置く。歩行者専用の場所をつくる。自動販売機の設置。

桜回廊があるので、サイクリングをしたり、桜を見ながら遊べる場所をつくれればもっと良くなると思う。また、安全にサイクリングをしたり、遊べるようにするため、歩車分離をする必要があると思う。

桜の下にベンチをたくさんおいて、年に何回かイベント、ピクニックなどを行って、みんながもっと桜の木に興味をもってくれるようにする。月に一回、雑草を抜いたり肥料をあげる会をひらいてやれば管理している人だけでなく、もっとたくさんの方がきれいなスポットなので枯らしてしまうのはもったいないからずっと続けていってほしいです。また交通整備や周りの環境を整えて、観光する人が訪れやすい様にして、たくさんの方が桜をみれるようにする。

毎年その桜回廊でイベントを実施するとよいと思います。知名度を上げるとともに、多くの方がくることによって、地域も活性化したりするなどさまざまなメリットが生まれるからです。

地域でのマラソン大会や桜祭などを行うことで若者に知ってもらう。

屋台を出したりお祭をしたり大きなイベントを実施したりする。桜を少しなくし快適にすごせるようトイレや休憩スペースを多くしたり建物や施設を多くしたりすればいい。

もう少し、桜に関係する公園や屋台等をふやしたらいいと思う。

もっとベンチを増やした方がいい。

22.2kmにする。ベンチを増やす。

夏に花火大会を行い、多くのメディアに取り上げてもらう。→認知度を高める。屋台やバザーを定期的に関き、様々な人が訪れやすくする。

- お祭りを開いて、人が集まるようにする。(屋台など)
- それぞれの四季に合わせてイベントを開催する。
- Twitterやインスタ、Youtubeなどを開設する。(若者の知名度を上げる)

歩車分離をしたらいいと思う。休憩しながら桜を見れる休憩スペースを作ったらもっと良くなると思う。CMを作って全国に広めることをしたらいいと思う。遊びをしながら花見ができる。祭りを行ったらもっと良くなると思う

クラウドファンディングで資金をつくる。車でしか通行できないようにする。(ごみも出ない、危なくない、沢山の人が見れる、コロナ対策)桜回廊の近くに屋台を作ってそこで買った食べ物を食べながら見れるようにする。

お金がかかるかもしれませんが、トイレや休憩スペースの衛生管理に取り組むこと。トイレが虫であふれていたり、汚れがあったら、そのトイレをもう一度使う気にはならないと思います。休憩スペースは人々が休憩をとることで疲れをとったり気分を落ち着かせて癒されようとする場所です。なのでトイレと同じで、キレイにするべきだと思う。各家庭や駅でチラシを配り、知名度を上げる。見栄えをよくする。→夜、桜がキレイに見えるように、白いイルミネーションなどを取り付ける。

歩道、車道を分ける。花見場所等をつくる。若者に人気のYoutuber等とコラボ 春、秋祭りをする。花火大会(秋) Youtube動画で紹介映像(VTR)を上げる。施設を木造にする。

- お年寄りから子どもまで楽しめるようにするにはなるべく疲れないようにする道づくりだと思う。たとえば階段をスロープにしたり、(お年寄りや車いすの人のため)。また車で桜を見られる様にするために、道を広くして、気軽に行けるようにする。• 花見以外のイベントを増やす。たとえば、夏はお祭りは花火大会など…。

ベンチとかピクニックスペースなどがあればいいと思う。桜の間を空けて同じ長さでも本数を少なくした回廊にする。ガードレールを作って車の人も歩行者も安心して見れるようにする。(できる限り)フォトスポットを設置する。ツイッターやインスタ、TikTokなどで紹介する。アンケートをとる(回廊に来た人に)

クラウドファンディングや入場料をとってお金を集めて、人を雇って桜を管理しましょう!近くの公園に分岐路を造ってトイレに行けるようにしよう。だっさい名前は変えよう!近くを再開しよう!

提案内容

- ・認知度が低いことから、私はガイドツアーや、イベントを開催したらいいと思う。
- ・桜（珍しいもの）、しだれ桜など特徴のある珍しいのを植える。
- ・桜の維持管理が困難→みんなで桜を守るためのイベント・ボランティアを集め、楽しくやってみる。
- ・休憩スペースにも使える草原をつくり、ごはんを食べたり、桜見などできる所をつくる。（レジャーシート〇）
- ・動物（犬）と一緒に遊べるスペース、→ドッグランなど・春にお祭りを開催して認知度↑↑
- ・トイレは公園の入口・出口に必ず設置し、途中には屋台式（移動可能）トイレを設置する。

- ・そこで実写化映画、ドラマの撮影を行う。
- ・花火の打ち上げで有名にする。
- ・有名なYouTuberとコラボする。
- ・何かの会場にする（バンド等）
- ・地元の小学校の遠足先にする。

ドラマや映画の撮影地として提供する。それがヒットしたら「聖地巡礼」として人が来るのでいいと思う。さらに、ショップや小さなレストランを建て、それとコラボすればもっと人が増えると思う。芸術的なトイレを作る キッチンカーをたくさん呼ぶ

見栄えが悪かったり、離れた位置にある桜を伐採し、あいたスペースにベンチなどを作り、伐採した桜を木材として、使い、知名度が上がる。予約制にして1,000円程度の入場料を取り密を緩和させる。

若者の認知度を上げるためにYouTubeにPR動画を投稿したり、ツイッターなどで田んぼにある日本一の桜回廊の写真や良い所をツイートする。

桜を減らす→スペースができてトイレや歩道ができる。維持管理できる。工事などがニュースになり認知度が増える。

- ①夜イルミネーションをして、人気をあげる。そうすれば、「ここはきれいだな」と思われるようになり、知名度が上がると思う。
- ②見沼田んぼの近くで、ミュージカルをする。それによって、さいたま市民（田んぼの近くに住民）から全国に発信する。ミュージカルをしたり、ライブをしたり、音楽系をする。
- ③サイクリングコースをつくり、自転車で回って楽しめるようにする。（駅から2〜3kmを歩くのではなく、自転車で走れば楽である。）
- ④新聞にしてさいたま市民に発信する。全ての家に（ほぼ）朝かたにメールボックスにいれる。さいたま市と見沼田んぼが協力する。

トイレや休憩スペースの量を増やす。トイレを有料にする。若者の認知度を増やすための工夫をする。屋台をつくる。歩道と車道を国の税金をつかって分ける工事をする。

桜の維持、管理は、月に一度や年に一度など期間を決めてボランティアを募集し、桜や道のメンテナンスをする。自由に建物を作ることができないのであれば、この用紙のようなものを国に提出すれば作る許可が出るのではないか。認知度の低さは、ツイッターやInstagramなどのアカウントをつくって、ネット上で宣伝をすることや、埼玉県の学校だけでも見沼田んぼのチラシを配布する。歩車分離はガードレールを立てればいい。

費用がかかっても、道の幅を広げるなどの道路整備をして、最も市の中心から郊外まで行くのに便利な道にする。そうすれば桜回廊を交通としても来る人が増え、認知度が高くなると考える。

屋台をつくって祭りをひらく。

近くの田んぼを全てうめてそこに渋谷にあるくらいのきれいなショッピングセンターをたて、「買い物ついでに桜みる？」的な会話を生みだす。埼玉でそれっぽい石をひろってこれが空から落ちてきたと嘘をついて人を集める。UFOがよべる人を呼んでそこでUFOを呼んでUFOの名所に見沼田んぼをする。

若者の認知度を高めるために映えスポットをつくったり、市民にだけでも広めるために桜回廊の広告をつくったりすればいいと思う。お年寄りのためにベンチを多めにつくると多くの人が楽しめると思う。桜を守るために、市内の小中学校が1カ月に1回ほど回廊に落ちているゴミ拾いをすると、市民の人が桜回廊に少しでも興味をもて、充実できると思う。

桜の本数をなくす。

トイレや歩道を作る所だけ桜をなくす。

行ったことや見たことがないのでくわしくは分からないが、私は、気に入った桜の木に名前をつけて好きな木を育てることができるようにしたらいいと思う。そうすれば、木を育てるのを多くの人が手伝えるかと思ったから。また、夏祭りなどで人々の楽しみとなる「花火」を春から夏にかけて、または春、桜が散る前、散りそうな時にうちあげる。そうすれば、花火を春にうちあげるところはあまりないと思うので人が集まると思う。「花火×桜」花火の話と似るがお祭りをするのがいいと思う。あとは写真スポットみたいなのところをいくつかつくる。

ランニングコースを作る。マラソン大会を開く。参加することにお金を取る。

心霊スポット化し、若者を中心に人を呼び、警察などと協力し、事件があったことにする。

掲示板にはる。

冬にイルミネーションをやったら1年中人が集まるのでは、夏には祭、秋は紅葉を目当てに人集めたり

何かイベントをやっているなら市内にちらしくばったり、もしやってないなら、イベントをやる。



提案内容

とにかく認知度をあげることが大切です。若者の認知度上げるためには、インスタ映えとか、SNSで流行らせることが大切だと思います。例えばタピオカ店とか作って桜を見ながらタピオカが飲めるとか、テラスカフェ(?)を使ってお花見しながらコーヒーを飲んだり、そこでしか食べれない桜を使った食べ物を作ったりすることなどです。四季によってデザートとかメニューがかわったりすると、あきずに来てくれたりしてくれると思います。まとめ 『そこでしか食べられないもの、映えそうな食べ物』を作れば認知度が上がり充実すると思う

車道と歩道を分けるためにひものようなものを間に付ける。ひもをつけるところを木(種類はどれでもいいです)にすることで、桜回廊を華やかにできると思います。また、ひもはピンクのひもがいいと思います。そして、木とピンクのひもで桜をイメージできるとともに車道と歩道を分けて安全にできる一石二鳥があると思います。

回廊にトイレを設置し利用料として百円程度を回収する。景色がくずれるといった問題は木造建築にすることで改善されると思われる。具体的にどこに設置するかというと。区域によってテーマをかえて里山区域を作る。里山に木造建築があるのは当然なので景色をくずす心配はなくなる。

夜間のイルミネーション。桜の木を利用した小屋のようなトイレを作る。Youtuber、Tiktokerを利用した宣伝。

- TwitterやInstagramなどを利用し、若者にも興味を持ってもらえるような情報を定期的に配信する。
- 散策する道にカラーコーンを設置するなどして歩車分離する。
- 桜回廊付近の学校で協力して管理する(ゴミ拾いなど)
- 夜、季節ごとに色を変えてライトアップを行う。

ターミナル駅からのシャトルバスを作り、行事やイベントに行きやすくする。(シャトルバスのデザインも工夫し、興味がない人の目にも留まるようにする。)

お花見に使ってもらえるようにして、色々な人に桜回廊への認知度を上げてまた来てもらえるようにする。

まず知名度を上げるために、市内の駅などにポスターを貼って、それから人が集まってきたらイベントを開催していけばいいと思う。

僕はそもそも見沼田んぼの存在を知りませんでした。なので、市民や県民に見沼田んぼのよさとともにその存在を伝えるところからまず始めたいと思います。そして、桜回廊の周辺に公共施設や道路の舗装をするための募金もするともっと良くなると思います。

日本一と聞くと、少しは「見てみたい」や「言ってみよう」と、色々な人が思ってくれるはず。もちろん僕もその一人でした。そのため、まずは広める事だと思います。ありがたい回答ではありますが、やはりSNSの活用というのは非常に効果的だと思います。今の時代たくさんの人がYoutubeやTikTokなどを見ています。ですが、自分から見に行こうと思う人は少ないので、Youtube Shortsなどの自動?で流れてくるコンテンツを利用し、たくさんの人に、「日本一」ということを伝えるべきです。そうすれば、多くの人が興味を持ち、行きたいと思ってくれます。機会があれば僕も行ってみたいです。

桜といえば、桜餅だから、見沼田んぼ名産品に、桜餅を作る。浦和は、うなぎが有名だから、うなぎと桜餅のマッチングもうまそう。桜餅を作るにしても、おしゃれな感じを出す必要がある。また、見沼に住んでるからわかるが景色もいいし散歩も向いているから、とても良い。おそらく見沼代用水が関連しているだろうから、船乗りながら見ると良い。

「日本一」と書かれているのにも関わらずあまり知られていないということが問題の一つだと思うのですが、それについては、SNSを中心に拡散すると良いと思います。若者の目にもふれ「映える」スポットになるかもしれません。手入れの充実をさらに追及し、ボランティアなどの活用もすると良いと思います。休憩場所についてはできるだけ多くの場所に快適なものをおくことが好ましいと思います。特にベンチや簡易的なテーブル、トイレ少しの物を売っている店などがあると、比較的手軽に来ることができれば来る人も増えると思います。桜などがよく見えるよう周りの景色を壊さないことも大切だと思いました。

2,000本の桜の手入れが困難なことと建物を建てられないということを解決するためにまずは清掃をあまりしなくてもいいようにゴミのポイ捨て禁止を促すポスターを応募してつくり、貼り、ポイ捨てを減らした方がよいと思う。そして建物を建てたり、手入れをする人を雇ったりするために、金が必要なので、見沼田んぼにある日本一の桜回廊に受付口をつくってそこでお金をとってそのとった金で整備をすれば良いと思います。若者の認知度を上げるためには、公式Twitterやインスタなどで季節ごとの風景をアップして他の人もみてくれるようにすれば良いと思います。

トイレや休憩スペースが少ないのなら回廊から少し離れた所にトイレや休憩スペースを作り、20kmもあるのだから車しか通れないようにし、広告代を払ってスマホなどのニュースに掲載する。若者は今はテレビを見ることは少ないので、テレビのニュースに出しても効果はあまりないと思う。

• この桜回廊というのは色々な区にまたがっているんで、その区の物産や食べ物を買ったりする。しかし、食べ物などを売るにあたってはポイ捨てやごみの不十分な分別で桜そのものが台無しになる恐れがあるので厳しいごみ対策を練る必要がある。• 桜の葉っぱなどにはケムシなどの害虫もついていて、それらが落ちてくことで踏まれて変な匂いが出たり危険な種類のケムシだと人が怪我する危険性があるので害虫を駆除つまり害虫を餌とする生き物を増やすべきだと思います。しかし鳥などを増やす場合に当たっては鳥の糞尿による汚染、悪臭また鳥の鳴き声による騒音などの問題も出てくるので鳥以外の害虫を餌とする生き物を増やした方がいいと思う。

まずは、桜回廊の道をきちんと歩道と車道に分ける工事を行うと良いと思います。また、桜の維持費や手入れについては先述の工事費用とまとめてクラウドファンディングを行うとよいと思います。また、そのクラウドファンディングのページを市のホームページにPR動画等と一緒に載せる事でよりたくさんの人に知ってもらえると思います。

提案内容

4. 5 km切り倒し3.875 kmの区間を4つ作る。切り倒した部分にトイレ・休憩スペースの設置を行う。また、残りのスペースは春の時はお花見スペース、夏は祭り会場などとして利用する。認知度はイベントを何か行うしかない。僕は春に音楽系のイベントを開くのがいいと思う。

まず若者からの認知度がなくてこれから盛り上がっていく桜回廊にはならないと思うのでホームページの他にさいたま市の公共施設や学校の掲示板などにポスターを貼ったり公式のLINEなど若者のよく使うSNS類で宣伝をすることで多くの人に知ってもらおう。また実際自分も見沼に”日本一”の桜回廊があることを知らなかったのもっと”日本一”だという事を大きく出して興味を持ってもらえるようにするべきだと思う。さらにすぐに回廊付近の設備を整えることは現実的に厳しいことが道や環境が整っていないとすごさが実感しづらいというデメリットがあるので家族や友達同士でお花見のできるスペースや自動販売機やトイレを作る。他にも子どもでも楽しめるように回廊やスタンプを置いてスタンプラリーをすることで子供にも楽しんでもらえるアクティビティをつくる。

「日本一の桜回廊」を訪れる人がさらに増えれば認知度が上がると思うため、春に花見のイベントを開いたりそれ以外の桜が咲かない時季にも様々なイベントを行う。またそのようなイベントが行われる際には回廊の自転車の通行を止めるようにする。そして仮設トイレやベンチといった小規模のものを一定距離ごとに設置することで休憩スペースを確保する。

見沼区にある学校の生徒でもその「日本一の回廊」とやらを知らない人がほとんどなので駅にポスターを貼ったり電柱にもポスターを貼ったり見える位置に桜を配置したりして見沼区に関係のある人には認知されるようにPR活動を進める。またその桜回廊をめぐる観光ツアーなどを作り観光客を集める。そうすることで桜回廊に使う予算を増やしてもっと充実させる方が良いと思います。

もっと若者に知ってもらおう為にYoutubeやTwitterなどのSNSで専用のアカウントを作ってPRすることで良くなると思う。現在あるトイレを利用する際に先程のSNSのアカウントのフォローを条件とすればフォロワーが増えるでしょう。そこで見沼田んぼの「日本一の桜回廊」関わっている企業、団体の広告を出し広告費を貰って資金を調達することで若者の認知度、桜の維持管理費などがまかなえると思う。トイレの設置はその専用スペースを設けることで少しは良くなると思う。桜回廊が歩車分離されていない問題は解決することはとても難しいと思うのでせめて歩行者の歩く道が分かりやすくするようにガードレールをつけると危険じゃなくなると思う。

見沼田んぼと桜に関係のあるグッズやお菓子などを販売する。Youtube、Twitter、インスタなどのSNSを通じて情報を発信する。また、「〇月〇日～△月△日に見沼田んぼの『日本一の桜回廊を見に来てくれた人には〇〇をプレゼント』」などのようなイベントを行って多くの人に来てもらう。

桜は日本人が古代から親しんできたもので日本の文化の一つともいえるものです。その日本一の桜回廊を見るには20 kmも歩かないといけないのが1つのハードルだと思います。そこで春の時期には旅行会社などに積極的に声をかけ観光バスを通し車窓から楽しめるようにすると今より気軽に楽しめるようになると思います。足腰の悪いお年寄りの方も行けるようになることで幅広い世代に親しまれる桜回廊になってほしいです。

まず、見沼田んぼが多くの人には知らないのを知ってもらうためにいくつか周知活動をしてはどうでしょうか。  
一つ目は、テレビで宣伝活動を行う。  
二つ目は、Youtubeを立ち上げて週に一回アップロードする。  
もう一つは、トイレ設備がないのでトイレを設置する。

- 桜が植えられる所に立ち入ることができるようにする。桜の下で休憩できる。
- SNSを用いて積極的に広報をする。もちろん、外国人に向けた広報も行う。
- 地下にパイプ等を通して桜に水を与えたり、ボランティア活動や学校の校外活動として桜の世話や落ち葉掃き、ゴミ拾い等をやってもらう。
- 春に祭りなどを開く（これはあまり現実的ではない）、駅からバス等の公共機関で往来を盛んにする。

何千本もの桜の手入れは、バイトやボランティアの人を雇って手伝ってもらう。そうすることで、知名度も上がっていく。インスタグラムやツイッターなどできれいな桜の写真を載せていき、知名度を上げていく。ライトアップで夜でもキレイな夜桜が見れたら個人的に結構よいと思う。  
また、歩道と車道は絶対に分けた方がいいと思う！！これから、「日本一の桜回廊」が有名となり、観光客多くなればなる程、人も車も増えると思うので、安全のために分けるべき！

地元の小中学校でボランティアとして桜回廊の管理を手伝ってもらう。  
小学一年生の生活の授業などで行く。定期的に車を通行止めする日を作って、散策だけができるようにする。春祭りを開催する。「#（ハッシュタグ）キャンペーン」のように、インスタやその代SNSでハッシュタグをつけて桜回廊の写真をアップした人にプレゼントを渡す。

散策を歩いている人用の道をつくる。そして、その道の間に自動販売機とベンチをおき、休憩スペースをとる。  
春になったら桜にイルミネーションなどをして、その写真をSNS等で発信し、人々に知られるようにする。

インターネットを介して『日本一の桜回廊』をPRすれば、若者への認知度も上がると思います。春の桜の綺麗な時期に祭りを開いて、その祭りの屋台などで得た収入を、桜の維持・管理の費用や、散策する道の歩車分離などの整備の費用に充てたらそれらの支出の多少はまかなえると思います。

桜回廊に沿ってマラソン大会を開催したり、ボランティア活動で回廊の道のゴミ拾いをしたりと、地域の人だけでなく、知らなかった人にちゃんと知ってもらえるようにする。まずは認知されるのってすごく大事だと思う。人はいいなと思ったらどんどん勝手に広めていってくれるから、お花見シーズンとかに屋台をいくつか開いてもいいかもしれない。長いからたくさんの方が来ても込んだりはしないので、今のコロナの時期にピッタリだと思う。今どきのだとライトアップやると若者がたくさん来てくれて活性化すると思う。近くにある商店街とかスーパーとかにチラシを作って置いておくと、少なくとも見てくれる人はいると思う。

提案内容

- ・若者に人気でそうなSNS映えのフォトスポットをつくる。また、人々の安全を守るために歩車分離はしたほうがいいと思う。
- ・桜を整備するためのボランティアを募ったり、近隣の小学校・中学校・高校などの生徒がボランティア活動をしてお手伝いしたりすれば整備もすすむだろうし、生徒にとっても今まであまりなかった自然とふれあえる貴重な機会になってよいと思う。
- ・もっと多くの人に知ってもらうために独自のキャラクターとか産品を生み出したらよいと思う。

SNSで「日本一」などのインパクトのある文章で投稿をすれば少しは若者にも興味を持ってもらえると思います。また、日本一の桜回廊に写真を撮れるようなスポットを作れば若者にも「行ってみたいな」と思ってもらえると思います。また、お祭などをそこで行えば小さい子どもからお年寄りまでの幅広い年齢層の人々がいい場所だなと実感してもらえると思います。

有名なTikTokerの方を桜回廊に招待して、流行ってる曲でショートムービーを撮影してみたらいいと思う。TikTokやInstagramでバズれば、名所のような感じになって、色々なTikTokerのファンの方々が来てくれるのではないのでしょうか。

「日本一の桜回廊」でマラソンなどのイベントを開いたり、桜回廊の簡単な整備のボランティアを呼びかけてみると良いと思う。イベントで集めた資金を歩道の整備や、トイレ、休憩スペースに使い、よりよく人々に楽しみを与えることができ、子どもから高齢者まで、どんな人でもくることができて楽しめる環境になると思う。また、ボランティアの活動内容を若者でも見るSNSにアップすることにより、若者の関心が集まり、認知度も上げられるのではないかと考えた。SNSは世界中の人々が見られるツールなので、「日本一の桜回廊」を日本国外の人にも知ってもらえると良いと思う。

若者が好きなインスタ映えスポットを作る。夜はライトアップしてイルミネーションにしたり、プロジェクターを使ったりして、桜ならではのことをする。散策する道が歩車分離されていないことは、できるなら桜の季節だけ歩行車だけの道にする。また、平日は車も通るようにして休日は歩行者のみにする。桜の絵画コンテストを行う。「日本一の桜回廊」だからこそ、広いのでたくさんの方が参加できるし、いろいろな雰囲気の花が描けるから。また、桜の写真をとって競い合う。絵と同じようにいろいろな写真がとれると思うので、中高生のみで行ったり、大人で行ったりする。桜の維持管理が困難であることは、そういう体験を試みたりして、たくさんの人に興味をもってもらい、ボランティアなどで参加する。

- ・桜回廊でお祭りなどのイベントを開催する。
  - 近隣住民にとってより身近な場所になり、桜回廊を地域の人々全体で守って行こうという気持ちが強まるだけでなく、遠い場所に住んでいる人が見沼たんぼに来るきっかけとなり、若者の認知度も高くなると思います。
- ・桜以外にも、年間を通して楽しめる花や植物を植える。
  - 春だけでなく、秋や冬など一年中楽しむことができる観光スポットなら、たくさんの方が来ると思います。
- ・近くの小学校や中学校にボランティア活動を要請する。
  - 若者の認知度が上がるとともに、設備している人の負担が減る。

そもそも知名度が低すぎるのでメディアやインターネットを活用して若い世代に知ってもらう必要がある。桜は外国人観光客にも人気があるのでそっちの方面にもアピールしたいところ。イルミネーションなんかをすると人が集まりそうな気がする。田んぼがあって開発が難しいのは分かるが、せめてトイレくらいはないと厳しいと思うのでそれは工夫してやるべきだと思う。歩車分離はできるならやりたいところだが難しいのか。いっそ別の道を車用で作ってここは歩行者天国みたいにしたいのもアリかも。あとは期間限定で歩行者天国にして屋台とかを出してみたりするのも面白いと思った。

◎若者の注目をあつめるために・・・

- ・イルミネーションをつくる。
- ・おしゃれなカフェをつくる。
- ・SNSを活用して、魅力を発信する。
- ・フォトスポットをつくる。
- ・イベントを催す。
- ・インフルエンサーに来てもらう。

- ・SNSで発信して若者や外国人にも知ってもらう。映えスポットなどをつくってみる。
- ・散策する道を歩車分離して皆が気軽に行けるようにする。
- ・公園をつくって子どもたちが行っても楽しめるようにする。
- ・桜の管理を少しでも楽にするためにボランティアを募集して仕事を分担する。
- ・トイレや休憩スペースがないとどうしても不便になってしまうので、どうにか作ってもらえるよう、説得する。

私は見沼たんぼにある『日本一の桜回廊』に何度も行ったことがあります。とても素晴らしい景色だと思います。そこで、もっと充実させるために意見を書かせていただきたいです。まず、「散策する道が歩車分離されていない」ことについては、このことで事故などが起こったら大変だと思うので、歩行者用の白い線を引くのが1番良いと思います。また、「若者の認知度が低い」ことについては、テレビ（テレビでも大きな放送局でも）で特集などをして、もっと若者にも興味や関心をもってもらいたいと思います。あまり現実的でないアイデアかもしれませんが、これが私の意見として提出いたします。

提案内容

- ・桜回廊をSNSで発信（風景や情報など）をして若者の知名度を上げ、観光客を増やす。
- ・ボランティアの人を集めて桜の維持をする。
- ・桜回廊の近所の小・中学校を招待する。
- ・桜回廊についてのチラシを小・中学校の生徒に配る。
- ・歩行者と車道を分け、安全性を高める。
- ・お花見ができるような簡易的なスペースをつくる。
- ・スタンプラリーなどを開催する。（桜回廊にちなんだもの）
- ・英語や中国語などの案内チラシなどを作って外国からの観光者も楽しめるようにする。

桜が咲いている期間は限られてしまっているし、桜は比較的どこでもみれるのであまり知名度がないのではないのでしょうか。なので私は期間はライトアップをしたりして冬は夜景で有名にして、春は桜で有名にすることで、かくちの桜の名所などと知名度がならぶことができる可能性が少しでも上がるのではないかなと思います。

- ・ドラマや広告とかで場所を提供する。→聖地になるかも？
- ・桜を見る会
- ・小学校などで遠足地にする。
- ・レンタルサイクリングができるようにする。
- ・キャラクターを作る。
- ・スタンプラリー
- ・循環バス
- ・道徳の時間で考える。
- ・イルミネーション

- ・夜のイルミネーションや、積極的にインターネットに情報を流す。
- ・上野公園の桜のように、春に見沼たんぼのイメージをつくる。
- ・ネット上でボランティアを募集して、ごみ拾い等の社会福祉活動をする。
- ・埼玉出身のメーカーとコラボする。
- ・スタンプラリー
- ・道徳の教科書に載せる。

SNSを使って「日本一の桜回廊」をアピールする。  
桜の近くに歩道橋をつくってそこから桜が見れるようにする。  
桜回廊を何分割かにして色々な人が管理するようにする。

写真映えをするスポットを各所につくる、例えばおしゃれなベンチをおいてみたり、桜をモチーフにしたかざりのついた場所など、また夜はきれいにライトアップさせて夜桜も楽しめるようにする。  
紅葉の時期にも力を入れる。桜をモチーフにしたおかしをうって、お花見が楽しめるようにする。  
SNSでPRをする。フリーマーケットをつくる。  
人気アニメとかとコラボする。

- ・近所の人が2～3本ずつぐらいで桜を管理する。
- ・古くなったサクラの木を切って切株をベンチにする。
- ・恋愛スポットをつくる。
- ・桜の木の下にタイムカプセルを埋める。
- ・ゲームの拠点に登録する。
- ・有名人を呼び。
- ・写真コンテストを開く。（賞金あり）
- ・絵画コンテストを開く。（賞金あり）
- ・なんかの映画の舞台にする。
- ・怪談スポットをつくる。
- ・限定カードを配付する。
- ・桜にハンモックをかける。

- ・twitterで布教
- ・スケボーコートを作る
- ・冬場にライトアップ
- ・脱出ゲーム系をやってみる
- ・釣りができるようなエリアを作る。
- ・公式キャラを作ってみる。
- ・木にハンモックを切り上げたり、野鳥の紹介パネルをつくる。

自由に建物を建てられないなら、トイレは周辺の公園のものをもっと増やす。飲み物に関しては、まわりの景観に合わせた自販機を何kmかごとに置いて、そこで限定のデザインの飲み物などを売れば、それを集めたい人もでてきて、若者へのアピールにもできると思う。また、変に建物を建てたりするよりは、そのまま自然の景観を残しておいた方がいいと思う。あと、桜を管理する人はホームページなどで募集するか、市でごみ拾いなどのイベントを開くといいと思う。

提案内容

みんなが桜をゆっくり見れる休憩スペースをつくる。  
桜の木を切って建物を建てられるスペースを作り、レストランなどの何か食べられる場所を作る。  
他にも、マラソンとして使えるように、水が出る機械を設置する。

国から『日本一の桜回廊』世界文化遺産のようなものに指定してもらえれば、たくさんの人に知ってもらえて、世界中から観光客がたくさん来ると思う。  
また、桜回廊の近くの、大宮駅などのたくさんの人が使う駅に、桜回廊の写真と説明を書いたポスターを貼れば、もっと知名度が上がると思った。

ついったー始めたら若者の認知度が上がると思う。  
道を整備する。  
ゲームをパクる。  
限定のカードを配る。

桜に電飾をつけて、シーズンごとにライトアップして、「埼玉ハウステンボス」なるものを作れば、それなりに人が来ると思う。さらに、埼玉に貴重な名スポットが一つできるので、埼玉県の魅力度も上がると思う。  
そのため、いくつか建築の制限を軽くすればそれだけでも大きく改善されると思う。

歩道を広げたほうが良いと思う。また、若者ももっと集まるようにイルミネーションといった、（例えば民間企業とコラボ）などという映えスポットをつくらなくて、わざわざほかの場所から見にくるってはないと思う。

散策する道の歩道を広げたほうが良いと思います。歩道を広げて歩きやすくすれば人が集まって歩きやすいと思います。  
あとは、SNSに桜の写真を掲載して拡散することで若者の認知度が上がりやすくなると思います。

散策の道が歩車分離できていない、という問題があったので、私は桜のシーズンのみ、道を歩行者天国とすることを提案します。  
また、知名度についての問題もあったので、その他の物や桜に関連するイベントを行うのはどうでしょうか。

見沼田んぼの桜回廊は日本一ということが、琵琶湖みたいに全国に認知、されていないことが問題だと思う。埼玉県民にも知らない人が多くいるから、まずは見沼田んぼを伝えていく範囲をさいたま市から埼玉県に広げることが大事、若者の認知度が低いという問題は、TwitterやInstagramなどのZ世代が良く利用するSNSアプリで見沼田んぼとアピールするツイートをすれば、徐々に認知されていくと思う。約2,000本ある桜の維持管理が困難という問題は、維持管理のボランティアを募集すればいいと思う。  
ボランティアの参加証などでお菓子などを用意すれば、親子が参加してくれる可能性が高まり、若者の認知度という問題も一緒に解決できると思う。もうすぐ来るクリスマスでは夜にライトアップなどをすれば観光客が増えるのではないかな。

- 桜の木を切って休憩スペースかトイレを作る。
- 有名人やNHKを呼ぶ。
- 夏についた葉で桜もちを作る。
- 桜回廊でお祭りをやる。
- 田植え体験をする。

1 km ずつ休憩所をおく。  
休憩所は田んぼの側におく。  
休憩上にはお店を2、3こずつおいて、収入の一部を場所をかりた農家にまわす。  
JRの駅または電車内に広告を出す。  
となりの田んぼで、何かの体験イベントを出して、2つのスポットをつくる、歩道を桜のすぐ近く（土手の上に）にする。

桜の維持管理をするために、近くの小学校や幼稚園の人と協力すれば良いと思う。例えば、枝を伐採する作業と一緒にいったり、落ち葉と一緒に拾ったりと、地域の人と子どもたちが関わり合えることで、より、桜に興味を持ってもらって、後世に伝えることができる。そして、桜の維持管理をすることも可能である。

- ツイッターやインスタグラムに見沼田んぼの映え写真をのせる。
- イルミネーションをつける。
- テレビで、有名人を呼ぶ。
- 屋台をおく。
- 花見スペースを設ける。

- ベンチや自販機を置く。
- 冬にイルミネーションやる。
- 年に1、2回お祭りをやる。
- 桜の維持管理を行うボランティアを募集する。
- マラソンコースをつくる。
- CMにつかう。
- 近くに人気の店や大型ショッピングモールなどをたてる。
- 子どもの日にこいのぼりをつける。

提案内容

- ・市役所でSNSを開設して、多くの人の目につくようにしたらどうでしょうか。
- ・花見の時期にフォトスポットパネルを置いたり、マラソンコースの一部や、「桜回廊マラソン」などと、色々な世代の参加できるイベントを催す。
- ・初夏よりも前に落ちた桜の花びらを押し花にしてアクセサリーのデザインの一部や、本のしおり、押し花の体験コーナーを期間限定で開催する。
- ・上野公園のように、道を半分に分けて片方は歩いたり、反対側は自参したイスなどして、ピクニックできるようにする。

- ・屋台を出せばいい。
- ・サンタさんと呼ぶ。
- ・田んぼで収穫したものをはい給する。
- ・有名人と呼ぶ。

- ・ライトアップして会社帰りの人々などが夜桜を楽しめるようにする。
- ・そもそも道を広げる。
- ・一年のどこかで一定期間一部分交通を停止し祭りを開く。
- ・ランニングイベントを開催する
- ・スタンプラリーを設置する。
- ・有名人と呼ぶ。
- ・ゲームの拠点をふやす。
- ・小学校の校外学習の行き先にする。

日本一の桜回廊ではなく世界一の桜回廊にする。又、世界的に多くのツアーをつくったり、桜だけではなく若者向けにカラオケやボーリングなどの場所作ってイルミネーションにしたりする。  
お金の力でもっと多くの芸人に宣伝してもらい有名にする。  
最寄り駅も作ってバスの巡回も行って子どもから大人まで長い時間楽しめるようにする。

桜回廊の中にスタンプラリーを作って軽い景品を用意する。軽い景品は桜や田んぼにちなんだものにし、子どもたちやその親に知ってもらい、さらにでかいイベントを開いて来てもらう。

見沼田んぼの桜回廊を使って毎年春にマラソン大会や駅伝大会を開催させればいいと思う。そしたら本当にきれいならば参加者からどんとどんと周りの人々に広まって沢山の人が認知させればいいと思う。  
また、春に見沼田んぼにある日本一の桜回廊で桜祭りなどを開催させる事や、花火大会なども開催させればいいと思う。  
また公式ツイッターを作って日々その情報を全世界に向けて発信すれば若者に対する認知度も上がると思います。

建物の規制を緩和する。  
途中で未来的な建物・自然と調和した建物などをつくり若者たちからウケをねらう。  
ただの緑地ではなくて人間も楽しめて自然もあるかという未来の縮図のような小さな町の中につくる。

- ・若者の認知度を上げるために桜が見頃の時期に簡易的な屋台を用いてちょっとした出し物をする。夜には桜を光らせて夜桜を楽しめるようにする。
- 「祭り」のような出し物をする日だけでは車が通れないようにする。
- ・桜を独創的に撮ってハッシュタグをつけてインスタグラムやティックトックに投稿するプロジェクトを行う。
- ・車を桜並木の中に停めて、社内での花見を可能な日設ける。
- ・ユーチューブにPR動画を載せる。
- 埼玉県・さいたま市出身の芸能人などに協力してもらう。

ツイッターを始める。  
ドラマでも作る。  
歩道橋つくる。  
桜の世話をしたら抽選で物が当たるようにする。  
木を全てハリボテにする。  
桜教をつくる。  
祭りをする。

- ・等間隔で桜を2～3本切り、トイレや休憩所を作れば、維持管理をする桜も減るうえに、快適に過ごせるようになると思います。
- ・入り口で、時間ごとに人が入れる時間と車が入れる時間を分ければいいと思います。
- ・ツイッターやインスタグラムなど、若者がよく使うSNSを使って見沼田んぼを紹介すればいいと思います。

- ・0kmごとに木製の椅子を設置し、高齢の人も楽しめるようにする。
- ・キッチンカー等を使って安倉の景色と調和するような日本の食べ物販売する。(おにぎり、三色団子、桜あんパン、茶など)
- ・付近の大きい駅にパンフレットを作っておく。Twitter・InstagramなどのSNSを利用し、「今日はOOが売ってます」「今日の景色」投稿。
- ・季節ごとに写真コンテストを実施する。
- ・小さい子どもを対象にイベントを実施する。  
(田んぼで虫とり・田植え体験・桜の花を使ってアクセサリーやキーホルダーの作成など)
- ・付近の小学校と協力し、桜の手入れや雑草取りなどを一緒に行い、これから大きく育っていく年齢の子たちに見沼田んぼを知ってもらう。

提案内容

屋台をたて、飲食ができるようにし桜を見ながらくつろげるようにする。道路に見沼田んぼで育てられたおいしい米のばらまき自然な感じを出す。そうすることによって地域のPRができる。田んぼアートをやりに、田んぼのアートと桜の両方を楽しめるようにする。夜はイルミネーションをやりデートスポットにする。その道で有名人がやぶさめをするイベントを開催させる。

見沼田んぼにいる生物を観察するという名目で桜回廊と人々がふれ合える機会を増やす。イルミネーションで田んぼと桜回廊をライトアップする。チラシなどで もっと色々な人に知ってもらう。桜をつかった食べ物をつくさんつくる。

桜の間隔を空けて、建物が作れるスペースを確保する。そうすることで桜の数を減らすことができ、維持することもできる。さらに空いた場所に若者に人気な建物、トイレに休憩場所などを作ることができる。これによって2つ、3つの問題を同時に解決することができる。

若者に認知してもらうためには、まず SNSに投稿して知ってもらうことが一番簡単だと思います。若者はSNSで情報を伝えたり、教わったりしているからです。しかし、SNSに投稿しても印象に残らなければ意味がないので何かインパクトのある事をした方がよい。なので、1つとしてクリスマスの期間限定で桜の木の周りにイルミネーションを設置して、若者が来て楽しめる場所にすればよいと思う。

桜回廊の間だけを通るオープンカー式のタクシー（お金要らない）を置いてみたらいいと思います。理由は、歩き自転車だと20kmも走るのは時間がかかるし疲れそうなのに、トイレに行きたいという人はもっと大変になると思ったので、何ヶ所かにタクシー乗り場のようなものを置いて乗せてもらうようにすれば、オープンカーなので桜も良く見えるうえに、異動が早いから休憩スペースやトイレに行きたいと思ってもすぐに行けると思ったからです。あと道の合間に工事現場にあるようなトイレを置いておくのも一つの手だと思います。

僕が思うことはいろいろと宣伝をするということです。まずは知ってもらわないといけないからです。次はなにか大型のイベントをやればよいと思います。理由はそのイベントで大盛り上がりすれば人気になるからです。次は子どもたちが遊べるスペースを確保することです。理由は子どもに人気が出て来たらもっと人気になると思うからです。最後に今日は人が多いためSNSを使って宣伝します。

僕がこの『日本一の桜回廊』が知名度が低いと思う理由として桜を見る事以外のメリットがないからです。これを改善するためにまずは飲食店や遊び場などを作るのはどうでしょうか？また立地を考慮して言うこととしては交通の便が悪いということです。桜を見に行けば割引券が手に入ったり無料で何かの商品をもらえたりまたゲームとコラボすることで地域の飲食店との交流を高めたり企業とコラボレーションして若者の目を引けると思っています。また船での観光も可能にすると老人など幅広い人々に知ってもらえるきっかけになります。ランニングコースとして駅伝で使うのもどうでしょうか？コストのかからないものから取り入れるといいと思いました。

桜回廊の所には仮設トイレを設置することでトイレスペースを確保する。また途中で抜けられるような抜け道を確保する。クラウドファンディング的な形でネットなどで桜の維持費を収集する。宣伝にもつながるし、維持費も確保することができ一石二鳥でよりよい桜回廊となれる。桜回廊の入口に駐車場を設置し2~3kmも歩かなくてよいようにし桜回廊が混む時間帯などを車の走行禁止にすることで歩車分離の問題も解決できるし、もし無理なら桜回廊観光用バスなどを市が用意し20kmも歩かずにすむようにする。その費用などもクラウドファンディングで募集すればさらに良くなると思う。

桜回廊でまず歩車分離をして至る所で自転車をレンタルできるようにすればいい。自転車をレンタルすることで気軽に素早く移動が出来るようになる。ボランティア活動をして一人ずつ少しでもいいので桜の木の面倒をみれるようにすれば木の大切さも分かり簡単になるのでいいと思う。

- ・観光客をバスにのせてガイド案内をする。見沼の魅力や有名なものをガイドさんが話すことで見沼を好きになってもらい違うものにも興味をもってもらおう。
- ・自由に建物を作ることができないならキッチンカー（車の中で販売する）で仕事をしている人に来てもらい観光しにきた人に利用してもらおう。桜の木の木陰で休めるようなスペースをつくる。
- ・イベントを開き大人数で桜の木の管理をする。参加してくれた人にはお菓子や飲み物、キッチンカーの特別券などを配布するとたくさん参加してくれると思う。
- ・〇〇日は車限定、〇〇日は徒歩限定と決める。

まずは管理しきれないのなら管理がギリギリできるくらいまで減らした方がよいと思います。また桜の木に興味をあまりもたない子供にも楽しんでもらうためにスタンプラリーを実施してはどうでしょうか？あとはこの「日本一の桜回廊」を知ってもらうためには若者に人気な「YouTube」や「Twitter」を通して発信するのがよいと思います。これらをまとめると①桜の木を管理できるくらいまで減らす②子どもにも興味をもってもらおう。

距離が長いので小さい子やお年寄りには少々骨が折れると思います。景観に似つかわしくはないですが要所要所にベンチや自販機などをおいてなるべく快適に桜を楽しめるようにするとよいと思います。また、倒木の危険性なども考慮して老木の根上がり状況がバッコウタケによる倒木危険性を確認した方がよいと思います。

提案内容

まず安全面では桜側に歩道を設けピクニックなどができるようにする。車道はスピードを抑えるようにシドライブスルーのように見れるようにする。車道と歩道の間には柵を設けるべき。楽しさを求めるうえでバスでツアーをするなどして今までとは違う何かの楽しさを求める。快適に過ごす為に日陰での休憩スペースを設けるべき。

若者の認知度を上げるにはツイッターやインスタグラム等を利用してネットで拡散することで若者に認知してもらえて来る人が増えると思う。休憩スペースが少ない事については歩道の所に一定のかんかくでベンチを置くことで休憩スペースが少ない事を解決することが出来ると思う。あと大宮などの大きい駅から桜回廊への観光バスを出したりすることで人がもっと来易くなると思う。

田んぼを広げもっと沢山の桜を植えたらもっと有名になると思います。もしこれで実現できたら見沼田んぼの桜回廊はさいたま市だけでなく埼玉県の自慢になります。そして桜を見に来た沢山の人が写真をSNSに投稿するとさらに多くの人に来るにちがいありません。また毎年の春にお祭りを開いたら人気になるはず。お祭りは楽しみなので花見とお祭りの両方の楽しさを求めて見沼田んぼに来る人がいたらいいなと思います。

- 入口を作りその近くに駐車場を作り散策時安全に散策できるようにしたり入口付近にコンビニなどがあればトイレや軽食を買うことができる。
- 地元メディアなどと協力してもっといろんな所に桜回廊について知ってもらえば人が増えて充実すると思う。
- 学校の行事などでいけばまた家族と来てくれるかもしれない。

僕は三つのアイデアがあります。まず一つ目は桜回廊の近くに専用の駐車場を設置し桜回廊へ車で侵入を禁止することです。それにより事故を減らすことに繋がります。二つ目はSNSで宣伝をすると同時に桜の維持管理のボランティアを募る案です。これによりボランティアとして観光客として人が増えその人達に拡散してもらうことでさらに多くの客を呼べると思います。さらにSNSでの宣伝により若者の客も増えると思います。最後は桜回廊に普通の人と怪我や車椅子によって移動が困難な人で道を分ける案です。これにより一人一人が自らのペースで桜を見ながら移動し、桜を楽しむことが出来ると思います。

- 桜の木が多すぎて管理出来ないのなら管理しやすい場所に移植すればいいと思う。「日本一の長さの桜回廊」ではなくなってしまってもいいかもしれないが日本一に拘って管理が疎かになって問題が起きるよりはましだと思う。
- 桜回廊の途中で外へ出入りできる道をたくさん作って自由に建物が建てられる場所まで道をのばせばいいと思う。その先にトイレや休憩スペースを作る。道が長くなって人が寄り付かなそうなら休憩所にスタンプを用意してスタンプラリーを開催すればいいと思う。スタンプを押すついでにトイレに行ってもらえば快適に桜回廊を歩けると思う。

僕は見沼田んぼにある桜回廊を知らなかったのですがとても魅力的に感じ行ってみたいと思いました。僕と同様にこの桜回廊を知らない人が多いだろうと思います。埼玉の都心からちかいは人々も行き易いし多くの人に認知されれば訪れる人も増えると思います。この桜回廊は20kmあるのでそこでハーフマラソンを開催したり健康になるようなプロジェクトを開催し人を集めてもいいと思う。若者への認知度が低いなら今の若者はスマートフォンをよく使っていると思うのでどこかのサイトに広告にしてもいいと思う。

埼玉県の子を対象にし、何人かのグループで1本の桜の木の世話をするといいと思います。僕も正直見沼田んぼの桜回廊を知らなかったのですがまずは認知度を上げるために学生に桜回廊のことを知ってもらい関心を持ってもらうことから始めるのはどうでしょうか。そして年に何回か学生主体で桜の世話や回廊の掃除などをしてもらい桜回廊に愛着と誇りをもってもらえばいいと考えました。

20kmもの長さがあるのでは休憩地点の増設が必要だが自由に建設することが出来ない上、車と人が混在しているのであればこの観光自体を車を運転しつつ眺める形式にすると良くなると思う。駅から2~3kmの近さとあるが徒歩ではわりかし遠くその上休憩地点などの増設が不可なのでドライブスルー制にする事でより「近い」という気軽さで集客でき増設もしなくて済むと思う。その事で若年層からの認知も狙う事ができる。管理についても機材輸送が容易になると思う。歩道は新しいものを作成して分離させると良いと思う。

「日本一長い」というだけでは歩くのも疲れるので私はあまりいきたくありません。なので車で回ることをメインに宣伝すると良いと思います。主要駅から近いので「気軽に行けるドライブスポット」のように言うてみてはどうでしょうか。また、さいたま市民の自分もこの桜回廊の存在を知らなかったの、まずは認知度を上げる必要があると思います。さいたま市の小中学校でチラシを配ったりテレビで取り上げてもらったりです。

見沼田んぼの桜回廊はとても長いのでその特長を生かした方法を考えました。まずは若者をターゲットにしたマラソン大会です。そうすれば若者も見沼田んぼの桜回廊の良さを知れてよいのではないかと思います。もう一つは散歩です。近年、健康促進のため散歩をする人が増えています。それは高齢者に限らず若者も含まれます。なので見沼田んぼの桜回廊の散歩をすることでもっと魅力が伝わると思います。また親子で来た場合、子どもが将来思い出の場所、桜回廊にもう一度来るとも考えられるので散歩を企画するのがいいと思います。

私はこの「桜回廊」の認知度を上げれば、クラウドファンディングで資金を募って近くに施設をつくることができたり、新たなアイデアが市民、国民から集まってくると思う。だから、まずは若者のあげるために、SNSを使って「春になると見ごろの桜回廊」をもっと伝えなければならぬと思う。具体的には、この桜回廊をドラマのロケ地にしてもらったり、花見の季節でテレビで宣伝したり、この桜回廊に来てその情報をSNSにあげれば何か簡単な景品のものがもらえるという策をとってみたりするのはどうだろうか。桜の維持管理をするにも、さまざまな問題を解決するにも、まずは認知度を上げて、アイデアや解決に導くための資金をつのることが必要だと思う。そして、次世代にこの桜回廊を伝えていくためには若者がそれを知らないとい何も始まらないのでやはり、人々からの（特に若者に焦点をあてて）認知度を上げることを目指すべきだ。



提案内容

せっかく「日本一」の桜回廊があるにも関わらず、そこまで有名！というかんじはしないような気がする。桜回廊がどんなにいい場所になったとしても知ってる人が少ないと、あまり栄えないと思う。なのでもっといろいろな人に桜回廊を知ってもらうことが大切だと思う。多くの人に知ってもらうのに一番便利なのはSNSだと思う。また、桜が満開な時期にお祭りなどをすれば、お花見にすぐあきてしまうような小さい子でも楽しめるのでやってみるといいんじゃないかと思う。また、休憩スペースが少ないと、子どもや高齢の方は行きづらいと思う。なので、桜の木の影に小さなベンチを置くなどして、少しでも休憩できる場所を確保する努力をするといいと思う。

若者の認知度を高めるために、訪れた人たちにSNSなどに投稿してもらうとよいと思う。約2,000本ある桜の維持管理は、桜の植樹が行われた時のように、団体や市民が担うのが良いと思う。安全のために、散歩する道を歩車分離するのは大事だと思うので、募金などによって費用を集めるのが良いと思う。  
また、桜回廊の認知度を高めるために、誰もが参加できるイベントを開くのもいいと思う。

大事なのは「日本一の桜回廊」であることよりも「たくさんの人が安全に、楽しく、快適に過ごせる桜回廊」だと思います。この桜並木が人々を魅了しているのはこの桜並木が日本一の長さだからではなく、景観が美しいからなので、桜並木を短縮することを考えても良いのではないのでしょうか。桜並木を短縮することができれば桜の維持管理が容易になり、その分、安全性を追求することができます。また、トイレや休憩スペースの建設を集中させることができるのでより快適にすごすことができるかと思えます。  
また、短縮する場合は市民や団体の植樹した部分、市民の寄付によって植樹した部分は残しておくのがよいと思います。

若者に知ってもらうためにSNSを利用して桜回廊の良さをアピールしたり、メディアに取り上げてもらうといいと思います。スタンプラリーを設置したり、屋台を並べると盛り上がると思います。休憩スペースを綺麗にしたり、ベンチを増やすことでより快適に過ごせるのではないのでしょうか。私は行ったことがないので、定期的にお祭などがあると興味がわくと思いました。

若者の認知度を上げるためには、春に公園での大規模な桜まつり（大宮公園桜まつりのような）を実施したり、夜のライトアップをするなど、SNS映えの話題づくりをする必要がある。せっかく川ぞいにつくっているんだから、川の整備も大切桜の管理は、ボランティアを集めるのが一番簡単（特に若者）大宮公園桜まつりに人が集まりすぎて駐車場が機能していない→渋滞がおこる駐車場管理をもっとちゃんとやる混雑情報をwebにのせる。自販機、ごみ箱の設置

歩道と車道を分け、安全のためにガードレールをつけるなどをして、より安全性を高めるとよりよくなると思いました。また、定期的に子ども向けのイベントなどを開催し、その広告やパンフレットなどを児童館や図書館などに設置をして、より、知名度を上げると、より良くなると思いました。さらに、桜回廊沿いに、ゆっくりできるカフェや書店などができると、より人が集まり、より知名度が高くなると思いました。

- ・若者にもっと知ってもらうにはインスタやツイッターに映える写真やお花見スポットをのせれば良いと思う。また、桜回廊の近くのカフェやお店と協力して、SNSで紹介すれば割引されるという制度を導入すればいいと思う。
- ・桜の維持をするために、地元の小、中学生に桜の維持を手伝う授業の時間を作ったり、休日にボランティアを募集して体験する機会を設けたりすればいいと思った。

まず、日本中、少なくとも埼玉県民が全員知るようにする、全員が知るには町にある掲示板大型マンションのエントランスロビー、児童館公園などに桜回廊のことについて掲げると良いと思う多くの人を知ると桜の維持を協力してくれるボランティアが増えていくまた桜の木の下にいくつかのベンチをおくと休みながら桜を楽しめるまた桜のすぐ下は歩行者専用にするため車別と区別するためにガードレールを設置すると良いと思う。

祭りやイベントなどを行ったら良くなると思います。具体的には、桜が咲いている春には「桜祭り」として、桜に関連する屋台を並べる、夏には「夏祭り」として祭りを行う、秋には落ち葉はきとしてボランティア（近くの中学校・高校生を巻き込んで可）をつのり、清掃を行う、冬にはもちつき大会などをする、などです。つまり、地域のコミュニケーションの場を日本一の桜回廊にしよう、ということです。次に、SNSでの情報発信をしたら良くなると思います。県のホームページ、市のホームページ、また、市長自ら（Twitter、Instagram）で情報を発信するのも良いと思います。最近どこかの市長がTwitterを始め、フォロワーがとても増えたというニュースを聞いたので、効果が期待できると思います！！

- ・桜の木にライトをつけてライトアップすることできれいとなり注目されるんじゃないかと思う・週1ぐらいの頻度で歩行者天国を作れば良いと思います。みんな安全に快適に過ごせると思います・木の間にところどころオシャレできれいなベンチを設置するのいいと思う。若い人たちインスタ映えする目的できてくれる可能性が高まります。休憩スペースにもなって快適になると思います。・音楽を流すといいと思う。流す曲でその町の雰囲気を知ることができると思う。

道に一定の距離をあけてベンチを置く。「サクラスタンプラリー」などをして、とってきたスタンプの数によって景品を渡す。スタンプラリーの代わりにQRコードなどで読み込むと「見沼田んぼ桜回廊」のキャラクターと一緒に写真が撮れるのもいいと思います。公園などに売店を置き、食べ歩きのできる物を売る。商品を渡す時に、ビニール袋を渡し、ゴミを入れてもらえるようにする。

認知度をあげるために、見沼区のTwitterやInstagramで定期的に画像をアップロードしたり、小規模でも何かしらのイベントを月ごとや季節ごとに行くとよくなるのではないかと。他にもバリアフリー設備をもっと充実させて、老若男女問わず、訪れやすいスポットというのを売りに、県外へも情報発信を行っていくと、観光客を増やせるのではと思う。また、ちょっとした店を構えて、そこでしか買えないような見沼区にちなんだグッズや食品等を売りに出せばもっと魅力に富んで場所にするところではないだろうか。加えて、何かしらの縁起のいい言い伝えなんかもあるならばもっと発信していくことで、それが促進していくように思う。

桜を見に来る人たちは、徒歩で並木道を通ることが多いため、そこは車を通れなくても良いと思う。また、近くの「市民の森」などに公衆トイレを設置して、花を見に来る人たちがとどこおりなく花見を楽しめるようにすれば「環境も良い桜回廊」としてもっと知ってもらうことも可能だと思う。そうすることにより、桜の季節でなくても「市民の森」などに遊びに来た人たちもそのトイレを使うことが出来ると考えられる。

提案内容

若者の認知度が低いということについて、今の若者の情報源は、主にSNSからであると考えられるため、ツイッターやインスタグラムのアカウントを作ることが重要であると思う。例えば、インスタグラムで桜回廊の写真を投稿し、若者に魅力を伝えたり、ツイッターでイベントなどの情報を公開し、集客をするなどをすれば、客足も増えるのではないかなと思う。

夜に、イルミネーションで桜のライトアップして、桜が明るくきれいに見えるようにすればいいと思う。

ニュース番組など多くの人が見るようなテレビ番組に取り扱ってもらいたいと思う。後は有名なインフルエンサーを通していろんな人に発信するのもいいと思う。

近くで屋台などをひらいたらいいと思う。例えば金魚すくいとか、お菓子を売ったり服を売ったり、おさいふを売ったりする。

地域の中、小学校に協力を呼び、ボランティアとして、清掃や、桜の手入れをする。

- 小学校の社会科見学などで散策するようにする。
- スマホアプリでその場所をおとすれるとプレゼントがもらえるようにする。

桜回廊には、二千本ほどの桜の木がありますが桜の量にばかり焦点がいきっており、どこが写真スポットなのか、どこを一番見て欲しいのが見えていて分かりません。自由に建物を作ることができないそうなので特定の場所に目印をつけることは難しいのかもしれませんがすぐにスポットがどうか分かる目印は必要だと思います。また、歩行者と車両の分離も必要です。例えば車道を左右に歩行者道と中央に建設して車道と歩行者道の間に桜を植えて分離をするなど大胆に工事することが必要だと思います。後は歩行者道を通る場合には、料金を取り維持費を確保したり、歩行者道のみ写真スポットをつくり、歩行者が金を払ってでも来たいと思えるようにすることが必要。

桜回廊のスタートからゴールまでに見どころスタンプラリーなどをつくって、子どもを集める。サイクリングする人にもアピールするともっと良くなる。知名度をあげるためにギネス世界記録に登録したりすることで、足を運ぶ人を増やす。

- ①サイクリングロードなどを作って、日本のサイクリングをする人にとっての絶景スポットとして認識してもらえるようにさいたま市として宣伝に力を入れる。「桜回廊ツアー」などと名物化していく。
- ②桜はシーズンに限られているため、桜のシーズン以外は最近のアウトドアブームにあわせて、バーベキューをできるスポットをつくったりする。また、SNSを利用して桜回廊の名前を世に広める。
- ③若者の認知度が低い→T i k t o kやI n s t a g r a mといった若者の多くの人を使うアプリに「さいたま市公式」といったチャンネルをつくり、「インスタ映え」する写真や動画をあげて知名度を上げる。
- ④ドラマのさつえいに使ってもらって知名度を上げる。

私は見沼田んぼにある「日本一の桜回廊」って埼玉出身で埼玉県育ちでも今回初めていきたいので、全国的にみたらもっと知らない人が多いと思うので、テレビで宣伝したり、埼玉で映画をとる機会がある。

- ポスター、ホームページなどを作って若者にも知ってもらう。
- ゴミ拾いのボランティアを募集する。
- お祭りや、体験行事など、イベントをひらいて人を集める。
- ベンチをつくる。

- ポスターを作る（桜回廊の）。
- ゴミ拾いそして、よりよい環境に。
- ベンチをつくる。

幼稚園や小学校中学校などで、日本一の桜回廊へ行ってみる。そうしたら、自然と人が集まって、人気が出てくると思った。TVとかに出演をたのむ。SNSを通じて宣伝をしてみる。

若者に向けて、市のホームページだけでなく他のツールを使って宣伝をしてみる。見頃のときだけ歩行者だけの道にして、ちょっとしたイベントとか屋台とかを出してみれば友達とか家族ととかでも行きやすくなると思う。このイベントと桜回廊と一緒にSNSで宣伝してみる。

定期的にボランティアを募集して、桜回廊の維持管理をすることでその美しさが子どもや若い人にも分かると思うし、どんどん桜がきれいになっていけると思います。

- 景観を乱さないようなゴミ箱などを設置し、ポイ捨てを少なくする。
- もっとたくさんの人に知ってもらうためにSNSなどを通じて情報を発信する。

夜にライトアップをする。

ゴミ箱を多めに設置して、ポイ捨てを防ぎ、管理の手間がかからないようにすると、快適に過ごせると思う。また、管理する人はボランティアなどで集め、周囲によびかけなどをし、ボランティアをするとその時期に採れる果物やその土地の名産物を安く配布する工夫をしないと、管理にお金がかからないですむと思う。

提案内容

埼玉県出身のインフルエンサーに来てもらい、SNSで紹介する。  
そうすれば「～百万人」もの人達に魅力を伝えられ観光客が増えると思うから。

- 適当な漫画とかの舞台にする。
- 木の伐採の体験。
- ツイッターでもつかう。
- 短くして、住宅街にする。
- Tik Tokがとれるように環境をととのえる。
- 映えるようにする。
- 川をきれいにする。
- 川で遊泳可能にする。
- 釣りできるようにする。
- 川埋めて木を切ってテーマパークにする。

- 年に1度、桜が満開になるころに祭を開いて出店などを使って人に知ってもらう。
- 犬などのペットを飼っている人やランニングしている人が来やすいように、自動販売機を設置する。

春の桜の開花の季節にあわせて、お祭りを開催する。桜回廊のところに売店などを設置し、お祭りを盛り上げる。なお、出店してくれたお店などには自治体から補助金を与える。また、そのお祭りを大宮駅などの主要な駅や回廊に近い各鉄道会社の駅にお祭りの写真を載せたポスターを掲示・宣伝をする。また、Twitterなどのソーシャルメディアでもその様子を投稿したりする。そのお祭りをうけて、外国人などをまねき、有名にする。その収入などで地域活性化をはかる。”日本一”であることを強調し、観光地が少ない埼玉県に、新たに春の桜のお祭りというものを観光スポットの一つにし、日本中、世界中に有名にする。また、それにあわせてウォークラリーなどを開催する。

- 写真をとれるスポットを作って、若い人を集める。
- カフェをたてる。
- 定期的に縁日などを開いて、人に認知してもらう。
- 途中でベンチなどの休憩スペースを設置して、老人でも気楽に行けるようにする。
- 桜の種類を増やして、豊かにする。
- 端と端になんか店を作る。

北斗桜回廊にはイルミネーションがあるが見沼桜回廊にはない。  
祭りがあった方がいい花火などがあるのもいい。  
コンビニを近隣につくってもらいトイレに困らないようにする。

まず、どこか開けた場所にカフェのようなものを作り、何か若年層が目にするようなものを生み出し、人気を集める。するとカフェの収入でトイレなどのインフラを整備することが出来るのでますます人が集まると思う。桜回廊に名前を付ける。

見沼田んぼの桜回廊の認知度が低い問題は、近くにある小、中学校の生徒が2ヶ月に一回、任意で桜回廊を訪れ、世話をさせるという機会を作ったら桜の管理の問題についても、解決とまでは行かずとも、少しは解決に近づくことが出来ると思う。桜の管理については地域の掲示板などでボランティアを募集したらもっと多くの人が集まると思う。他にもSNSで有名な人に頼んで、情報を拡散してもらえば認知度も高まる。道を整備して、サイクリングコースを作ったり、歩行者用の道を作るといいと思った。駅の広告にこの桜回廊のことをのせればいいのかと思う。

市の協力を得て、桜の近くにあっても、違和感のない、建築物を建てる。例えば、外見は風車らしい建物をつくり、内装はきれいなトイレや、窓から下の桜を見ることができたり、ひと休みするためのカフェを風車内に建てる。そうすれば、「田んぼや畑、雑木林、河川や田園風景、生物を育む・豊かな自然」をあまり傷つけることなく、なじめると思う。また、若者をとりいれるために、春、見沼田んぼなどで、フェスやライブをすればいいと思う。もし少し離れていても、せっかくだし、行ってみるかと思う人も増えると思う。桜回廊で食のフェスをしたら、桜を見ながら食べ物を食べられると思うと行きたくて、アーティストのフェスやライブをすれば、桜をバックに有名なアーティストが歌っていたら、感動すると思う。

まずは快適に桜回廊を散歩できるよう、トイレや休憩スペースを作ることが最優先だと思います。道の脇の桜の木の下にベンチを置いて桜を見ながら休憩ができるようにしたり周囲の住民の協力を得てトイレを作る土地を確保したりすることが快適さにつながるし、桜回廊に来やすくなると思います。また、道路の歩車分離も安全に散歩するために大切です。道路を歩行者専用にして車には別ルートを用意するのが一番簡単にできて効果的だと思います。これらのことを実行すれば桜回廊に来ることへのハードルが下がりより良くなると思います。そして、このことをSNSで発信すれば若者の目にもとまりやすくなり、さらに多くの人でにぎわう場所になるのではないのでしょうか。

私も今日初めて見沼田んぼを知りました。周りの人もこれを見て初めて知ったという人が多くいたので、若者の認知度が低いのではないかなと思います。充実させるには、まず「知る」ということが大事だと私は思うので、見沼田んぼで色々な企画をやるのがいいと思います。どんなに小さな企画でもいいし、少し関係のない企画でもいい。その企画で少しでもいいから見沼田んぼにある「日本一の桜回廊」のことを話せば、ちょっとは頭の中に残ると思います。なので、私は若者を中心とした企画をやればいいのかと思います。

提案内容

日本一の桜回廊をCMで宣伝して、若者などの認知度をもっと上げる。また、もっとボランティアを頻りに集めてその人たちに桜の維持管理を手伝ってもらうことにする。  
それか、この日本一の桜回廊に入るのにお金を取り、それで、稼いだお金で、維持管理をしたり、また、この日本一の桜回廊の近くに、遠くから来た人のために、コインパーキングをたくさんつくり、そのお金で維持管理をしたりもいいと思う。  
あと、歩行者や自転車や車などの道を分けてつくったら、来た人の安全を守れると思う。

- ①見沼田んぼの下だけを通るバスを作り、見沼田んぼからバスで5分以内の場所にたくさんのトイレや屋台、コンビニ、屋内の休けいスペースを作り、若者の人が見に来やすく、バスで安全に、屋台や休憩スペースなどで快適に過せるようにする。
- ②見沼田んぼと桜回廊を共に撮った絵はがきや桜の花等から作られたお菓子やお酒などを売ったり、桜の花を乾燥させてしおりをつくったりしてネットや休憩スペースなどで売る。
- ③今なお市内で使用されている、市バスなどが見沼田んぼの下の桜回廊も通るようにする。
- ④見沼田んぼの絵はがき等をバス停や駅など身近の所で売る。

- ・桜が満開になる日、年に一度「桜回廊ハーフマラソン」みたいな感じのやつを開催し、1 kmおきに「日本一の桜回廊」をはじめ、さいたま市のPRになるものを設置し、ゴールに参加賞として桜関連のグッズやら食べ物やらを置く。(桜以外の季節はジョギングコースとして活用)
- ・さいたま市の各地の店などに「日本一を維持するためにも募金に協力していただけませんか？」という感じで維持費を頂く。
- ・コスプレや映画、ムービーを撮るときに使えますよ。と宣伝しておく。

自分は「日本一の桜回廊」を充実させるために、散策する道を徒歩用と自転車用に分けると良いと思います。なぜなら、現在はアウトドアブームが起こっておりサイクリングロード等の需要が高まっているためです。自転車用の道を作ることでアウトドア関係のネットなどで広まり、知名度のアップが期待できます。また、それに応じて自転車のレンタルサービスを行うことで桜の管理費用もまかなうことができます。これらの理由により、「日本一の桜回廊」を充実させるために散策する道を徒歩用と自転車用に分けると良いと思います。

トイレや休憩スペースを多くとって快適にしたい。  
桜の維持管理をできるようにする。散策する道を歩車分離するためのお金を国が出してもらったりすることでよくなる。  
若者の認知度を上げるために、SNSなどで桜回廊の良さなどを書いて全国の若者に知ってもらったらどうか。  
若者に桜のすばらしいところを実際に体感してもらって桜に興味をもってもらうことで、ボランティア活動で多くの人が集まってくれるかもしれない。

若物への認知度をあげるためにきれいな桜の写真をとってインスタグラムなどにあげたらどうか。  
桜の木などを少しだけ切ってトイレなどの休憩スペースをつくりその建物の色を桜の木のような柄にすることで桜回廊にあうようにするともっと良くなると思う。  
1本1本の木の管理を市などがボランティアを募集して定期的に手入れさせることによってきれいに保てばもっと良くなると思う。  
歩道と車道に分けたらどうか。

見沼田んぼの桜回廊よりも有名で人気のある桜回廊などのスポットは沢山ありますよね。そこから考えるに、そもそも数や長さが1番多ければいいというわけではないと思います。維持管理が大変、トイレなどが設置できない、などの点に関しては、やはり少し数を減らしてスペースを作る方が先であると思います。歩車分離に関しては、スペースをかなり開けて2つに分けるか、車を禁止するべきだと思います。歩行者も危険にさらされてしまったり、そもそも車から降りて歩いてみればよいだけであって車を走らせる必要すらないと思います。最後に認知度はTwitterやYouTubeなどのSNSを使ったり、テレビに取り上げてもらうなどだと思います。

みんなが行きたくなるように、毎月1回ほど屋台を開いて活気を上げる。また、認知してもらうためには市の学校に桜回廊の手紙や知らせを配ったりする。桜の維持管理は植物を管理する人もいるだろうし、雇ったりボランティアを行ったりする。歩車分離されていないのは危ないことなので、募金などを人の多いところで行い、ガードレールや白線などで分離できるようにする。休憩スペースはベンチを500mごとに置いて、若者や子どもでも歩きやすいようにする。

裏面の紹介文を読んで一番初めに目をつけたのは、「若者の認知度が低い」という事です。実際私も知りませんでした。そこで思ったのは桜だけでなく四季折々の植物を植えるということです。認知度を高めるなら、「桜」という一つの物だけだとどの地域でもやっているのが有名にならないと思ったからです。でも桜だけでなく日本の四季折々な植物を1年を通して季節ごとに楽しめることができるなら、より一層若者が来たり、SNSで発信してもらえるのではないのでしょうか。  
手入れに関しては一定のペースでボランティアを開催して、みんなで手入れをすれば、自然のありがたさもわかり一石二鳥だと思います。

SNSの広告に載せて若者を中心にPRを実施する。  
桜が咲くシーズンや、紅葉の時期は車両を通行できないようにして、歩行者のみで散策できるようにする。  
駅から離れているときは、駅から花見シーズンなどバスの臨時便を出して、車を持っていない人でも気軽に来れるようにする。  
現在、さいたま市で行われているマラソンの一部のルートを変えて、桜回廊を経由する。  
HPのトップページに桜回廊の写真を載せて、クリックすると、どこにあるかなどの紹介をする。

私は、車道、サイクリングロード、歩道①、②と分けることが効果的なのではないかと考えました。  
私は、写真を撮るために色々な場所に行きますが、歩車分離されていないところでは、車や自転車、ランニングをしている人たちがいます。そのようなところでは、迷惑にならないか心配になります。また、サイクリングや車を運転する父に聞くと歩行者がいると注意して走行しないといけないうえ、気が抜けないと言っていました。  
そのような理由から私は、車道、サイクリングロード、ランニングをする歩道①、写真や散歩、お花見をする歩道②をつくれれば、様々な人がより「安全」に「楽しく」、「快適に」すごせる空間になると思いました。

提案内容

僕は2,000本もある桜の木を維持管理する方法として一つ考えたのが、定年退職したおじいさんやおばあさんを月に1回もしくは2、3ヶ月に1回のペースで集合させ管理してもらうことです。なぜ年よりにやらせるかというと孫は大抵はおじいちゃん、おばあちゃんとても仲が良いので一緒に来る可能性があります。今の時代はネットありきなのでその様子を母、父がネットに書き込むことで見沼田んぼの認知度が上がると思います。休憩スペースはベンチを置くくらいで良いと思います。こんなにたくさんの桜の中で過ごすことはなかなかないのでおじと孫がピクニックがてら来ておにぎりを食べたりして過ごすのがいいと思います。

SNSで情報を発信し、若い層への注目を引きつければ若い人の認知度も高くなりいいと思う。  
また、桜を維持するためにSNSなどでボランティアを募集する。桜を切り倒して、その木材を使って、トイレなどを作る。マラソン大会を開催して、集客し、魅力を伝える。もしくは切り倒した桜を使い、桜もちや桜ご飯などを使って、SNSに投稿して魅力を伝える。  
また、祭りも開いてお客さんを集める。

まず、道がこまないように車道と歩道を分離し、車がスムーズに移動することができるようにしたらよいと思う。  
またその他にもトイレなどの休憩がとれるような桜回廊専用の公共施設をいくつか設置するなどしてみたらよいと思う。  
・若者による認知度が低いという問題はインターネットなどを通じて広告をはったりすることでかなり解決できると思う。  
・桜の木が多く維持管理が困難といった問題は、地域のボランティアなどと協力して管理をしてくれる人数を増やせばいいと思う。

- ・桜の木や枝の手入れをこまめにしてきれいに見えるようにする
- ・桜の落ちた枝などが放置されないよう清そうをしっかりとる。
- ・トイレや休憩所などをOm毎に設置して案内板を置く。
- ・歩道と車道を分け、安全性を確保する。
- ・寄附やボランティアなどを募り、功労賞などをあたえる
- ・20kmの桜を分割して管理する。
- ・認知度が上がるようポスターなどを設置する。
- ・新たなサービスやお店など桜に関するイベントをやる。

18.2kmもの桜回廊が近くにあることを初めて知った。それだけの景色の良さがありながら認知度が低いのはもったいないと思う。なのでポスターなどを貼ったり、地域テレビを使えば、充実しそうだと思う。  
さらに若者たちの認知度を高めるためには、桜回廊の側に大きな公園を作ればいいと思った。公園の中からも桜を見れるのは良いし、公園に遊歩道を作れば外側は車で、内側からは公園で歩きながら見れると思った。さらにその公園もピクニックなどができるように芝を設置したり、新しい遊具を設置すれば、たくさんの子どもの存在を知らせることができ、その子供が大人になりまたその子供と一緒に桜回廊に行くことで、広い層に桜回廊を知ってもらえるようになると思う。

20kmも桜の下にいたら、飽きると思うし、桜の維持管理が困難だと思うので、減らした方が良くと思う。日本一の長さじゃなくても長い方だとももうので来る人の数も変わらないと思います。  
若物の認知度を上げるには、大宮駅に案内人などを置く事で上がると思うし、外国人観光客の方も増えると思います。トイレ等は、入り口に作れば対策できると思います。

僕は日本一の桜回廊をTwitterやTikTok、InstagramなどのSNSを使って全国の人々に知ってもらえるのもっと充実できると思います。それに加えて川越市のようなほそ道をもいいと思います。あとはトイレがないのはさすがにちょっと歩く人とかもつらいと思いますね。桜とかの管理も国に委ねるとかしないときついと思います。それが桜の維持管理のお金をクラウドファンディングで募るなどの行動もありだと思っています。

休憩スペースは、ベンチを間かくを開けて置けばあまり場所をとらず休憩できるのではないかと思います。トイレは、桜のある所の両端か向かい側の道に作るなどすればいいのかなと思います。また、若者の知名度に関してはSNSに投稿したり、家族連れ大歓迎などと言えば、親が子どもを連れて来る割合が多くなると思うので、知名度や若者の割合が増えるのではないかと私は思いました。

若い人たちに認知してもらうためにSNSなどで、発信する。  
自由に建物をつくれないうら、お散歩のコースや今、はやっているサイクリングなどをできるようにすればもっと人がやってくると思う。また埼玉県ということでも東京都からも近いので、少し自然を感じたい時にきてもらえるように宣伝をすればいいと思う。(また日本一長い桜回廊も宣伝する)  
桜は春にしか咲かないため春以外の季節にも来てもらえるように、もっと見沼の自然を生かしたアクティビティを(キャンプ、川下りなど)増やして観光に力を入れたほうがよいと思う。

私の町には似たような、土手に沿う桜の並木があります。毎年、花見や夏祭りなどでとても盛り上がり私達市民にとってはとても大切な場所となっています。認知度を高めるには田んぼを使った行事を大きく開いたらいいと思います。もしかしたらすでに設けているのかと思いますが、私から見ると行事を数多く開く場所は明らかに認知度が増すと思います。そうすることで桜や道などにも人々が意識を持つようになっていくのではないかと思います。

田んぼの「日本一の桜回廊」をもっと充実させるためには、充実させようとする充実すると思います。若者の認知度が低いのは大して人気がないからだと思います。人気があるから認知度は上がるんだと思います。なので、頑張って、人気を上げて、知名度を上げて下さり。小学生の遠足などに行かせると、知名度等も上がると思います。人気が上がれば、使える金も増えると思います。

提案内容

- ユーチューブなどSNSで見沼田んぼの「日本一の桜回廊」を投稿し、全国の人に見てもらい広めていく。
- イベント（例えば「日本一の桜回廊」を歩いてみる）などを開催し、知名度を上げていく。
- 「日本一の桜回廊」の近くにコンビニエンスストアやチェーン店などを設置することでそこに行くついでに「日本一の桜回廊」を見せよう。
- ポスターや有名人に宣伝してもらおうことによりそれをみた若者に来せよう。
- 「日本一の桜回廊」へのバスを作ってみる。

10代20代の人たちは、SNSにすごく敏感なので、インスタグラムやツイッターで桜回廊のすごさを伝えたら良いと思う。1人有名人がそこに行ったら、次々とたくさんの人に来ることが出来ると思いました。また、SNSには例えば、『家族や友人と桜を見ながら楽しくウォーキングができる場所』などと人が興味をもてる内容をかくことも大切だと思う。しかし、近くに休憩できる所が少ないというのは確かに不便ではあるが、事前になぜ数が少ないのか、どうして作れないのかを話して伝えてあげれば良いと思った。

桜の木を少し切り倒して、切り倒した桜の木を木材や割りばしなどを作り再利用し、切り倒した所にトイレや色々な施設を作ったりする。桜の木を活用して、桜もちや桜ごはんなどを施設で提供して、若者の人達に広く桜回廊を認知させて、従業員などを増やす。桜の木の一部を利用して桜をゆっくり楽しく見れる、休憩所やベンチなどを作り、魅力度をどんどんUPさせる。マラソン大会などをこの桜回廊で開催して、客を集めて、桜回廊の魅力をしっかり伝えたりする。

「お花見スポットとしてたくさんの人に来てもらう」  
充実させるためには、まず人を集めなきゃいけません。そのことから「きれいな桜が見れます」と言い桜回廊をお花見の場所として有名になる。ゴミは持って帰ってもらおうか、残ったごみは地域の人達がボランティアで拾う。そして桜が散って緑の葉になったら、ランニング・ウォーキングの道として開放する。子どもから大人まで、たくさんの人に使ってもらい桜の種を植えるボランティアの後継者を作る。以上のことから、まずはお花見スポットとしての知名度を上げていき、地域の人ボランティアから成り立つ温かい桜回廊にしていく。

桜を見るシーズンになったら、駅などにポスターを貼ってみんなに見せよう、宣伝をする。道が歩車分離されていないのはとても危ないので、歩道を作って人と車を分離する。  
桜の管理は、市の職員だけでは難しいと思うので、市の団体や、専門の方にいらして管理を手伝ってもらおう。  
トイレは、一時的に、簡易トイレなどを設置する。  
休憩スペースが少ないという問題については、道を広げて、ベンチなどをつくる。

歩行者の安全のために、歩行者が多い時間帯で車を通れなくさせて、歩行者が少なくなった時間帯に車を通れるようにすればあまり危なくなくなる。  
桜の下に1本おきにベンチを設置する。  
500m毎にトイレを置いて桜を見やすくする。公園の量をふやす。  
地域の人に管理を手伝ってもらおう。  
役所の人に木の本数をへらしてもらえるかきいてみる。  
ポスターを書いて若い人知ってもらえるようにする。ネットの広告で宣伝をする。

YoutubeかTwitterなどで、さくらのさきぐあいや、オススメのスポットなどについて情報を発信する。  
その桜回廊に、歩道をつくる。  
ランニングスポットとかになれば知名度が上がるかもしれない。  
桜は多少はへらしても問題は無いと思う。  
情報発信で、周りの地図とかを出したら、安心して行けるだろうし、そこに近くのトイレなどものせれば良いと思う。  
日本一であることを強みとしてアピールするべき。

学校などの社会科見学で桜回廊を紹介することによって知名度としては上がると思います。  
春にはその桜回廊がある場所で祭りを開いたりしたら、地方の人はたくさん見に来るのではないかなと思います。

見沼田んぼの中間地点などに見沼田んぼのれきしや見沼田んぼに咲いている桜などの説明などを展示する場を設けてみるといいと思います。

桜の見物場所、休憩所を増やす。ボランティア団体をつくり、桜の木の管理、桜付近の清掃、などをする。桜回廊付近に屋たいやお店、飲食店などを設置し、にぎやかにする。  
ちゃんとした駐車場をつくり、車の行き場を決める。そこから歩いて桜を見物するようにすれば、歩車分離する必要がないと思う。  
観光バスなどをせっちし、休憩所までの移動、桜見物ツアーなどをする。SNSやHPなどでアピールし、たくさんの人に知ってもらおう。

もっと桜を植える。夜にライトアップする設備を取り入れる。  
花見とかの時期にSNSなどで発信をして花見に来てもらう。そこにちなんだキャラをつくる。公共ベンチを増やす。  
トイレをふやす。サイクリングコースをつくる。桜をもっと手入れして美しくする。道路をきれいにする。

管理を民間の団体に委託する。

さいたま新都心駅や大宮駅という都会の駅から近い場所にあるので、都会に住んでいる人達に見沼田んぼを訪れてもらい、見沼田んぼの魅力を多くの人に伝えるともっと良くなると思う。

年に何回お花見をできるようにして関心を持ってもらう。  
ボランティアなどで、桜の木を植えたり肥料をまいたりする。

提案内容

- SNSで発信したりする。
- ネット環境を整える。
- 散策する場所を、車に乗りながら散策できる車用、歩きながら散策できる歩行者用、座りながら花見などを楽しめる用に分け、それぞれの管理を、体験できるようにすればもっと良くなると思う。
- トイレが無いのは問題だと思うので、さすがにトイレは造った方がいい。
- もっと日本一をアピールした方がいい。

まず区役所などを近くに移動させ近くに格安の住宅街を作り職員の家族を近くに住ませ、春に花見に行ってもらうことで、情報拡散してもらうことで認知度を上げます。

散策する道にガードレールを立てて歩車分離をしたほうがいいと思う。見やすくなったら人気が出て認知度も上がるのではないかな。

埼玉県だとちょっとあれだから埼玉県外に新しく作り直すよくなると思う。  
若者の認知度が低いのが一番問題。

道を歩行者と車で分ける。T i k t o kなどに動画をあげて埼玉県にもいい自然があることを若い人に伝える。

桜回廊をT w i t t e rなどのSNSで拡散し、若者からの認知度を上げる。また、歩道と車道を整備する。

- 見沼たんぼの近くや公園などでお祭りをする。また、その映像や近くに桜回廊があるということをSNSなどで発信して、若い人たちに認知してもらう。
- また、車道と歩道を分離することは最もやらないといけないことだと思います。安全の観点からも大切だと思います。
- SNSを用いて発信することが大切だと思う。

まず、見沼たんぼの桜回廊を知っている人は、あまりいないのでは？と思う。なので、新聞やSNSで伝達するなどすれば、花見などでにぎわうのではないかなと思う。また、休憩施設やトイレなど、花見やボランティアなどをする上で、必要不可欠なものは設置すべきだと思う。でも、本格的に造ってしまうと、桜に悪影響を及ぼす可能性があるのでは、簡易的なもので済ませるようにすればいい。これは、財政的にも節約できると思う。もう一度認知を増やすという目的ではあるが、他の桜回廊では味わえないことを、やってみるのもいいかもしれない。例えば、近くに高台を設置し、富士山が見えたりすれば、人気でるかもしれない。また、その時にアンケートをするのも効果的かも・・・？

ずっと歩いているとつかれるので、ベンチなどの休める場所を作ったらいいと思う。SNSなどで花が咲いているというのを知らせる。夜にイルミネーションになるところを作る。

道路を整備する。SNSなどで発信する。

アニメとコラボして同じような風景にするなど見ていてあきない物をつくる。そして世界中で人気のアニメとコラボすることでTVのニュースで取り上げられたりすることができる。そしてアニメのキャラクターを置くことで若者たちが写真をとりSNSに乗っけてくれる。  
桜×アニメという世界初のコラボを実現させることができる。  
桜の維持は市がアルバイトなどとして若者を雇い調べてもらう。

お祭りや花火大会を実施する。

花火大会などのイベントを開く。また、昼間だけでなく夜も桜を見れるように、ライトアップさせる。見沼たんぼの桜回廊の周りに出店をひらいて、地域限定の商品を売りこむように、する。また見沼たんぼの桜回廊をもとにした写真のコンテストを開き、優勝作品などで見沼たんぼの最寄駅などにかざる。（優勝者の作品には賞金を出す）

長ければいいんじゃない。目黒の桜みたいに綺麗であることが重要だと思う。あとはインスタとかで宣伝とかすれば。

桜が咲く季節だけ、トイレや休憩スペースを作る。  
認知度をあげるために、桜の花が咲いたら、写真を撮ってインスタにあげる。  
週辺のゴミをひろうなどのボランティアなどを開催して、認知度をあげる。

せっかく日本一なのだから、それを活かしたSNSへの写真の投稿、認知度アップのためにサイトを作ったり、可愛いベンチや映えるようなものを建てたらいいと思う。  
それから、桜は春だけのものだから、それ以外の季節にプラスして何かイベントや何かを作るのがいいと思う。

SNSなどで発信し、若い世代の人にも知ってもらおうと、もっと良くなると思う。ベンチや、トイレなどを設けて、見に来た人が快適に過ごせるようにする。見沼たんぼでお花見などのイベントを開いたら良いと思う。桜回廊の歴史などを学べる施設を作ってより深く桜回廊を知れると良いと思う。桜が満開のときの写真など、見に来たくなるような写真をポスターなどで宣伝すると良いと思う。

- もっと多くの人に桜回廊を知ってもらうためにポスターやパンフレットを作って学校で配ったり、駅に貼ったりする。
- 周辺の公園のトイレや休憩スペースを増やして施設を充実させる。

提案内容

埼玉県内の観光地など人のあつまるところにポスターを貼ったり、インターネットを活用して桜回廊で取った綺麗な写真をアップしたりするといったと思う。両方とも自分がわざわざ桜回廊について調べなくても情報が入ってくるので今まで桜について調べたことがない人でも興味を持ってくれるかもしれないので、今まで以上に「日本一の桜回廊」に人が集まると思う。

春ごろになったら公式ツイッターやインスタグラム、T i k T o k にコバトンのぬいぐるみとかきぐるみと一緒に桜との写真と#見沼区や#日本一の桜回廊 などをつけて投こうする(若者の認知度) いくつか自販機やベンチをおく。近くのトイレがあるしせつまであと～mと書いた看板をおく。

- 公共トイレやベンチなどを増やす。
- 自転車で走る道を広くする。
- イルミネーションなどを取り入れる。
- SNSに取りあげる。
- 桜をもっと植える。

• 年に1回お花見の時に、イベントを開催し地域の人達や県外の人達にも「日本一の桜回廊」を知ってもらおう。(お花見ツアー、だれが一番良い桜を写真でとれるか選手権など。)

若者の認知が低いというのは、何か目立つことに挑戦できていないということだと思います。今の時代SNSを使って情報を得ますがそういった情報を拡散するのが若者なので、若者に向けたアピールを展開することが良いと思います。具体的にはインスタグラムなどに載せる”映え”をねらった写真がとれるように宣伝するなどです。そうすると、次第にネットで有名になっていき知名度があがり「日本一の桜回廊」になると思います。

桜回廊の下で春まつりをしたら、知れ度も上がるし、たくさんの方が訪れると思います。また、桜を円に植えて、中からとったらとても映えるし、桜を見ながら走れるようにランニング用の道を整備したらいいと思います。というか2,000本で20kmって間隔が長すぎると思うし、長ければ長いだけ維持するのが大変なので少し減らしたらどうですか?それかかんかくをせめぬるか・・・。

桜回廊の中には建物をたてられないなら、近くにお店を開いて、桜回廊に行ったことをインスタグラムとかSNSで拡散してくれたら料金割引とか、一品無料とかにすればいいと思う。近くにドライブスルーとかついたり、1km以内にショッピングモールをつかってそこで宣伝等したら良いと思う。一定時間お花見タイムとかつくる。

問題点の1つとしてあげられている「若者の認知度が低い」について。認知度をあげるためには、まず”若者が”訪れたいと思えるように、惹きつけられるような色にライトアップをしたり、最近の流行を意識した屋台や、なじみのあるお祭りの屋台など、様々な屋台を桜が満開になる季節にとりいれると、たくさん人が訪れると思いました。また、”若者”を呼ぶには、フォトスポットを充実させると良いと思いました。

- SNS (ツイッター、インスタグラム) で発信すること。
- 桜回廊の歩く道を整備する。
- 年に1, 2回、屋台を出すような祭を開催する。
- 埼玉出身の著名人を誘って、レポートしてもらおう。
- 「日本一の～」という看板を桜回廊の端に立てておく。
- 桜回廊の始めに桜のアーチをつくる。
- 夜桜なども楽しめるようにライトアップしてみる。

• 見沼たんぼ限定の食べ物やお土産を作ったらいいと思います。そうすれば「見沼たんぼと言えば」というような桜の他に名物のものができ人々ももっと楽しむことができるのではないかと。• Youtubeなどで“見沼たんぼ”を知ることができる短い動画を作ればいいのではないかと。また若者のなかではT i k t o k というもので流行っているそうなのでそれらで“見沼たんぼ”を知ってもらえたらどうだろうか。

桜回廊の周りには田んぼや、見沼代用水、芝川が流れるなどして、水が多いので、おそらく、水鳥がその桜回廊の辺りにも来ると思います。また、付近に雑木林や畑もあるので、水鳥以外の都市部では見られない鳥も来ると思います。川(水場)と雑木林があると、桜回廊とカワセミ、などのめずらしい写真がとれるかもしれませんが!なので、長さが「日本一の桜回廊」とPRする一方で、周りの環境を示しつつ、「桜回廊と野鳥」という新たなジャンルで、都心から近く、さいたま市の中心部に桜回廊があるので、さいたま市の人たちからも来やすい点と共にPRすれば、もっと知名度が上がり、実際に訪れた人からの意見もあつめやすく、野鳥も見れる「日本一の桜回廊」として、紹介するのはどうでしょうか。

桜回廊沿いに見沼代用水が流れているエリアがあると思うのですが、その見沼代用水を整備し、遊覧船のような物を運行してみてもいいのでしょうか。(もちろん小さい物ですよ) 船に乗って、ゆったりと桜が見れる、という素敵な場所になるのではないのでしょうか。私は木製の小さな船を思い浮かべているのですが、それですら水かさが必要で運行できないことなら、水かさを上げることも検討してみてもいいのではないかなと思います。それと、私が調べた限りではあまり桜が映えるようなスポットとして浸透していないように感じます。「桜回廊」として広く認知されることを目指すのなら、市民の生活空間を壊さない程度の装飾や、大々的な宣伝をすべきだと思います。



## 提案内容

- ここでイベントすれば認知度があがると思う。
- もっと桜をうえる。
- 20kmの道があるのでマラソン大会や自転車の大会を開く。
- 宣伝力
- 夜ライトアップしてみる。
- トイレと駐車場を増やす。
- 飲食店をつくる。

サイクリングコースとしてもおすすめなら、競輪などの大会の経路地として使うと良いと思う。テレビなどで放送されることによって宣伝もできるし、その地域を活性化できると思うから。

•きれいな観光スポットになるにつれ、人がどんどん増えていき、桜回廊がどんどんきたなくなってしまうと思うので、道のかたすみに一定の距離をおいて、ゴミ箱を設置すればいいのかなと思った。

約2,000本の桜の維持には、地域のボランティアや、学校へ「ボランティア募集!!」などを配ることで、認知度もそのボランティアで、2,000本の桜の維持に協力してもらう等、すれば良いのではないのでしょうか？  
あとは、イルミネーションを設置したり、木の下から、スポットライトを付けることによって、多くの人が昼も夜も楽しめると思います。もちろんそれに伴い、人の往来が多くなることによって、ゴミや、地域の人が落ち着くことができなくなるかも知れないので、背景に合わせた色のベンチや、ゴミ箱を設置すれば、この2つの問題も解決し、景観を壊すことがないので、いいと思います。  
最後は、イベントを開催してみてもどうでしょうか？例えば、体験型の観察会や、花火等の季節は合わせたイベントを開催してみたいと思います。

歩行者が安全に桜を見ながら歩くために、車と道を分離する。  
桜が咲いてる時には、車を通れないようにする。  
道が混んでしまわないように、一方通行にする。  
若者の認知度を上げるために、SNSを使ったり、そこでしかできないことなどをする。  
近くの小中学校などが掃除をしたりする。

今よりも多くの人に認知度が増えるようにするために『日本一の桜回廊』の周辺に、張り紙などをすれば、通行人に認知されると思う。  
そして、訪れる人が増えることによって起こる、ゴミ問題やトイレなどの問題にも対応できるようにすれば、より快適になり、よりいっそう『日本一の桜回廊』が充実すると思う。

お祭りには人がたくさん集まってくるので桜が満開の時期に“見沼の森”という題名でお祭りを開いてみてはどうでしょうか。  
また、最近ではSNSに写真を投稿したり、コメントを書いたりしているので桜と見沼たんぼがちょうどよくマッチする場所を選び、世界に発信してはどうでしょうか。  
その売り上げで歩道と車道の整備をして、そうすることによってまた人がやって来る、そんな良い循環がうまれるのではないかと思います。

桜が見頃の3月-4月は人が多くなってしまふ(たくさん訪れてくる)ので、路上駐車がどうしても増えてしまうので、少し離れたところなどに駐車スペースを作る。景観をこわさない程度にトイレを作ったり、イスを増やしたりする。桜の管理をする人手を増やすために、認知度が低いと言われている若者が興味をもってくれるようなPRをする。

- 若者の認知度が低いという問題点があるので、映えスポットを作ってみたら若者が増えると思う。
- 地域の人や桜回廊を充実させたい、と思う人たちで、エリアごとに分けて、定期的に掃除や桜の管理をしたらいいと思う。
- 色々な種類の桜を植えてみたり、他の草花を植えてみたりすると、もっと美しい桜回廊になると思う。
- 20kmとすごく長い道なので、どうにかしてトイレを作るといいと思う。
- 20kmも歩く人はあまりいない気がするので、ここは1番キレイだからここは見ても、みたいな場所を作ったらいいと思う。

日本一の桜回廊なのにあまり知られていないと思ったのでもっとSNSなどを使ってもっと良さを広めるにしたらいいと思います。

認知度を高めるために、車内広告を使い「日本一の桜回廊」を全面的に売り出すべきだと思います。東京の人達には近くに有名な桜スポットがあるので、混雑をさけてお花見ができるスポットに、埼玉の人には自分の県の誇れるお花見スポットとして親しまれるといいなと思います。新潟県高田等では、お花見をするための臨時列車が運転されていて、多くのお客さんを呼びこんでいます。見沼たんぼの最寄り駅と、少し遠く乗りかえ回数の多い不便な所を結ぶ、臨時列車を運転してはいかがでしょうか？

見沼たんぼを充実させるには回廊の端に売店を出し、利益向上を狙う。(食べ物など)  
不法に投げられた木の枝やゴミがたまってしまう田んぼに水が来ないことがあるためほい捨ての注意喚起をする仕事をアルバイトとして雇った方がいい。

- ホームページの挿し絵をもっと綺麗なものにすればどうか。
- そこにしかないお店や、食べ歩きのお店をつくらせてみるのはどうか。
- 桜や田園風景は日本を感じさせることができると思うので、外国人観光客を呼び込むために多言語で案内サイトポスターをつくらせたり、Free Wifiを設置してみたりするのはどうか？
- 現代の若者の名にもつきやすいようにSNSを活用すればもっと良くなると思う。
- トイレ・ゴミ箱を多く設置し、定期的に清掃・回収をする。
- ベンチを設置する。
- “日本ならではの”という点を売りにして、和食料理屋や着付け屋をつくる。

提案内容

年に1度祭をする。その中で、桜を植えることや、草むしりのボランティアをする。また、どのようなことがあって、この桜回廊を作ったかを教えるコーナーを作る。見沼の農家たちと協力して、お菓子を作る。  
お花見の時期に、イベントを開く。見沼オリジナルの桜の品種を作り、この回廊に植える。

役所の方から足りない人員を派けんしたり、なぜトイレなどが作れないのかが不明であり、原因を明記して、その上で変わりとなる建物を作れば良いと思う。

コロナの流行が拡大・長期化する中で、「サイクリングブーム」が起きていると、テレビ等の情報機関を通して最近よく耳にします。日本の原風景が残る場所を自転車を用いてゆっくり回ることができるサイクリングは世界各国から注目されており、サイクリングツアーは外国人観光客から絶大な人気を得ているそうです。他にもピクニックや釣りをゆっくり楽しめると、国内でもどんどん人気が高まっていると聞きました。  
そこで提案したいのが、見沼でもこのサイクリングツアーをとり入れる、ということです。広大な桜並木の下のサイクリングロードは非常に人気が高く、岐阜や利根川付近は沢山の集客を集めています。このブームをきっかけに、見沼でもサイクリングツアーを設けてみてはいかがでしょうか。

- ・ドラマなどの舞台にする。埼玉自体の魅力を引き出せるような地元をピックアップして、全国の人に良いところを知ってもらう。大切なシーンなどで見沼たんぼにある「日本一の桜回廊」を移してその美しさや広大さをドラマやテレビを通じて伝える。
- ・落ちた桜を作ったりして作品を作る。しおりやアクセサリーなど魅力あるものを見沼たんぼにある「日本一の桜回廊」を用いて世界に伝える。
- ・琴や和太鼓などの和楽器の演奏会などを行い、桜を活かした演出を行う。またその演奏会のビデオを編集して、気軽に見られるように、肖像権などを守り尊重しながらユーチューブやツイッターなどで広報する。

市とたんぼの所有者が協力して、自然を壊さない子どもから大人の老若男女を問わずに何かしらのイベントを開催するともっと良くなると思う。また、日本一という事もあるので、マスコットキャラクターを作ったり、近くのたんぼを壊さないように自然と触れ合えるテーマパークを作ることに、さらに県外の人から注目を集め、様々な地域の人の愛されると思う。また、テレビやSNSの媒体を使って、どのような場所なのかを世界中の人に発信すれば日本のみならず世界中の日本の文化に興味を持っている外国人に伝えることができ、この場所に行ってみようという気持ちを持たせることが出来ると思います。以下の点を行動に起こせば、将来的には日本一の称号に恥じない桜回廊になれるのではないかと思います。

トイレや休憩所・コンビニが少ないので、歩く時に下調べが必要。不便なので、増やすべき。  
車道と歩道が分かれてない、また、自転車で走る人も居たので、歩道があればより安心。

桜があると、人々は桜見をしたくなると思うので、桜見ができるように草原の整備をして、桜見のスペースを確保して、楽しんでもらう。しかし、桜見をすると、ゴミが多くなると思うので、ゴミ袋をくばり、ゴミをまとめてもらい、ゴミ集積所に捨ててもらおう。  
なので、桜見のために、草原の整備、スペースを区切り、場所をつくる。ゴミ集積所をつくるとすると、もっと充実するのではないかと思います。

桜が満開の時期に屋台や遊具などを出して、お祭りのようなものを毎年開催するとういと思う。  
年齢に関係なく楽しめて、いろいろな人と交流することができそうだ。  
しかし、約2,000本の桜の維持管理が困難だと裏面に書かれているのに、今まで桜の寄付をたくさんしてもらっていたというのは、少しおかしいと思った。

まず、これ以上手を加えないことが良いと思います。  
例えば桜を増やしたとして、2,000本で維持が困難なのにこれ以上増やしても、もっと大変になったり、トイレや休憩場所をつくるためには結局たんぼを埋め立てることになり、周囲の自然が減ってしまったりすると思います。  
だから逆にこれ以上手を加えるのはよくないと思います。

桜をモチーフにした名物を作ったり、祭りを開催したりする。  
桜をライトアップしたりすると人が集まると思う。(クリスマス、新年、ハロウィン等)  
少し回廊から離れたところに車道をつくり、歩車分離をする。  
近くにカフェ等も設置し、桜を見ながら楽しめるようにする。  
見沼たんぼと桜を組み合わせたマスコットキャラクターやグッズを作る。

道のはしに高速道路の「始点から0km」のような小さな立札を置く。また3~5キロメートルごとに小さな売店やトイレを設置する。いわゆる道の駅のような土休日などには桜回廊までの連絡バスを走らせたりする。ミニ電車の運転。キャラ(PRの)をつくりその商品化。  
サイクリングコースを作る。

- ・電柱が少ないから夜はとてもくらい。
- ・見沼たんぼの面積が多いからバスを通す。

## 提案内容

僕の地元には飛鳥山公園という桜の名所があります。  
そこでは地元の偉人の渋沢栄一の博物館があったり、月に一度、フラや音楽フェスなどのイベントがあります。そんなものがありながらも桜の景観はすばらしいです。  
なので、見沼田んぼにある「日本一の桜回廊」の近くに見沼代用水を築いた井澤弥惣兵衛の博物館を建てたり、桜の開花季節になったら屋台を出すなどして、見に来た人、または見に行こうかなと思っている人に桜を見るという以外のものを用意すれば、観光客をもっと呼び込めるんじゃないかと思えます。  
来年の桜の咲く季節に行きたいと思いました。

調べると、課題として桜回廊としての、来訪者を増やすための、「おもてなし」という仕組みを増やせばいいと思う。例えば、落ちた桜の花びらを使ったハーバリウムを作ってみる、体験所を作ったり、しおりを作るなどする。この様にすれば、この桜回廊は、記憶としての思い出だけでなく、形として思い出に残せるようになると思う。

見沼田んぼで歩車分離を進めていくために車止めなどを設置することなどをした方が良くと思う。また、認知度を上げるためにJR東日本の駅などにパンフレットを設置できるようにすることや、アクセス向上のためにさいたま新都心駅や土呂駅からレンタサイクルなどを充実させるようにする。その他にも桜のグッズなどを売るようにするといった。

桜回廊の途中に撮影スポットを置く。  
スタート地点とゴール地点に桜のグッズや、見沼ならではの商品を販売する桜回廊の公式Instagramを開設し、桜の魅力や見頃を発信してみる人が多いと楽しめる物を楽しめないで、春以外の人が少ない中で見ることが出来ることをつくる。  
途中で桜にまつわる食べ物などでカフェを作り、インスタ映えを狙う  
桜の景観を崩さないようなゴミ箱、持ち歩く。ごみ袋を配る。

Youtubeなどで見沼田んぼの風景などの動画をだせば、若者の認知度も少しは上がると思う。また、認知度が上がると人が増えてゴミも増えるので、景色をあまり壊さない木目調のゴミ箱を設置するといった。

桜回廊を歩いているとつかれてしまうのでベンチを設置するといった。また、ベンチを設置すると景色が壊れてしまうならすぐ近くのところに、休むための店を作るといった。そして、子どもたちに伝えるために、小学校で一ヶ月に一回活動をするといった。

「充実させる」とは自然の景観を大事にしたいのか、あるいは観光地化させたいのかわかりませんが、どちらとも大事にしたいのなら、桜の植えるイベントをやってみるのはいかがでしょうか？植えなくとも、ゴミ拾いをしたり、手入れをみんなで行ってみたり、みたいなことです。素人のような発言・提案ですが、何かイベントを開いてみることで 客足も増えるのではないのでしょうか。

大宮駅やさいたま新都心駅に桜の飾りつけをし、大宮（見沼区）は桜の名所だというイメージをつけさせる。また、春などの桜がキレイな時期は、車の通行を規制し、徒歩で回れるようにする。桜並木の近くの田んぼを一部開拓するなどをして、駐車場・トイレスペースを設ける。  
桜回廊を充実させるために一番大切なのは、やはり知名度だと思う。「桜といえば大宮」という感覚を植え込むには、駅を活用するのが最も効果的である。前述した通り、飾りつけを行ったり、桜に関してはキャラクターをつくったり、そのグッズを売ったりすれば、知名度も広まるのではないだろうか。

「若者の認知離れ」はそもそも地元を知ろうとする機会が少ないことが原因であると考えられる。  
パンフレット等を配布しても中身まで細かく見ることは少ない。そこで、だいぶ前から大規模の告知をしたらいいと思う。「日本一」の桜なのだから、海外などでも有名であったら、認知度は大幅に上がる。海外で有名になるには、「日本で桜といえば？」と聞かれた時に、「さいたまの桜！」と答えるようにすればいい。

道の長さに対する桜の本数を増やすべき。1つ1つの桜は綺麗でも、全体が寂しいからあまり人々に知られていないのではないかと。他の地域の桜の名所の様に、様々な種類の桜を植えるべき。  
桜と桜の間にベンチを設置し、休憩の場を作る。  
道の始めの辺りと終わりにトイレをつくる。  
桜のライトアップなどのイベントを催す。

・まず、「日本一の桜回廊」と名乗っているのは目に付きやすくなって分かりやすいと思うが、何が日本一なのかの説明がないので、見にいこうとは思わないかもしれない。なので、「〇〇が日本一の桜回廊」と書き換えるだけでも効果はあると思う。  
・20kmで2,000本の桜だとすると体につき10mも距離が空いているので、他の桜の名所と比較すると迫力が足りない気がする。なのでもう少し間に桜を増やすのはどうだろうか。

まず、知名度を上げるべきだと思います。せっかく広い敷地があり、緑のある自然豊かな場所であるので、広めることで訪れる人が増えると思います。なので、ポスターやチラシのようなものをいろんな場所に貼ったり配ったりするのがいいです。ポスターの内容はみんなが行きたいと思えるような例えば、「日本一の長さ」を強調することや駅近で訪れやすいことを強調すべきです。  
また、もっと「訪れたい！」と思う人を増やすためには公共スペースを充実させる必要があります。そのために、回廊のいくつかの地点にベンチやトイレを設置し快適にじっくりと桜を見れるようにするべきだと思います。私も実際に訪れてみたいです。

## 提案内容

桜回廊を有名にしたいのならば、単純計算で10mに1本しかない桜を増やすべきである。  
手入れは、総合距離は変わらないので、負担はふえないはずである。桜を綺麗に見せたいのであれば、イルミネーションが有効である。  
下から照らすライトアップできれいに見えますと思う。  
手入れは、桜の手入れをしてくれる機械を使うべきだと思う。  
人間の手でせんていするから負担があるため、機械を使えばいいと思う。

「日本一の桜回廊」という肩書で、この見沼田んぼをもっと多くの人に知らせるためには、「花見」の季節を有効活用すべきだと思います。全体的に見て、3月下旬から4月上旬であることから、それよりも少し早い位の時期に、メディアなどを通して宣伝していくことが好まれると考えます。また、管理が難しいことについては、桜の花が咲く前に、あらかじめ木に手入れをしておけば隣り合う花同士が互いに影響せずに、日光を浴びることができると考えます。ただ、これに関しては、半年、1年で出来ることではないと思うので、時間をかけて、さらに咲く花の数も増やせば、さらに栄えていくのではないかと思います。

イルミネーションを設置するのが良いと思います。  
人はみんなイルミネーションに魅力を感じると思いますし。  
春は、お花見のシーズンなので 人が多くなりますが、冬の季節になるとあまり人が無くなってくると思います。  
イルミネーションはイルミネーションでも プロジェクションマッピングを取り入れてみたりとか、人が通ったところが光ったりするような技術を取り入れることが良いのではないかと思います。  
私も近くにイルミネーションがあったら行ってみたいですし。  
私のような人々も多いと思います！

日本には日本一の〇〇がたくさんある。なかでも沖縄の海や、北海道の夜景などはとても有名で毎年多くの観光客が訪れる。それは一目見て分かる壮大な景色があるからだ。私は実際、見沼田んぼの「日本一の桜回廊」を見たことも聞いたこともないし、言ってしまえば、そこまで有名なものではないと思う。Google street viewで見てみたが、日本一とつづが、そこまで桜が一面に広がる壮大な景色ではなかった。アニメやドラマで出てくるような一面に広がる桜並木になるよう、桜の木の数の増加、ドラマの撮影地に使い知名度を上げることによって見沼田んぼの「日本一の桜回廊」を充実させることができるのではないかと思います。

桜回廊は長さが日本一なので、長さを伸ばそうとするのではなく、桜の木の配置や数にを増やすことを考えた方がいいと思う。桜の木の管理については、分担によって一人一人の負担を減らしたり、ボランティアを募集すればいいと思う。  
ずっと桜が続くよりは桜がたくさん集中している方がいいと思うので長さにこだわらずにインパクトを優先してみてもいいと思う。

- ・休憩スペースを作る代わりに、春に花見ができるようレジャーシートをしけるスペースをつくる。折りたたみ式のお手洗いをを使う。
- ・本数を少し減らす代わりに他の桜の木の形を整えたり、栄養を与えたりなど世話をしっかりする。
- ・歩行者用道路と自動車用道路の境目をつくる。もしくは完全に分ける。
- ・認知度を上げるために掲示板にチラシをはったりポストにチラシを入れたりする。
- ・お花見の季節に屋台などを設置してお祭りを開催する。

- ・まずは、見沼田んぼ桜をもっと多くの人に知ってもらうためにここでイベントとかをやって、桜の良さを分かってもらうべきだと思う。1日だけでもいいから屋台を出したり、有名人を呼んだりすれば知名度も高くなって収入も増えるからいいと思う。
  - ・あとは、もうちょっとたくさん桜を植えるべきだと思う。
  - ・「日本一の桜回廊」の最初と最後のところに
- ☆日本一☆ みたいな感じで、今よりも日本一をアピールしてもいいと思う。

- ・見沼区が桜の咲く時期にお花見を開催し、参加者に季節に合うお菓子を用意することで見沼田んぼに足を運ぶ人が増えて見沼田んぼの知名度が上がると思う。また、近くに河川があることを利用して、春だけでなく夏にも花火大会を開催することで桜回廊を活性化させる。
- また、将来、多くの人々が桜回廊を訪れることを見こして、散策する道は歩車分離するべきだと思う。
- ・桜の維持管理は周辺の小中学校にボランティアを呼びかけて定期的に活動をする。

実際に様子などをインターネットで見たとこ、桜の木が比較的少ないような印象を受けた。  
この、桜回廊にやってくる人々は、ただ桜回廊だからやって来るのではなく、「日本一の桜回廊」だからやって来るのである。それなのに、実際来て桜が少ない、つまり様子がその名前に負けている様では、「また来たい！！」ともならないし、拡散のしがいいもないのである。  
よって、まずは桜の数を増やすべきである。もっとも、来た人たちは「圧倒されるような桜」を楽しみにしているであろうからだ。

まず、桜回廊の傍らにお花見などができる場所をつくった方がいいと思う。ストリートビュー等で確認したが、スペースがかなり少なく、公園等しかそういった場所をとることができなさそうである。難しいとは思うけれど、通路の一部をフリースペースにするなどしてできるだけ休憩スペースなどを増やした方がいいと思う。他にも、桜にイルミネーションを付けたりすることで、市民も少しは興味を持ってくれると思う。  
公園周辺であれば、例えば近所の学校のマラソン練習に短時間使えるようにしたり、仮設トイレや水道をできるだけ設置し、利用者にとって快適なものにできると良いと思う。

「見沼田んぼ」の公式キャラクターを決める。  
キャラクターはゆるキャラグランプリなどに出演してもらったりすることで知名度を上げる。  
埼玉県もしくはさいたま市周辺出身のTwitterやInstagram、YouTubeなどにアピールする、などSNSなどを有効活用させる。  
コロナもおさまって来たので、平均10mほどある桜と桜の間に、テーブルやベンチなど置いて、季節の景観を楽しみながら、ちょっとしたゲームをしたり、花見をしたりできるようにする。

提案内容

桜回廊の近くでお花見などのイベントを開催するのがいいと思います。ただ桜があるだけでは、わざわざ行こうとする人が少ないのかもしれない。そのイベントで桜回廊をテーマにした限定メニューなどを販売すれば、SNSなどで話題になりもっと有名になると思います。そしてイベント参加費などでお金を集め、約2,000本の桜の維持費やトイレ、休憩スペースを作ったり、桜と桜の間隔が結構広いのもっと植えて華やかに見せたいと思いました。  
見沼田んぼに「日本一の桜回廊」があることやイベント開催をホームページや駅にポスターをはり、若者の認知度を上げることも大切だと思います！

- ・桜の木と木の間には花壇を設置して 赤や黄色など、様々な色で華やかにさせる
- ・ベンチや机を一定の距離ごとに置き、老人や幼い子どもが休める休憩スペースを確保する。
- ・イベントの開催を行うなどして、より多くの人が足を運べるような機会を設ける。
- ・そこにある生き物や植物についての説明板を設置する。

そもそも見沼田んぼを知ってる人が少ないと思うので、春に桜に関連したイベントなどを開催して客をあつめる。また、今日では若い世代ほどにはSNSがすごく普及しているので、インスタなどできれいな桜の写真をアップして、イイネ数を稼いで、宣伝するという方法もよいと思う。見沼田んぼの魅力をつめ込んだPR動画を作成し、より多くの人に知ってもらい、見沼にしかないものをたくさん紹介していくのもよいと思う。

往復バスツアーを実施する。歩いて20km以上もあるものを楽しむのは難しい。  
食事やレクをしながら同時に花見を楽しめればよいと思う。  
また桜の木を切って、ミュージアムをつくれればよいと思う。20kmもいらないだろう。

見沼田んぼの知名度を上げるためにSNSを活用。  
施設を作ることは出来なくとも移動式の屋台などを設置するなど、建物にこだわらない人寄せが必要。  
桜の時期に祭りなどの催しを行う。その際に公園を使って埼玉の伝統的な文化を見せるステージにする。  
近くの駅にポスターを設置、市のホームページに記載するなど広報活動に力を入れる。祭りの時に限らず人に来てもらうために、遊歩道の整備（柵の設置、一部分だけ用水路の方へ足場をのぼし休憩場所を設置したり仮設トイレ、自動販売機などをおく）ことで、花見の季節の集客を計る。

維持管理が困難であることなので、桜並木をいくつかの区分に分けて小学校が管理すると良いと思う。そうすれば必然と知名度も上がるし、若者の知名度も上がる。  
また、散歩用に歩道をつくり、小さい子どもでも安全に通行できるようにすると良い、また、もう少し間隔を狭く植木することで、見ごたえのある風景にする。  
駅からも近いそうなので、観光ルートをつくり、説明案内板などでわかりやすくすると良いと思う。寄付してくれた企業一覧などを誰でも見えるようなところに置き、企業的な関心をひくことができるようにする

桜がない所から見える景色が殺風景な気がする。  
若い人たちは東京のように派手な景観を好むから、その点ではあまりアピールできていない。  
なので、あまり桜のすき間ができないようにして、ライトアップするなど景観を良くしたら良いと思う。

- ・散策する道を車道と歩道に分けるべきだと思います。道路を整備することで より安全になり、より安心して訪れることができます。
- ・トイレや休憩スペースは増やすべきだと思います。そうすれば、お年寄りの方など様々な人が気軽に訪れ、桜を楽しむことができます。
- ・あとは、道路を整備したらそこでマラソン大会などの行事を開催するべきだと思います。桜を見ながら楽しく行事に参加できるので、訪れる人も増え、認知度を上げられると思います。

見沼田んぼの「日本一の桜回廊」をより充実させるためには、もっと多くの人に訪れてもらい、全国的に知名度を上げる必要があると思います。そのためにはまず、InstagramやTwitterなどで公式アカウントをつくり、桜の開花状況などを発信すればよいと思います。  
また、千鳥ヶ淵や目黒川といった桜の有名な場所のように、夜間にLEDライトでライトアップをして、埼玉県を代表するデートスポットにすると良いと考えます。日本一の桜回廊は全長が長いので、それを生かし、いくつかの地域に区切って、満開の時期がちがう桜をそれぞれにうえて（ソメイヨシノ、シダレザクラ、八重桜など）長時間 桜を楽しめるようにすると、より多くの人が訪れてくれると思います。

1ヵ月に1回くらい地域の人達で小さなお祭りを開く。  
地域の小学校や中学校で桜について知識を教え、  
家族などで桜に親しめるようにする。  
車が通ることを禁止し、歩行者がゆっくり楽しめるようにする。

1,260haと広大な面積をもっているが、桜がちらばっていて少ないので見沼田んぼの桜回廊の中で一番人が行きやすい、交通が良い場所にもっとたくさんの桜を植えて中心地域をつくれれば良くなると思う。また、ゆっくり休憩しながら桜を楽しめるために道の横にやすわれるものを設置するべき。  
また長い距離をあるくため自動販売機をもうける。  
スタート地点とゴール地点をつくり、最後までたどりついた人にけい品をあげたり、途中でスタンプラリーをしたりすると楽しめると思う！

## 提案内容

まずは、「日本一の桜回廊」の知名度をもっと上げるべきだと思う。このプリントが配られたとき、私ふくめ、「日本一の桜回廊」について知らない人が沢山いた。最近では、若者はもちろん、大人でもSNSやインターネットを使う時代なので、それらに広告をのせるなどして、主に若者の認知度を上げる必要があると思った。

また、桜回廊の公式TwitterやInstagram等を使って、桜の写真をあげるなど、日本だけでなく海外に向けても情報を発信すれば、海外で日本の桜が好きな人たちにも届き、日本に来た時に立ち寄ってもらえると思った。

距離20kmあるのに対し、桜は2,000本しかないのは少ないと思うので、それらと新しい桜を管理がしやすいように品種改良されたものにする。また、私のクラスでもそこを知っている人はいなかったの、より認知度を高める必要があると思います。例えば、桜が散った時期には夜にライトアップを施す、人力車や馬車を利用した散策、名物となるようなお土産をプロデュースするなど、他と似たようなものではなく、独特な所となるよう特徴を作る。

- 桜の木の落ち葉や、落ちた花を拾って掃除をするボランティアを募って景観を良くする。
- SNSで桜並木の写真を上げる活動をして知名度を上げる。

もっと道路を広くして多くの人が通れるようにしたいと思います。木と木の間にあいているので、そこに、今植えられている種類とは違うものを植えて、花見をしたいともっと思ってもらえるようにしましょう。

桜を増やし、一目見て圧倒するような道にする。定期的に整備、清掃をする。知名度を上げるために桜が咲く春に何か町の人参加型のイベントを行ったりPRを行ったりする。日本一であることをもっと強調する。花が咲かない冬にイルミネーションをやってみる。散歩用の歩行者のためだけの道をしっかり作る。SNSを用いて若者の興味、関心を引くような写真をアップし、知名度を上げる。

まずは、「日本一の桜回廊」を知ってもらうために、見沼区のホームページにその写真をのせたら良いと思う。今はインターネットの時代なのでホームページなど宣伝できる場所を見つけて若者などに広めるべきだと思う。また、そこだけでなく、あと何個か観光地にするべきだと思う。他の観光地を通して「日本一の桜回廊」を知るといふ事もあると、思うからである。

私は、畑や周りの環境に配慮して、桜の開花時期以外でも人が訪れる場所になったら知名度も上がるし、人気も出ると思います。例えば、畑に影響がない程度に木々をライトアップしたり、畑とたくさん木の風景という都心からさほど遠くないが、自然を味わえるスポットとして売りだしてみたいと思います。また、桜の開花時期に人が集まる時には路上駐車が多発してもおかしくないの、きちんと注意喚起をして、場の治安を良くすることも重要だと思えます。

桜と桜との間に通れる道を作って、「間」を感じさせないようにしたらもっと良くなると思います。あと、なんとかスペースを作って、ゆったり座って見れるようにしたいと思います。

より、「日本一の桜回廊」の知名度を上げ、多くの人に訪れてもらうための取り組みを行うのが良いと思う。まず、知名度を上げるために、SNS等を活用した発信を強化してゆくの、がよいのではないかと。具体的に、SNSの公式アカウントを用いた情報発信、市ホームページでの紹介、PR動画の作成等があげられる。

また幅広い世代の人が訪れたいと思えるようなイベントを計画してみるのも良いのではないかと。花見の際に店を出したり、夏祭りを行ったり、桜回廊の長さを利用したスタンプラリーなど様々考えられる。

「日本一の桜回廊」の最寄り駅が浦和美園や、東浦和で、そこからバスや徒歩で10~15分なので、駅での桜回廊のしょうかいなどは知ってもらう機会を増やすことが大切だと思います。

駅からバスへの円滑な案内をすると良いと思います。

また、桜と桜の間隔が狭いらしいので、もう少し間隔を狭くしたり回廊沿いに大きめのピクニックや花見ができる公園のような場所を作るか、それにアスレチックのような道具も付いたようなかたちになると、子ども連れの客も増えるのではないかと。思います。

若者の認知度を上げるためには、学校で桜を見に行ったり、周辺のゴミ拾い活動をしたら良いと思う。周辺の公園以外にトイレや休憩スペースがない、という問題については、休憩スペースについては、自由にレジャーシートを広げられるスペースを間隔をあけてつくれば良いと思う。

トイレに関しては、桜の景観を邪魔しない所に、何回か立てればよいと思った。

また道路は半分で区切って歩行者用と自動車用・自転車用に分ければ良くなると思う。

後ろの文章に「管理が大変」と書いてあるので、「住民管理週間」のようなものを雑草等がすごい夏あたりに作り、ボランティアみたいな形で、募集をつのり、集まった人で桜を五週間ほど管理するのが良いと思う。

他には、一カ所桜が集中する場所を作り、そこで花見のイベントを開催すれば、関心を持った人が増えるかもしれないので、そうすればよいと思う。イベントと言っても、屋台を出す、のような小規模なモノでも大丈夫かと思えます。

若者の認知度を上げるためには、SNSなどに頻りに投稿することで若者の興味・関心を引いたらもっと良くなると思う。安全な観賞を実現するため、回廊の要所に駐車場を設け、レンタル式の自転車を配置して車の通行を禁止することでより安全な環境が作られると思う。

また、駐車場を中心とした休憩所を設備することでより快適な時間を提供できると思う。

## 提案内容

若い世代に知ってもらうために、SNSで「日本一の桜回廊」について発信していくことがいいと思います。発信する内容については、花が開いているきれいな状態だけではなく、つぼみや葉の状態と木なども写真にのせることによって、1年中、季節によって異なる桜の状態を楽しんでもらうことがいいと思います。また、桜回廊を知ってくれた人たちが、また他の人に教えられるように、印象に残るもの、例えばさいたま市のマスコットキャラクター以外に「日本一の桜回廊」のキャラクターなどを作ることで、多くの人に存在自体を知ってもらうことも必要だと思います。

日本一の桜回廊であるということを広めるために、新聞でテレビなどのメディアに広めてもらう。また、色々な人が使いやすくするために、見沼区の歴史みたいな展示とか、点字ブロックを配置する。また、色々なプロジェクトを始めて、安心してみんなが来れるような環境を作る。

SNSでこの桜回廊の取り組みを拡散すれば良くなると思う。若者の認知度が低いという問題はもちろん解決されるし、表面のリンクを掲載してホームページを見てもらうことで、回廊の維持につながる寄付者を募ることができる（何よりもSNSでは市民や来場者の他、外国人とも密接につながれる。その特徴を利用し、美しい写真をたくさんアップすることで集客率が上がるのではないかな。）

自転車道を整備したら格段に人が増えると思う。マラソンなどを開催して集客する。

- 屋台等を設置して、お花見しやすい環境をつくる。
- コスプレ撮影を許可する。
- 丸太のようなデザインのベンチを設置して景観を維持する。
- もっと大々的に宣伝する。
- 個性的でかわいいゆるキャラをつくって注目をあつめる。
- 子どもの木登り体験教室をつくる。
- 風景画コンテストを企画する（フォトコン）。
- 楽器を練習してもよいとする。
- おしゃれなブランコを設置する。
- 見沼たんぼでのデートプランを作って公開。

もっと多くの人々に見沼たんぼの日本一の桜回廊を知ってもらいまた、来てもらうためには整備が必要だと思う。人々が魅力的に感じることができないと訪れようとも、興味をもつこともできないと感じた。そこで町内会で人手を増やし、桜の維持管理や老若男女の意見を取り入れることでもっと充実した桜回廊を作れると思った。さらに、春の桜だけではなく、夏秋冬にもイベントを開催することはどうだろうか！

若者の認知度を上げるためには、花見の時期にどれだけ多くの人に来てもらえるかが重要だと思う。お花見により来てもらうためには歩車分離することが必要不可欠だと思う。車が来るかもしれない場所でお花見をすることは出来ないからだ。また、車の来ないスペースを広くとることも必要だと思う。これらの設備が整ったらSNSなどで桜の写真を投稿することで宣伝になると思う。

今はSNSが発達しているので、SNSを活用して多くの人に知ってもらうことから始めると良いと思いました。まず、桜回廊を認知してもらうには多くのマスメディアに取り上げてもらうたり、そこでイベントを開催したりすると自然と人が集まると思います。イベントの例として花見やマラソンがあります。特に花見は日本人が好きですし、屋台が並んでいたりするとどの世代も楽しむことができます。なので、私はSNSを活用してたくさんの人に桜回廊を知ってもらうことから始めるのが充実させるための一歩になると思いました。

まず、あまり高くない知名度を上げるために、若者へアピールする必要があると思うため、SNSを積極的に開始すべきだと思う。また、現在の若者はInstagramをやっている割合がかなり高いため、“映え”を意識した取り組みを行うべきだと思う。例えば、クリスマスなどの人々が盛んに出かける時期にイルミネーションを行ったり、小・中学生向け（もしくは学生向け）のお花見会を行ったり。先に申し上げたSNSは“映え”を意識したお洒落だったり人々が「綺麗…」と口に出してしまうような投稿し、（InstagramやTwitterなど）場所が分かるようにしておく。そして、学生向けのお花見会では学校の遠足で試験的に呼び、上手く行ったら会場として一般向けに開放する。景観を崩さないよう、ゴミ箱を桜色にしたりマスコットキャラクターを作って描いたりするといったのでは、と思う。

まずは埼玉県内の人に知ってもらえるように、学校行事として桜回廊の散策をする。桜回廊で何かイベントをして、桜を見に来てもらう足がかりにする。地元の小学生などに、桜ができていく過程を自分の目で見て学びつつ、一緒にお手入れしてもらおうというのを授業の1つとして入れれば良いと思う。子どもがいるご家族や高齢の方にも安心して来てもらうために、まずは歩車専用の通路を作るべき。

若者に知ってもらうことは、世間の注目を集めることにつながるため、知名度を上げるために、フォトスポット付近の施設に家族でも友達同士でも楽しめるようなレジャー施設をつくれれば良いと思う。また、飲食ができる所を設けると、桜を見ながら楽しむことができ良いと思う。

道を広くし、歩道を車道と分ける。歩道は何mかおきにベンチを設置する。道のそうじをし、キレイに保つ。若者の認知度が低いことに関しては、InstagramやTwitterなどのSNSで情報を発信したり、若者向けのイベントを開催したりすれば良いと思う。サクラの木の種類を増やすのも良いと思う。市内の人気スポットに貼り紙（ポスター）をはる。

途中途中桜を切ってトイレや休憩所をつくる。

河川が近くにあるので船で見沼たんぼの桜回廊を回る事業を行う。また、桜の維持管理のボランティアを募集して、参加してくれた人には船に乗せてあげるなどのサービスを行う。出店を呼んだりするなどのイベントを行うのも良いと思う。

提案内容

このアイデアを書くときに、自分含め、クラスで知らないという意見が多かったことから、認知度が低いので、市のホームページにこの桜回廊ののせたり、YouTubeやインスタに桜回廊を紹介する動画を上げたりする。また、見学専用の道を作り、ツアー形式にすることで、ある程度は安全に、楽しく見学ができるようになると思う。

見沼田んぼの桜回廊の近くに建物をたてる。散策する道を歩車分離するようにする。若者への認知度を高めるために広告やイベントを行う。桜まつりとか 桜を移植する。伝統として残す。桜の管理をもっとする。

並木の各木の下（1本おきとか）に花見スペース？休憩スペースを作れば、木陰で涼んだり花見の場所とりが分かりやすくなったりする。政府の「桜を見る会」のような大きなイベントで取り扱うようにすれば「名前は聞いたことある」程度の知名度は得られると思う。桜の維持管理が難しいのなら距離間隔を空け、常緑樹などで色合いのコントラストなどを起こすと良いと思う。

散策の道が歩車分離でないことやトイレなどの設置に関して、認可されていないことが問題となっているのであれば市がプロジェクトをしているのだからそれくらいの許可くらい出せばいいと思う。ただ建てものの建設や歩道の設置に近隣住民が反発する可能性がなきにしもあらずなのでもっと市で大々的にプロジェクトを広告し、認知度を上げるべきであると思う。

数年前に話題になった「桜を見る会」を埼玉県かさいたま市主催で日本一の桜回廊で開催するのいいと思います。そうすれば若い人たちにももっと認知されると思います。また、若い人たちによるゴミのポイ捨て問題が発生するかもしれないので、週に2回くらいのペースでボランティアの人たちを派遣して清掃活動を行うのいいと思います。桜の維持管理については、この桜並木は埼玉県の財産でもあると思うので、埼玉県の自治体全体で分担して管理するのいいと思います。

ツイッターで宣伝する。車の通行を禁止、または、交通整備をして、歩行者の安全を確保する。寄付なので募金をして、ベンチを設置したり、トイレを設置したりした。また、広場をつくって、子どもの遊び場を確保すればよい。

トイレや休憩スペースがあまりないという問題がある。トイレがないとトイレにいきたい人が困ってしまうという問題があり休憩スペースがないと休憩したい人が休憩できないという問題がある。なのでこれを目立たないように多くつくればトイレや休憩したい人が困るというもんだいはなくなってくるのではないかと考える。また若者の知名度をあげるために、若者が興味をもつようにし、また、若者が知る機会をSNSで発信するなど努力をする必要がある。

桜を見に行きたい人が、今より気楽に、そして行きやすいようにするために、バスでの観光を計画したり、車が通る道を作り、車の中から桜を見れるようにしたりする。また、若者によりこの桜回廊で知ってもらうために、「桜を見る会」を立ち上げて、参加してもらう。これで解決してほしい。

若者はおそらく行きたいと思わないと思う。だってぼくも行きたいとは思わないから。20kmも桜を見たいと思う人がいると思いますか？たぶん少ないと思います。なので充実させることはほぼ不可能だと思います。主要駅から2～3kmと言っていますが、結構遠いですよ？楽しくすごすのも難しいと思います。なんで、映画やドラマの撮影場所として使ってもらえれば有名になると思います。

たとえばショッピングモールなどの建物を増やせば良くなると思います。前のページに建物がたてられないので、若者から認知されないと書いてあったので、建物をたてれば認知されると思います。古い考え方にとられるから有名にならないんだと思います。攻めの姿勢が大事です頑張ってください。

若者の認知度を上げるためにはTwitterなどのSNSを使って広報活動した方がよいと思います。安全を確保するために道路を整備して歩道をつくった方がよい。

なかなかイベントがないと人は来ないと思うので、花見祭の様なことをやると良いと思う。しかし、桜のこともかんが見て、もちや茶などのあまり、ガスなどがでないような優しいものだけの売店に限定する。そうすれば、若者なども来ると思う。又、何か近くに施設（日常的に若者も必要とするもの）を作り、その通り道にする。SNSでインスタ映えスポットなどという名目でアピールする。

桜の管理を若い人に募集してみてもどうだろうか。若い人に興味を持たせることもできれば桜の管理もできるではないか。そして主要駅から近いこともありトイレや休憩スペースを駅において見るのはどうだろうか。遠いところから来ている人もいると考えると人が集まったときに一つのトイレや休憩スペースへの密集を避けることもできます。さらに歩車分離されていない道を車や人がどちらとも安全に歩けるように車の通る道と人の通る道を指定したり車や人がゆすり合いができるようにルールを定めたりすることもまたよいではないか。他に見沼田んぼにある「日本一の桜回廊をもっと充実させれば見沼田んぼにある「日本一の桜回廊」はもっと充実するのではないか。

トイレは必要だと思うので建てられないのなら、公衆トイレを設置するべきだと思う。また若者に認知度はツイッターなどを利用して、桜回廊の魅力や、そこから見える美しい景色を発信し、するのがよいと思う。桜の管理は各自治体が協力して、ボランティアを集め定期的にゴミ拾いや、木の手入れなどを行う。ただ知名度を上げるだけでは行かない人も多いと思うのでイベントなどを開いて、興味をもってもらうことが必要だと思う。



提案内容

埼玉に住んでいる自分が存在すら知らなかったので、市がもっと宣伝すべきだと思う。  
昼頃にやっているテレビ番組とかでしてもらえば来る人ももっと増えると思う。  
あとは、桜が一番咲く季節に限り、トイレとかを設置してみたら、良い気がする。  
市のSNSなどで紹介してみるのもいいかもしれない。

まず1つめに安全に桜回廊を楽しめるように、歩行者と車が通る道とを分離すればよいのではないかと思います。また安全性に加えて便利さなどを追及するために少し桜を切ってもコンビニなどをつくれればよいと思います。その他に若い人が集まるようにさいたま市や県などがおしゃれなスポットとしてネットなどに取り上げたりすればよいと思います。それに加え、前述したように桜を減らせば維持も楽になると思います。

見沼田んぼの「日本一の桜回廊」は、大宮などの首都圏からほど近い優れた立地であるにも関わらず、その知名度の低さからあまり人が来ないことが問題となっています。これを解消するためには、交通事業と連携して人を集めることが必要だと考えられます。このような交通事業は、自動車の勢力がやや強いさいたま市にとって、環境保全を積極的に活動していることを市内外にアピールする魅力ともなり得ます。具体的には、JR東日本の大宮や東京の支社と協力して列車運行イベントを行うことが挙げられます。公共交通機関の利用による環境保全とさいたま市の自然を象徴する回廊を合わせて、さいたま市の1つの住環境的な魅力につなげられると思います。

この「日本一の桜回廊」を充実させるためにまず、安全確保が重要だと思います。まず、自動車などのために他の道路を整備し、遊歩道を整備すると良いと思った。  
また、維持管理は、部分に分けて整備を会社に頼むなどをすると良くなると思った。また認知度を向上させるために、公園などで花見やウォーキングイベントを開いたり、SNSなどでの発信、拡散した人にはサービスが受けられるなどのシステムを構築すること、人目に付きやすい公共スペースでの広告を出すなどの対策が必要であると思った。

市立病院周辺に流れる芝川から見られるようなのでリハビリや車椅子で桜を見れるような道を作る。  
また春には、仮設トイレを設置し、宴会を許可制にして、資金を集めて維持費にする。  
アクセスが悪いのに駐車場ないので家族客が少ないと思う。なので市が土地を買って桜が特に美しく咲く場所に駐車場や、各駅から自転車を借りられるサービスを作り、各地点にも駐輪場を作るべきだと思う。

さいたま市の観光名所として、国内だけでなく、外国人観光客などに向けて宣伝して、知名度を上げることで若者たちも関心を持つようになると思います。また、ボランティアなども募集することで、桜の管理維持やトイレ、休憩スペースの増設も可能になると思います。

若者認知度が低いのはあなた方のPR力不足だと思うので有能な人材を雇いましょう。実際、僕もこれを見て初めて知りました。2,000本の桜の維持が困難ならば、桜の木を1本ずつ販売して、桜の木を欲している企業や団体などに与えれば良いと思います。それでもだめなら人のために「サクサク見沼田んぼプロジェクト」を何のために始めたのか考えてみましょう。  
まあ僕は応援していますよ(笑)。

自由に建物をつくれるようにする。大勢の人でボランティアで桜の管理をする。散策する道を歩車分離する。若者の認知度を上げるために、公式ツイッターを開設して、宣伝する。有名人にインスタで宣伝してもらおう。テレビに売り込む。

私の父親は時々外でジョギングをします。そしてすごく気に入ってる場所はこの『桜回廊』です。春になると、景色がびっくりするほど美しいと聞きました。そこで、もっと人気を出すために提案することについての前提としていくつか言及することがあります。いい観光スポットになるにはその特殊性を持たなくてはなりません。例えば、歴史、サイトシーイング、ショッピング、フィクション作品の聖地であることなどの要素が必要です。この『桜回廊』がもってる魅力的な要素・1つ目はいい景色であることだと思います。日本一長い桜の道ということが十分にその特殊性を発揮できると思います。そして、何かの作品(小説など)の背景としてここを採用し、バズったら、多くの人が参観しにくると思います。これまでの作品も実際観光事業に大きな影響を与えています。

毎年の決まった時期に桜回廊の周りの河川敷を使ってさいたま市内や県内の人気店を集めたお祭りを大規模に開催しテレビ局やネットニュースに取材してもらい、さいたま市内の消費を多くするとともに桜回廊の認知度を上げること。

桜を見に来てもらった人から少しでもお金を取るようにして、集まったお金をトイレや休憩スペースを作るために使ったりする。桜の成長を助けるためにボランティアをつのったりしてテレビで放映してもらい、認知度をあげるようにする。

さいたま市の公立学校のマラソン大会や市主催のマラソン大会のコースにしたら良いと思う。  
マラソンコースにすることで、トイレや休憩スペースを設置する必要はなくなる。  
また、公立学校のマラソンコースにすることで、市の多くの学生に知ってもらえるし、マラソン大会のコースにすることで、マラソン練習コースとして使ってもらえる。  
そのようにして、認知度を上げることがまずは必要だと思った。

SNSなどで発信して若者や小さい子のいる家族の認知度上げ、歩行者用の道路を整備すれば、家族連れにも安心な場所になってにぎわうと思う。  
桜が見られる1~2ヶ月のみ周辺に仮設トイレやテント(学校行事や祭りなどで使うような屋根のみのもの)を設置して休憩スペースを作る。

提案内容

歩行者専用通路を作ったり、周辺のトイレ、休憩スペースを作るための資金を、寄付してもらおう（来てもらった人に）。また、TwitterやInstagram、Facebook、Tiktok、Youtubeのshortなどで、みんなが気軽に見やすいサイトで、発信してもらおう。（事業とのコラボ。）  
またそれらのSNSによって来てくれた人対象に桜1本に水をあげる役割りを体験できるとともに、コラボした人とコバトンのステッカーを配る。などしたらどうでしょうか？

毎年流行っているデザート（今年だったら、カヌレとか）の屋台をたくさん出してもらって、桜の下で食べてもらう。そして、インスタなどにのせてもらう。デザートは限定のものしたり。大宮やさいたま新都心にくる人が多いので駅やお店（コクーンとか？）で宣伝する。（大宮まで来て、見沼区まで人はなかなか来ないから、来たいと思わせるような宣伝をする。）

せっかくこんなにも美しい桜回廊があるので、もっと若い世代を中心に知ってほしいと思います。そのためには、まずルールを作る必要があると思います。散策する道を車道をしっかりと区別して、整備し、安全性を高めていくとより人々が集まるのではないかと思います。また、この「日本一の桜回廊」を地域の掲示板か市のホームページなどに掲載し、SNSにも投稿してもっと人口の関心、「行ってみたい!」と思わせるような工夫が必要だと思います。

表の写真から桜並木の脇は、川か道があるように見えました。高台の桜の植わっている所に歩道と車道を作るのは難しいと思うので、いっそ歩道を脇のスペースに作ってみてはどうでしょうか？休憩スペースも公園以外は無いようですが、作った歩道にベンチを数m間融で作ることで、普段から見沼田んぼに行く機会が増えるのではないかと思います。また、若者の認知度が低いという点において、若者は景色がきれいなだけでは来ません。なので何か目を引くマスコットや珍しい写真スポットを作ったり、TwitterなどのSNSで何か面白いことをつぶやけばいいと思います。

インターネットやSNS（インスタやツイッターなど）で目立つように宣伝することで認知度を上げる。  
2,000本の桜の維持が困難ならば、そのうち半分くらいを埼玉県の別のところに移し、かわりに、もともと木が植えてあったところに休憩所やトイレ、売店などを設置すると、良いと思う。  
また、近くにパーキングスペースを作ることで、遠くからも人が訪れるようになると思う。

私はこの日本一の桜回廊というものを全然知りませんでした。  
なので若者にはあまり知られてないのだと思います。  
2,000本ある桜の維持管理は地域の人やボランティアなどを集めて、維持を頑張る。そしてその2,000本ある桜の写真や様子などをSNSにあげて若者に広める。そうすることで認知度も上がりボランティアをしたいという人も増えて、日本一の桜回廊を充実できると思います。

桜の季節は、一部の道を車両通行を禁止し、歩行者が桜回廊を散策できるようにする。また、付近に移動式トイレを設置し、飲食を可とすることで見沼区付近の住人が花見に用いることができる。それらをTiktokやTwitter、InstagramなどのSNSや地元の広報誌に載せることで若者の認知度を上げることができる。

日本一の桜回廊を、私は知りませんでした。なので、まずは若者の認知度を上げるのが優先だと思います。しかし、ポスターを駅周辺に貼るなどは、もう市はやられていると思いますし、効果が絶大であるとは思いません。そこで、日本一の桜回廊での祭りを開催するのはどうでしょうか？祭りという名目でだいたいの新しくはじめれば、インターネットでも話題になるはず。大宮などで夏祭りが行われている時は、毎年とてもたくさんのゆかたを着た人々を私も見ているので、皆で花見をすることをベースとした祭りを開催すれば観光客も集まると思います。

- 桜を植え、とてももさもさにして印象を強くする。
- 交通の便を良くして、来やすいようにする。
- テレビとかYoutubeで紹介する。
- この桜回廊でイベントを開いたりして、人が集まるようにする

桜回廊に観光バスを走らせる。

景色がきれいなら僕は自転車で走りたくなるので自転車が走れるように道を整えたらいいと思います。自転車でわざわざ走りくるなら20kmぐらい耐えられるのでトイレは少なくともいいと思います。知名度はSNS使えばなんとかなると思います。

この意見募集ではじめて桜回廊を知りました。  
長いのはいいですが、長すぎて景色にあきて途中で帰る人も少なくないと思うので、ずっと同じ風景ではなく他の木を植えるのもいいと思います。若者の認知度は有名人などと手を組んでみるのもいいかもしれません。

鉄道を作って、それを見にきた迷惑な撮り鉄をYoutube上にアップし、有名にする。

提案内容

見沼田んぼをつぶして新しいテーマパークを作った方がいいと思います。  
正直田んぼは地味です。若者が興味を示すわけでもないです。  
ところがテーマパークを作ることによって若者人気が急上昇、人が絶えることはないでしょう。知恵をしぼって田んぼと桜で人を集めようとするのはやめましょう。  
桜の維持管理が大変なら全部切って家でも建てて下さい  
このまま充実させたい思っているなら年配の人たちとひっそりやってください。

桜並木の道を歩行と自転車で分離し安全を確保した上、付近に駐車場・バス等の公共交通機関の発着場所を設け、利便性の向上をはかると良いと思います。主要駅から2km~3kmは近いとは感じません。そして、公共交通機関の利用を促せば、運賃により増収を見込めるかもしれません。また、桜は春しか咲きません。年に一度ほどしか訪れることがない場所は、その時期は目を向けられる機会があっても、他の時期に注目を集めることはないと思います。そこで、ジョギングコース・サイクリングコースとしての整備を提案します。他に活用のしようがないものの、使わないのは勿体ないです。使いましょう。

マスコットキャラクターをつくる。

見沼田んぼの水を販売し、にごった水をきれいにできる器具を使って、子どもに人気なV t u b e r に飲ませて「おいしい」と言わせればみんな興味を持つと思う。

桜回廊内にトイレや休憩スペースを作りその周辺に飲食コーナーの店をつくる。約2,000本の桜の維持管理はぼ金でまかなえばよい。散策する道をもっと現代風にちゃんときれいに整備する。T i k t o k を使い有名な日本芸人を呼ぶ。見沼田んぼを使ったイベントを増やす。バズるスポットをちゃんと整備してマップに表示するのもいいでしょう。

他の桜の名所の人気を落とす。  
そしたら、必然的に人気上がる。

等距離間で桜を伐採し、休憩スペース等を作る。

首相の支援を求める。

環境を整える事を優先する。キレイな方が良い。  
桜の維持ができないなら量を減らした方が良い。  
そこまでして日本一にこだわる必要はない。(今のままじゃただ20kmあるだけの客が来ない所になってしまっている。) 宣伝以前の問題。

大物Y o u t u b e r に協力してもらって若者の認知度を上げれば良いと思う。

花火とか打ち上げる  
お祭りなどを開いてオープンカーとかで食べ物販売する

私は、SNSを使って広めるのが良いと思います。また、桜のライトアップを行うことで昼間だけでなく夜も見ることができるようになるので、「夜だから行けない」人でも見に行くことができます。

田んぼをプールにする。

売店を置く、公共のトイレの設置、ドッグランや体を動かせる器具など、人が集まりそうなものを作る。

まず、その場所を知ってもらうためにきれいな写真をとったりして行ってみたいと思わせる。  
交通をできるだけよくして行きやすくする。  
L I N E アカウントで毎日写真から日記をやる。  
特産品を新しくつくる もしくはその場所で売るなどしてみる。(きびしいと思う)  
何かとコラボする/写真をとったやつをロック場面とか。  
インスタ映えするスポットを作ってみたカップルでデートできる場所とか。

歩道なしでドライブのみにする。  
屋台など売店を立ててお祭りをする。

ドライブのコースにすればいいと思う。

可愛い女の子がいれば私が行く。  
イケメンでも可。

提案内容

まず、見た目をもっときれいにしたいので、桜の下にゴミが無いようにする。そうすれば、もっと桜が映えるようになると思う。あとは、整っている方がばっと見感じ、きれいに見えるので、草は定期的に刈って、整えれば良いと思う。  
みんなから募金する。外国人をたくさん呼び、世界中で話題になるようにする。桜回廊のまわりや駅付近に、桜関連、見沼関連のグッズ売り場をつくる。桜回廊の途中のかしよに、何かしよかにスタンプ場所を設置して、スタンプラリーをする。そして、全て集めおわたたら、ごうかしようひんに応募できるようにする。

子どもから大人まで楽しめるアクティビティを開催すればいいと思う。

- ・お祭りみたいな屋台を出す。
  - ・フォトスポットを作る。(花びらを風を起こしてまき上げたり)
- 名称を「世界一の桜回廊」にかえる。

- ・若者の認知度を上げるために、春の映えスポットとして宣伝する、写真をSNSにアップして知名度の上昇を計る。
- ・バスで桜回廊の近くを通るルートをつくる。気になって降りる人もいるかもしれない。バス停だったら作る際にコストもあまりかからないかも？春限定ルートとかの方が良いかもしれない。

桜を多少切り倒して余裕のある土地へ移させる。  
それにより、トイレや休憩スペース、散策する道を歩車分離するための場所を確保する。また、SNS上で若者からの認知度を高めることで、「日本一の桜回廊」としての知名度を高める。

桜カラーの電車を作る。

- ・SNSを用いて広める。
- ・祭り等を開催して盛り上げる。

桜回廊で桜が満開な時期に合わせて、「桜祭り」を開催する。祭りで屋台を多く集まらせて、県内だけでなく県外の客もよせる。また、花見をしながら、屋台の料理を楽しむことができる。また、さいたましん都心で多く宣伝する。駅のすみまで桜のそうしよくをして、「桜祭り」の存在を知らせる。宣伝するときに、前年や今年などのきれいな桜回廊の写真をポスターやチラシなどにして、くばる。まずは、回廊の桜の凄さを教えないと、県民は行きたいと思わないと思う。SNSを使ったりして宣伝するのはあり。

桜回廊のポスターを作る。(目にひきつくような派手さ)

桜回廊はy字型に桜があるのでyの少し開いているところにお店(桜関係)やマスコットをつくるなどバズるものを作成する。

休憩場所としてベンチをつくったらいいとおもう。

イルミネーションをつける。  
テレビにうつる。

SNSをつかってもっと広くみんなに知ってもらう。  
桜回廊の近くに、訪れたいようなお店を建てる。  
さいたま新都心や大宮から桜回廊が見られる場所までのバスを運行させる。  
駅に桜回廊や田んぼの魅力を伝えるポスターを掲示する。  
日本一の桜回廊をテーマにしたグッズや桜を使った料理を販売する。  
インスタ映えするような写真スポットを設けて、若い世代に来てもらえるようにする。

「見沼田んぼの桜回廊」は私も初めて知り、たしかに認知度はあまり高くないと思います。なのでまずは、イベントをやるといいと思います。特に祭りをやるのがいいと思います。そしてその宣伝は、若者が多く使っているSNSなどを使うことで、より若い世代に影響をあたえることができると思います。しかし、祭りをやるにはお金が必要であり、桜の維持管理費にも多くの費用がかかります。そこで寄付金を集めます。お金がたまれば、公園や休憩スペースがつくれ、桜回廊の周りが活性化し、「日本一の桜回廊」を充実させることにつながると思います。

トイレや休憩スペースを多く作り、人間への快適度を上げ、SNSやポスターを作って拡散し、知名度を上げる。

有名な人に宣伝してもらおう。  
インスタ映えしそうなフォトスポットつくる。

桜回廊の道を綺麗にして1kmごととかにスタンプを置いて、18.2km全て歩いてスタンプを集めると見沼区にある飲食店が半額になる。

日本一の桜回廊が見沼田んぼだって知らなかったから もっとネットとかで若者の認知度をあげる。  
祭りとかをする。  
近くの学校はそこで校外学習をする。  
有名な物とか人とかキャラとかとコラボする。

提案内容

- ・景観をこわさないような、桜の色と似たピンク色のベンチや、フォトスポットなどを設置する。
- ・お回り屋さん。
- ・知名度が低いのでポスターで宣伝する。

歩車分離する。  
開花時期になったらボランティア団体などに協力を求め人の整備や車の誘導を行う。  
テレビ局やインフルエンサーの人などに紹介してもらうなどして、SNSを活用する。  
人が集まれば桜回廊周辺の店にくる客はふえることを理由に、それらの店の割引券などをつくってもらい配布する。(SNS上で配布できるようにする。

桜の維持管理については地域ごとにボランティアを募集してそうじなどする。  
散策する道が歩車分離されていない問題は市で募金をしてお金を集める。  
若者の認知度が低いことはSNSを利用して広く知られるようにする。何かイベントを開催して人を集める。

上野のように取り上げられるような桜回廊にする。ゴミ拾い等のボランティアを発足する。もっと桜を植えるとか?そもそも知名度が足りないと思われ。  
・パンフレットを作成し埼玉県内の駅におくとか、どこか有名所とコラボするとか。資金があればなんでも大体できるような・・・。イルミネーションとか。とりあえずとぎれとぎれにせすにきちんとつなげて本当の意味での日本一の桜回廊にした方がええんとちゃいます?

“桜まつり”をやる。屋台を出したり、地元の学校の部活の発表するとよいと思う。建物が作れないのなら、キッチンカーで埼玉グルメや流行りの食べ物を売る、“キッチンカーまつり”をやったら、興味を持ってくれる人もいるのではないかなと思う。  
また、車で訪れる人もいると思うのでちゅう車場を充実させたり、コロナの感染を気にする人もいると思うので車をちゅう車して車の中からお花見ができるスペースを作るとよいと思う。  
近くにトイレやコンビニを充実させる。また、おすすめスポットや絶景スポット、トイレ、コンビニなどの場所が載っているマップを作ってみたらよいと思う。  
桜回廊は、私も知らなかったので、今度行ってみたいと思います!

まず、トイレや休憩スペースが少ない問題ですが、トイレを道中に設置してしまうと周りの景観を損ねてしまう可能性があるため、道に看板や地図を設置し、近くの公園や飲食店などともトイレがある場所に誘導した方がよいと思います。さらに、ベンチや自動販売機を設置すれば、より快適になると思います。桜の管理は「SDGs」と周辺の企業やSNSで発信をして協力を呼びかけましょう。SNSを活用して大きく宣伝することで若者の認知度も高まりお得です。歩車分離はスピード制限やライトをつけることを義務化するのがよいと思います。

見沼たんぼで出来る体験をさせる例えば、田植えや稲かりなどのたんぼでしかできないことをするそのことをSNSで拡める。

桜を何本か切って、道や建物を建てられるところを作る。  
日本一の長さというのにこだわるのではなく、新たな事業開発を進める方を優先した方がよいと思います。

PR動画などでまずは知名度を上げる。また、桜の時期には夜桜や屋台出店など、若者が縁日感覚で寄れる、遊びにこれるような企画をしてみるの  
がよいと思う。

もっと知名度を上げた方がよいと思う。  
そのために、テレビやSNSなどで宣伝して、多くの人に知ってもらう。  
また春などにイベントを開くと人が来ると思う。

- ・見沼たんぼにある「日本一の桜回廊」を有名にするために、毎年春に桜が満開の時にNHKなどに放送してもらう。
- ・毎年春に祭りを開き、その時だけはイスを置けるようにしたり、祭りなどの屋台で稼いだお金を一部寄付し、維持費にする。

日本で一番最初に開花できるように調整し、ニュースなどに映ることによって宣伝し、人をたくさん呼ぶ。  
ボランティアでゴミ拾いをするイベントを開催する。  
桜だけでなく夏祭りなども開き、桜以外にも有名にすることで、必然的に桜回廊を知ってもらえる機会を増やす。  
芸能人を呼びSNSに投稿してもらい、宣伝する。

桜回廊の問題の中に「桜の維持管理」と「若者の認知度が低い。」というものがあります。これに関しては「桜を守ろうの会」などでボランティアや小・中学校に社会体験として協力を求めるのがよいと思います。そうすればプロの管理する人も一人分の費用で済みますし、なにより、小・中学生にいい思い出の一つとして残すことができます。  
「トイレや休憩スペースが少ない」という問題も、このボランティア活動によって浮いた費用を使ってトイレや休憩スペースを作ることもできるので、よいと思います。  
そのため僕は「桜を守ろうの会」のポスターを作るのがよいと思います。

せつかくの広大な範囲に渡る桜回廊であるので、花見の時期に小〜中規模の祭りを開催してみたいかでしょうか。花見というだけなら、子どもや若者の興味を惹くには至りませんが、祭りを開いて屋台を並べせたりして、地域の伝統文化にしていれば、多少の興味は湧いてくるのではないのでしょうか。そもそも休憩スペースは野原や公園がありますしトイレはコンビニの1つや2つでも近くにあれば用は足せると思います。歩車分離は自然名所の宿命ですし、コロナウイルスもまだまだ健在の今、認知度は低くても仕方ないものと思います。チラシによる宣伝からの祭りの開催、というのはあまりにも金銭面的な問題もありますが、充実させるには何かしらの施設が必要だと思えます。

提案内容

若者の認知度を上げるためにインターネットで様々な紹介や宣伝をする。  
ベンチなどの軽く座れる物を用意する。

「桜並木造成事業」から始まり、2,000本もある桜の管理が大変・・・と書かれていますが、2,000本も植えた時点で管理が大変になることは明らかだったのではないですか？事業及びプロジェクトの段階で気付く人はいなかったのでしょうか？管理が大変なら人を雇うか、人件費が惜しいなら半分ほど間引けばいいんじゃないでしょうか。間引いて空いたスペースになら公共の建物も建てられるでしょうし、歩道を広くするだけの余裕ができると思いますよ。

もっといっぱい桜を植えつける。

- マラソン大会などのイベントを開催することで、イベントを通じて「日本一の桜回廊」を知ってもらい、認知度を上げる。
- イベントで集まったお金を維持費やトイレなどの建設費にあてる。
- 桜の管理のボランティアを募集する。

- さいたま市の人たちに周知してもらうため、駅などでPRを行う
- ベンチなど休むスペースを作り、桜をゆっくり見れるようにする
- 歩行者しか入れないようにし、近くに駐車場を作り、安全に見れるようにする
- きれいな風景を色々な人に知ってもらう
- 維持を若い人に継承する。

- 周りの住民の意思をしっかりと集めて、市町さんなどで集まって話し合ったら良いと思う。
- 若者から年寄りまで、幅広い人々に知ってもらうためにポスターや看板を積極的に設置する。
- 年に一回くらい、「桜を見る会」をつくり、近くの住民全員で桜を見る機会を設ける。

- 春に桜を見る祭をやる。
- SNSで宣伝して人を集める。
- 交通を便利にする
  - 近くに大きな建物を建てて、そこで大々的に宣伝、そこに行った人を桜へ呼び込み。
  - 何の日本一か具体的に言う
- 例・日本一の長さ、日本一の本数等

- CMで放送するべきだと思います。
- TwitterやSNSなどでもっと宣伝するべきだと思う。
- もっと長い道で桜を作ればもっと有名になって人が来ると思う。
- 桜などだけでなく他の花やちがう色の花を咲かせるべきだと思う。

僕はこの桜回廊になぜこのような場所になぜこんなにも大量の桜を植えたのかという疑問があります。正直に言ってしまうと僕達若者にとって大宮、新都心にそもそもあまり行かないし大体東京の方が便利だから行ったとしても駅周辺の区域のみでます間違いなく2~3km離れた田舎に行かないです。また桜というコンテンツもインパクトが弱くもし行ったとしても1時間から2時間ぐらいしか見ることはないと思います。この人の少なさを解消するには多少桜をくずしてでも魅力的な施設を建設し人を集める事が必要だと思います。具体的には便利なアクセスを可能にするバスと若者が好むお洒落な店を持つてくることです。

見沼田んぼをほとんど埋めて一部残して田んぼ体験が出来るようにする。他の埋めた土地を有料にして「田んぼの埋め立て地、田んぼをふんで運動」という最高のフレーズを使って人を集めてお金をあつめる。

- 若者からの認知を増やすためにSNSなどを利用する。→有名になれば気になって見に来る人が来る可能性がある。
- 地域の公民館や図書館などにポスターを掲示する。→本を借りにきた小学生や子連れの親などが見てくれる。
  - 桜回廊のある場所で定期的にイベントを開く。
  - 田んぼを利用した「田んぼアート」で宣伝をする。

- 若者の認知度を上げるためにSNSなどの若者の目につく場所に紹介の広告をつくる。
- マラソンや競輪などの大きな大会で使用しテレビやSNSで発信することで実際に見てもらうことで色々な人に良さを知ってもらう。
- アニメやドラマの舞台で使用することで聖地めぐりをする人などを来させる。
- 田んぼや畑があるということなので子どもや大人も含め田んぼや畑を手伝う経験をしたりする。
- 新しく車道をつくり歩道を歩いた時に桜が見れるようにする。
- 隣接した沼を少し埋め建物を建ててその中にトイレなどの便利なものを充実させる。

ゴミを拾って辺りをきれいに。

大宮、さいたま新都心の駅から桜回廊までの道を華やかにすればいいと思う。たとえばお洒落なカフェを建てたりネットで話題になるようなお店をつくりそこで桜とからんだ物を出し桜回廊を知ってもらい取り組みをすれば若者にもたくさん知ってもらえると思う。また観光客が増える時期には道を歩行者限定にして歩行者天国にすれば多少は安全になると思う。また駅にポスターをはったりしてPRするのも大切だと思う。

提案内容

・周辺にある公園に高台を設置して散策だけでなく上から桜回廊の景色を眺めることができるようにする。そうすれば気軽に桜を見ることができると思う。  
・年2回ほど歩行者天国を行い屋台なども提供すれば家族や友達と一緒に桜回廊を散策できると思う。

歩車分離されないこと→白い線引く。若者の認知度が低い事→ネットに写真を撮ってあげる。

歩車分離されていない事については白い線をつくり分離すべきだと思う。若者の認知度が低いことについてはインスタ、TwitterなどのSNSを利用したり駅にポスターを貼る事で認知度はあがると思う。またポスター、SNSで紹介する時にトイレがない事なども一緒にのせることで見に来る人もこまらないと思う。年に一度祭りをひらいたりすると子どもも行きたくなると思う。維持の困難についてはどのような面で困難なのか分かりづらく回答できない。

若者に人気ができるようにSNSを意識したイベント（桜回廊を最もきれいに写真を撮とれた人に賞金等）を開催したらどうか。音楽イベント、時に和楽器バンドなどの桜との組み合わせが得意なグループを招いて演奏してもらうなどどうか。散歩やランニングのコースを整備するのはどうか。

- ・桜回廊でお祭りをやる。そしたら人が来ると思う。またそれでも人が来ない場合は有名な芸能人に来てもらって宣伝してもらう。そしてそこを聖地化する。
- ・クリスマスに向けて木にイルミネーションのLEDを付ける。
- ・近くに有名な商業施設を建てる。
- ・CM作ったりSNSで宣伝する。

その通りでお祭りをやる。認知度が上がればもっといろいろなことができると思う。

前提として立地が悪いです。桜回廊が駅から2.3kmといわれてもわざわざどこでも見れる桜の為にわざわざ電車に乗ってそこまで歩く人はほほいないと思います。そもそも桜回廊が20km以上あっても最初から最後まで見る人なんていないでしょう。そんなことに税金を使わず図書館を増やしたりして別の事に使って欲しいです。どうしても桜回廊をキレイにしたいなら長さを5~10kmにして職員を増やした方がいいと思います。さいたま市民でない私からすればどうでもいいことではありますが日本一の長さなのに20kmで足りるということは、桜回廊に興味を持っている人が少ないということなのではないでしょうか？正直なところ同じ桜の木が20kmも続いている景色はきれいとは思えてももう一度見たいとは思いません。

若者の認知度を増やす為に桜祭り等のイベントを開いてお客さんを増やす。また、インターネット上にアップすることで”インスタ映え”を意識した若者やその投稿を見て興味を持ってくれた人が来てくれたりするのではないかと思います。

私は15年間さいたま市に住んでるのですがこの日本一の桜回廊というのは初めて聞いたので充実させるというよりももっと認知度を上げないいけないと思います。なので大宮駅などの大きい駅か最寄りの駅などの人の目につきそうなところにポスターを貼ったりInstagramやtwitterを作ってその桜の様子を発信したりする。それだけでも知名度はすごく上がると思うし、それからもっと色々な人の意見を出来るだけ取り入れる事でよりよい日本一の桜回廊になると思います。

若者の認知度が低いのだったらSNSを使ったりイベントなどを開催すればいいと思う。また桜回廊の周辺の地図を作成すればどういったかんじに並んでるかがわかり、休憩スペースがなくても事前にわかればよりよくなると思う。

SNSに「日本一の桜回廊」をあげて知名度をあげると人もいっぱい出て充実できると思います。またお花見の時期にイベントを開催するのもいいと思います。街中にイベントのポスターをあらかじめはりそして当日に活動、例えば夏祭りのような遊びや飲食コーナーを設置し子どもから大人まで楽しむことができるようにしたら良いと思います。

インスタの広告で宣伝をして若い人達にも目を向けてターゲットの範囲を拡大していったらもっと人も増えにぎわっていくと思う。他のSNSでの拡散も効果的だと思う。

- ・近くに飲食店などを建てる。
- ・インターネットで宣伝をして若い層の人たちにも知ってもらう。
- ・イベントを開催したりする。

インスタ映えやT i k T o k用にスポットを何ヶ所かつくれば良いと思います。またレンタルサイクルも設置すれば若者は呼び込めると思います。映えスポットにはスマホスタンドを置いてスマホなどを置いて撮影できるようにし最低でも鏡は置いてあった方がいいとおもいます。また、桜の木の下に隠れ〇〇を作る。

提案内容

- ・桜回廊の近くに駐車場や空きスペースに屋台を出して簡易机とイス、テントを設置する。→桜の見頃のときにお祭のようなものを開催する。
- ・ドローンで桜回廊の映像を撮ってインスタで発信！！
- ・ライトアップさせて夜桜も見られるようにする。
- ・サイクリングデーみたいなものを作ってその日は2人用自転車（貸し出し）で桜回廊をまわれるようにする。
- ・トックトックで回れるようにする！
- ・ゆるキャラと桜回廊でのアピール写真を撮る（おもしろいやつ）

見沼区の桜をPRするために公園などに花見ができるスペースやイベントができそうな場所を作る。若者が見るようなイベントなどができるようにする。

私はこの桜回廊を広めるためにはSNSでの発信が手取り早いと思います。・ドローンなどで映像を撮りHPやinstagramなどに載せたり・夜にライトアップをして夜桜がきれいに見られるようにする。・桜をモチーフにしたキャラクターなどをつくる。

トイレや休憩スペースをつくる。座りながらでも桜を見れるようにする。屋台などを出し楽しみながら桜をみれるようにしたら人もくると思う。サイクリングで桜を見ながら自転車で回れるようにする。（20kmも歩くのはつらいから）

桜回廊の桜を使って桜もちを作る。桜を使ったバスボムを作る。桜回廊を一周するツアーを作る。桜を使った商品売り出す。桜のシーズンになったらちょうちんを付けてみる。（夜きれいになる。）座って桜を見ることが出来る場所を作る。

建物を建てる。

話題性のあるドローンなど最先端技術を取り入れる。

桜の木や道周辺に小物（ウサギ・小人・鳥）などを置き（道に売っている固めの物）散歩中などに少しメルヘン？な空間をつくり小物を探すのを小さな楽しみにする。テーマを決めて一区画ずつ変えるのもいいと思います。写真を撮る人も増えると思います。また公園に小さな屋台をつくってドリンクなどを売ったりイルミネーションなどのかざり付きのベンチを置いたりするのも効果があると思います。小物のいやされる世界観が桜や他の花を引き立てて写真映えするので若者にも人気が出てSNSなどにアップしてもらえればいいなと思ってます。この帽子の小人を見つけてみよう！ウサギの数は？などのクイズやイベントをやったらもっと楽しめ興味を引くのではと思います。

トロッコを作る。とはいえ20kmは長すぎるので1km程度を走る物を等間隔で数個つくる。またそれぞれのトロッコに別々の柄を塗ることで「映え(?)」を意識させる。

レンタルの乗り物を置く。

スタンプラリーを作り、景品を用意する。

桜の木を一回伐採して他のまだ植えられていない種類の桜を植える。大量伐採された事によりニュースやツイッター、LINEなどにも取り上げられる。〇〇種類の桜の木があるとPRすれば暇を持て余している人や若者がくいついて来てくれるのでは。

インターネットで宣伝したりイベントを開いて知名度を上げる。

クラウドファンディングなどをして資金を調達して、車が通れるように道を整備したりすればよい。お祭でもする。

カフェをつくる。

自転車を貸す場所を作って桜回廊内をよりラクに散策できるようにする。

「日本一の桜回廊」の近くに病院などの施設をたくさん建てて「日本一の桜回廊」が通り道となるようにしたりして、たくさんの人が通れるような道にする。

スタンプラリーを設け、何かしらの景品を用意し、人をもっと呼びよせる。

まず知名度を上げた方が良いと思うのでツイッターやインスタグラムに宣伝用のアカウントを作って沢山PRをする。歩車分離されていない道は全て歩行者用にして良いと思う。なぜなら車の中からでは実際に歩いて見たりするのよりも感動しないと思うし、車道の幅の歩道は出来るけど歩道の幅の車道は無理だから。休憩スペースはベンチをたくさんおくだけでも改善すると思うしトイレは桜の咲くときだけ仮設トイレを設置すると良い。維持費は道沿いに屋台を開き売り上げのいくらかをもらう。それによって金額が上がっても態々見に来る人はお祭料金と同じようなかんじなので買うと思う。ゴミのポイ捨てを防ぐためにこまめにゴミ箱を設置する。縁日のようになるので相乗効果で有名にもなるのでは…？

推しとコラボしたら絶対行く。



提案内容

最近のSNSを利用する。

誰でもこれやすいよう大きなショッピングモールをつくり、そのついでに見てもらおうようにする。

私は今まで『日本一の桜回廊』があることをそもそも知りませんでした。なのでもう少し様々な方法でPRしたほうが良いかと思います。また維持費などはクラウドファンディング等で呼びかけるのもありだと思います。散策する道にひとつ歩車分離を促す標識をたてたり一本白い線を引くだけでも変わるのではないかと思います。定期的にイベントをしてより多くの人に知ってもらおう機会を増やすNHKの地域を紹介しているテレビ番組に取り上げてもらうと一気に沢山の人が知ってもらえる機会になるかもしれません。

建物が建てられないなら、出店屋台を出す。また桜しかない道を通るのはつまらないのでスタンプラリーを設置する。桜の種類、歴史を詳しく書いたHPをつくる。(桜の写真、お勧めのスポット掲載)

見沼区限定の桜に関するイベントを実施する。

つねにイベント(有名な会社)などをひらいて人を絶やさないようにする。桜並木の道に市場を開く。

はっきりいってわざわざ田んぼに行って見に行こうとは思わない。なので若い人なども行き易いカフェや桜についてのイベントを作ったり景観をよくするためにゴミ捨てやあまり高い建物をつくらないようにする。ゲームとコラボする。

夜に明かりをつけて夜桜がよく見えるようにする。

広告を増やす。はでにする。

まずは歩行者専用道路をつくり遠くから車で来る人のために駐車場を設置する。知名度に関して僕も埼玉の東部に住んでいますが桜というと幸手の権現堂公園が思い浮かぶ。そこに負けないように知名度を上げていくには、若者たちが親しみやすい「愛称」を募集してそれとともにまず市民の人々に知ってもらい、そこから県民へと階段を踏んで進んでいくことが必要だと思う。

桜が咲く季節になったらその事をお知らせできるようなポスターを作り人通りが多い場所などに貼る。また、見沼田んぼの日本地の桜回廊がある地域に協力してもらい、お店などで桜をモチーフにした物を買ってもらったり桜に関するイベントを行ってもらうことでお客さんが実際の桜に興味をもって桜回廊を訪れるということがあると思います。

- 日本一の桜回廊の認知度を高くするために、近い駅にポスターをはる。SNSの発信などをしたら良いと思う。
- 夜になったらライトアップをするなどひと工夫加えたらもっと来る人が増えると思う。

- 桜の木を管理する人を雇う。→給料は自治体から
- 周りの田んぼを少し減らして公園などの休憩をとれるスポットをもっと増やす。

周りに公園をつくり春になるとその公園で桜祭りをやり、それをテレビ番組などを呼んで広めて地域の活性化を図る。

見沼田んぼはとても大きく長いのでそれを生かして様々なイベントを広げれば良いと思います。例えば「宝探し」や「競走」などをやると盛り上がるのではないのでしょうか。また、そういったイベントをポスターやホームページなどを使って広めるといいと思います。見沼田んぼに自由に建物を作れない理由は分からないですがベンチくらいなら設置できるのではないのでしょうか。そういったものがあるだけで桜をゆっくり楽しめると思います。桜の維持については近くの公園などの休憩スペースがなく人通りも少ない場所のものは一気に切ってそこを新しく広場や公園にすればいいと思います。

若者に知ってもらうにはSNSで人気の屋台などを招集してイベントを開催した方が良いと思います。

若者の認知度を高くするためにSNS等を使って桜回廊の美しい写真などをUPすれば良いと思います。「インスタ映え」という言葉が流行したように写真を撮るために現地へ行く人もいるので小さな写真撮影用のスポットなどを設けたら若者も足を運んでくれると思います。桜と夕焼けと一緒に写したり現地で桜回廊を長年見てきた一だから知っているおすすめのスポットを紹介するのもいいと思います。またさいたま市に住んでいるのに桜回廊を知らない人もいるようなので多くの頻度でイベント等を開いて桜回廊を知るきっかけ、桜回廊に足を運びきっかけを増やしたらいいと思います。

一部の桜を壊しそこに建物をたてる。

チラシや広告を出す。かなり難しいけど「日本一の桜回廊」の駅をつくる。

まずは埼玉県民や首都圏に住んでいる人に認知度を高めてもらうために春の桜が咲く季節に縁日や祭りなどを行ったり花火大会を開くことで老若男女に知ってもらうことが大切だと思う。その際に車の通行を一時的に禁止するなどをして安全性を確保することも重要だと考える。また、地元の小学校や中学校の校外学習でここに行く機会を増やすことで子どもたちが興味を持つような場所となって欲しい。そうすることで興味を持つ人を増やしていけると思う。そして浦和や大宮、新都心からここをバスで繋ぐことでより一層身近なものにしていく必要があると思う。

インターネットに見沼田んぼにある「日本一の桜回廊」のサイトをつくったりツイッターに公式サイトを作って世界に広めたら良いと思う。またさいたま新都心や大宮駅などの大きな駅にポスターを貼って知名度を上げたらどうだろうか。祭りやイベントなどの行事を「桜回廊」で行っているいろんな人達に良さを知ってもらおうと良くなると思う。

提案内容

夏にお祭を開いたりすることで地域の人はもちろん少し遠い人にも来てもらうことができ、知名度が上がると思います。また周辺の街などをもっと栄えさせることができれば観光客が増えて沢山の外国人観光客などが桜などに興味を持ってくれると思います。また、SNSなどを利用していくと若い人達などにも知られると思います。

歩くスペースが多くてピクニックなどができるスペースがもっとあればお花見の時など沢山の人が訪れると思う。桜を見てゆっくりできるようなスペースを作るともっと良くなると思う。また若者の知名度が低いのが問題ならYoutube twitter tiktokなどのSNSに発信するのが一番知名度をあげるのにははやいと思う。ポスターやホームページだと見る人が結構かぎられてくるので多くの人に知らってもらうには皆が見れるSNSに投稿するのがいいと思います。そしてトイレもなるべく置いた方がもっと人がくると思います。

- お花見の季節にイベントを行ったりバスツアーなどを行ったりする。
- ボランティアで手伝ってもらう。

車道と歩道を分け桜回廊に近い道の方を歩道にして安全に歩きながら桜を楽しめたらいいと思う。

若者の認知度を高めるためにSNS上で日本一の桜回廊のことを発信する。桜回廊マラソン大会などを行って桜回廊のきれいさを知らってもらう。

- 人が多い駅等に看板を置く。
- 花見の季節などに宣伝をする。
- どういうところが日本一なのか伝えるといいと思う。
- 見沼といわれてもどこか分からない場合もあるので地図や路線図で示したりする。

交通の便を整えたら人が来易くなる。また道の整備をすることによってゆっくりと観光してもらえるとと思う。桜回廊のことを知らってもらうためにもっと宣伝したり祭りを開いたり名物をつくってみるのが良いと思う。SNSでの宣伝等も若者に興味をもってもらうきっかけになると思う。夜のライトアップ等の演出、いわゆるバースポットを作ることにより若者の増加をねらう。

見沼田んぼの桜回廊の近くでイベントをするのはどうでしょうか。「桜回廊」なので春に行くといいと思います。さらにイベントのことを知らってもらうためにSNSによる呼びかけや大宮駅、さいたま新都心駅にチラシをはると多くの人に来てくれると思います。散策する道が歩車分離されていないことに関しては、期間を決めて歩行者のみが自由に散策できる日をつくるのはどうでしょうか。いつも車で通っている人にはかんばんで知らせることによってあまり見えていなかったきれいな桜を見ることができると思います。

認知度が低くだけで存在を知れば若者のデートスポットやウォーキングコースに通る人が増えるのではないかとと思う。今の時代や関心が高いのはインスタやツイッターなどのSNSなのでお金はかかるがCMや広告を作ればもっと沢山の人が訪れる場所になるのではないかとと思う。あと周辺公園のトイレや休憩場所をきれいにした方が良く思う。私の家の周りの公園のトイレは汚いしこわいのであまり使いたくないと思ってしまいます。

見沼田んぼの周辺にある公園を桜に見に来た人達のみが利用する休憩スペースにすれば良いと思います。そうすれば子どもたちが来ることもないので混み合いも回避できて休むことができ快適に過ごせると思います。また見沼田んぼの魅力や詳しい場所を載せてSNSなどに発信をすると若者の目にも留まると思います。Youtubeに作ったPVを載せたりTwitterやInstagramなどで実際の写真を一緒に載せて発信することで行き易くなります。来た人限定で近くのお店や割引券の利用が可能になるなど来た事によるメリットを「桜を見ることができる」以外にも増やすと来たいと思う人も増えると思います。

総延長20kmもある桜並木ってさうとう見応えがあるのでしょうか。なので僕はそれをいかして春のマラソン大会的なものをやれば良いと思います。参加者を募るためにネットやポスターなどで大きく宣伝し参加者には参加賞としてオリジナルグッズプレゼント、成績優秀者には参加賞+景品みたいなことをすれば良いと思います。予算については「地域活性化事業」としての名目で寄付を募るなり市に予算申請するなりして大人達で話し合っ決めて下さい。まあ「子どもの提案」なので実際にやるとしたら色々問題が起こるでしょうね。マラソン参加者のマナー問題とか近くに住む住民から騒がしいとクレームが来るとか色々ありそうですね。

充実させるためには全国の人に存在を知ってもらわないと始まらないのでさいたま市のHPなんかの特設ページを作って自分なりの魅力をもっと宣伝すればよいと思う。クラウドファンディングでトイレなどの公共施設の建設費用を募ればすぐに資金が集まると思う。

日本一をもっとアピールすればいいと思う。あとなにかおみやげ屋とか休憩できるカフェとかないと東京とかで桜が見れる所に行きそうだから。自由に建物を作ることができないならがんばるしかない。それがつくれば日本一なんだと人はたくさん来てくれると思う。あと車の通行を止めてお祭やったらたのしそう。桜回廊にそって屋台とかがあったらたのしそう。それで知ってくれる人もいると思うし。

- 屋台を作る。
- 宣伝をする。

桜回廊をもっと充実させるためにまず若者などから認知されなければなりません。なので専用のInstagramやツイッターを開設し色々な情報や桜の写真を投稿した方がよいと思います。ただ普通の桜の写真などで載せていてもつまらなく認知度があがらないためインスタ映えスポットや見沼田んぼの桜回廊だけの特別なスイーツなどを屋台や店などで出すことで若者達が集まってくると思います。そして少しずつ知られるようになって来たらゴミ箱とトイレの設置は必ずした方が良く思います。ゴミ箱は一カ所だけでなく周りに溶け込めるゴミ箱をあちこちに置いておけばポイ捨ては軽減されると思います。またトイレは簡易タイプでもいいので設置しないとイケないと思います。

提案内容

桜の量を減らす。若い人達にも認知されるようにSNSなどで紹介する。トイレや休憩スペースの建物を草木や花びらなどでおい、自然に溶け込ませる。

まず見沼田んぼの桜回廊というものを初めて聞いたので存在を知らない人もいるかと思いますが。桜回廊を認知してもらうためには春になったら広告やCMなどで特徴を伝えどかがどのように日本一であるかを宣伝すべきだと思います。次に認知されて観光客などが増え始めたら回廊沿いに出店などをおいて桜を見ながら食べ歩きができるようにすればより発展すると思います。日本一ということを知ってもらえれば一度は見てみたいとなる人も少なくはないかと思うので県のPR動画に載せてみるのもいいと思います。

私は、歩行者専用の道を作ればもっと良くなると思った。私は、秋葉原などで時々「歩行者天国」という取組を見たことがある。そこでは、自動車が通ることを制限しており、車の騒音などは少なく、歩行者の安全が確保できている。この取組を行えば、道の歩車分離はしっかりできる。また、若者の認知度は低いという問題は、インターネット動画を上げたり、ニュースで放送すれば、インターネットをよく使う若者の認知度を上げられるだろう。その他にも、桜の維持が大変だという問題があったが、これはボランティアを募集すれば、やりたい人たちが集まって、作業も少しは楽になると思う。

広大な面積を利用して「人力車」を使うのはどうだろうか。人力車を使えば、桜をゆっくり眺めることができるし、海外の方や若者にも注目されるのではないだろうか。また、高齢者の方から小さな子どもまで幅広い年代の方も楽しむことができる。そしてこのご時世たくさんの方が密集してお花見をするのは大変難しいこととされるが人力車ならたくさんの方が楽しむことができるし、1回に限られた人数しか乗せることができないから密集も避けられると思った。広大な面積を利用するので、歩行者などどぶつかるリスクを減らし安全に実行できると考えた。

色々な人に来てもらうためには、そこに桜回廊があることを知ってもらうことが重要です。そこで、海外の方も見られるようにインターネットを使用したSNSやインスタグラムによりきれいな景色を認識していただくことが必要です。私も行ったことがありますが、足元の整備が整っておらず、足の不自由な方や高齢の方が散策するには安全な状態とは言い難いです。ですが、お金が足りないと書かれていました。お金については、クラウドファンディング等を利用して有志により寄付を募れば良いと思います。また、観光大使などにより、海外にPRしていくことが重要だと思います。

私たちは、1年を通して楽しめるアイデアを考えました。春は、桜を中心としてイルミネーションをして、午前は桜を見ながら散歩をし、午後はイルミネーションを見ながら散歩をして、朝から夜まで楽しめるようにする。夏は屋台を設置し、祭りを行いまわりの公園と協力をし、買ったものを食べるスペースを祭りの時に設ける。秋はコスモスや彼岸花を鑑賞して楽しむ。冬は周りの田んぼを貸してもらって春とは違った田んぼのイルミネーションをして春と違ったイルミネーションを楽しむ。また、田んぼの貸してもらい方は夏の屋台の設置するのにお金を払ってもらい、そのお金を田んぼの所有者の人に払い貸してもらおうのが良いと思う。

私はスタンプラリーを設置するともっと良くなると思います。20kmある日本一の桜回廊を歩いていると、子どもは疲れて飽きてしまうのではないかと思います。そこでスタンプラリーを設置することによって、ゴールする目的ができます。また、全てのスタンプを集めることができれば指定のお店で使うことができるクーポン券にすることによって子どもだけでなく、大人も楽しむことができると思いました。これらの理由によって私はスタンプラリーを設置するともっと良くなると思いました。

桜回廊でマラソン大会を開催したらどうか。20kmという長い距離を活かしてマラソン大会を行う。午前は小学生以下の部、午後は中学生以上の部とする。また、3月と10月の年2回で行う。マラソン大会に参加した人には、一杯50円の見沼の名物である里芋をふんだんに使った豚汁を提供するともっと良いと思う。桜を見ながら、親子や友達と走って豚汁であったまることで見沼田んぼを活性化してほしい。また、歩道が狭いことに関しては、車道を交通規制するなど工夫をして楽しいイベントを作ってもらいたい。

このたび「桜の下を散策できる日本一の桜回廊」を様々な人が、より「安全に」、「楽しく」、「快適に」過ごせるようにするために、夜間に桜の木をライトアップすることを提案させていただきます。このライトアップは主にさいたま新都心駅のような人口が集中する主要な駅でのみ、また、桜の満開期のみ行うことで、費用の削減になると思います。桜の木が明るくライトアップされることによって足元が明るくなり、安全性が向上することでたくさんの方が安心して桜を楽しむことができると考えます。また、写真映えもするので、撮影が目的で足を運んでくれる人も増え、活気にあふれるのではないかと考えます。

桜が満開の時に花火をあげると、夜桜がカラフルに写り、きれいだと思います。とてもきれいな桜回廊なのに、観光名所として充実していないのに交通に課題があると私は考えました。そこで浦和レッズの試合の時のように駅からバスを出し、何度も往復させると時間を調べてバスを乗換えなくても移動が済むと思います。ですが、桜は四季ずっと咲いているわけではありません。そこで有料でその場を貸し出すなど、桜に限らず、スペースを有効活用することで花火代を少しはまかなえるようになるのでは？と私は感じました。大きなお祭りが減ってきてしまった今、花火に屋台などがあり、かつ、「日本一の桜回廊」となると若者が集まり、町の活性化にもつながるのではないのでしょうか。

認知度を向上させるために、SNSを積極的に利用していくべきだと思う。特に若者が多く使用しているInstagramやツイッターに桜回廊の公式アカウントを作り、情報を発信していくと良いと思う。広告を出さなくてもさいたま市のアカウントや、その他の様々なアカウントで桜回廊のアカウントをフォローすることでより多くの人の目にとまると思う。また、今すぐには難しいが桜回廊の限定スイーツや、大宮公園などによく出ている屋台を取り入れることで客層の増加が期待できると思う。この提案によって、見沼田んぼの桜回廊が埼玉県の名物の観光名所になることを期待しています。

提案内容

- ・「日本一の桜回廊フォトコンテスト」を実施する。→写真を撮るために多くの人を訪れ、より活気が出る。また、その情報や写真をSNSなどで発信していけば、若者の目にもとまる可能性があり、より充実したものになる。
- ・特別車両の運行→桜回廊の道を今流行している「トゥクトゥク」などの特別な車両が通ることで、より多くの人々が日本一の桜回廊を楽しめる。

桜名所の入り口らしきところに駅とショッピングモールを作る。道の所々に休憩所と自動販売機を置く。

一部を改善し、もみじを植えることで春、秋と楽しむことができます。Twitterもすごいです、Instagramも#拡散と載せて発表してみると良いかと。

屋根のあるベンチを設置する（多く）

→そうすることで桜を見ている途中で疲れたり、お腹がすいても休むことができる。また、多く設置することによって、座れないという人を少なくすることができるため。

桜の木のところにかくれ文字などを書いて3文字見つけて言葉になったら、ちょっとしたお菓子をもらえますよみたいにするの良い思い出になるし、知名度を上げることができると思う。

マップ上でいう用水路の左側を歩行者用の歩道にし、右側を車道にすればいいのではないのでしょうか。マップで見ましたがトイレの配置は大丈夫だと思います。四季の1つずつに「生き物スタンプカード」みたいなものを作り、春特有の生き物を探せ！！というようにすれば人がたくさん来ると思います。

春限定ですが、桜の木の下を整地して、花見会場にしてみてもいかがでしょうか。

「見沼田んぼ」をモチーフにした、アニメ動画をネットにあげたり、桜が背景のファッションを他社と協力してネットにあげてみたりしたら良いと思う。